

富士河口湖町第2次総合計画後期基本計画策定に向けて

町民意識調査アンケート結果報告書

令和4年3月

富士河口湖町

目 次

調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査の方法	1
3 回収結果	1
4 本調査報告書の基本的な事項	1
アンケート結果	4
1 あなたご自身のことについて	4
2 現在の町に対する、あなたの思い(考え)について	7
3 まちづくりの満足度・重要度について	15
4 コミュニティについて	40
5 ボランティア活動・地域活動について	54
6 新型コロナウイルス感染症について	58
7 ICT(情報通信技術)の利用環境について	70
8 町のデジタル化の推進について	85
9 SDGsについて	100
10 まちの公共交通について	102
自由意見	107
アンケート調査票	111

調査の概要

1 調査の目的

富士河口湖町では、「富士河口湖町第2次総合計画前期基本計画」の計画期間が令和4年度をもって終了することを受けて、令和5年度から令和9年度を計画期間とした「富士河口湖町第2次総合計画後期基本計画」の計画づくりを進めています。

そこで、今後のまちづくりを進めるにあたり、町民の皆様のご意見をお聴きし、調査結果を新たな計画に活かしていきたいと考えています。このアンケートは、町民の皆様の町政に対する満足度や日常生活の中で感じておられることなどについてご意見を頂き、その結果をこれからの計画や戦略に反映させることにより、町民の皆様と行政が一体となって住みよいまちを実現していくことを目的としています。

2 調査の方法

(1) 調査対象

町内にお住まいの18歳以上の方

(2) 抽出方法

無作為抽出

(3) 調査方法

郵送による調査票の配布・回収

(4) 調査時期

令和3年9月～10月

3 回収結果

(1) 配布数 1,000

(2) 回収数 364

(3) 回収率 36.4%

4 本調査報告書の基本的な事項

(1) 数値等の基本的な取扱いについて

- ・比率はすべて百分率(%)で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。したがって、合計が100%を上下する場合があります。
- ・基数となるべき実数は、“n=〇〇〇”として掲載し、各比率はnを100%として算出しています。(回答者総数または該当者数)
- ・複数回答については、ひとりの回答者が2つ以上の回答を出してもよい設問であり、したがって、各回答の合計比率は100%を超える場合があります。
- ・文中、グラフ中の設問カテゴリー(選択肢)の文言は、作図の都合上、簡略化する場合があります。

- ・“前回”は、平成 28 年度8月～9月に実施した、富士河口湖町第2次総合計画策定に向けた「町民意識調査アンケート」の結果となります。
- ・その意見や自由意見の項目で重複するものは、その意見の総数を“(○)”として後ろに表示しています。

(2) 標本誤差(信頼度)について

統計調査のなかで、調べたい対象全体を調べる(悉皆調査)のではなく、標本すなわち調査対象である世帯や個人、施設などを一部抽出・選定して実施される調査を**標本調査**といいます。この標本調査では、調査した対象が、全体とは必ずしも一致しないことに起因する**標本誤差**というものが存在します。すなわち、標本調査の結果として統計表などに示されている結果数値は、この標本誤差を含んだものとして見る必要があります。

標本誤差は、無作為標本調査による**推計結果値が真の値からどのくらい離れているか**の幅を示す数値です。

無作為抽出により実施した標本調査では、推計値の前後にそれぞれ標準誤差の2倍の値をとると、真の値は約 95 パーセントの確率でこの幅の中にあるといえるという性質があります。

誤差の大きさは、抽出の方法(無作為抽出の方法という意味)や調査対象とした集団の性質など、様々な要因により影響を受けますが、最も関連性を持つのが「**標本数の大きさ**」、すなわち、調査の客体としたサンプル数です。例えば、同一の調査、同一の項目においては、サンプル数が多い程標本誤差は小さくなり、逆に、サンプル数が少ない程標本誤差は大きくなります。

一般的には、標本誤差を小さくするようにしたほうが、推計値の精度が上がることから、標本誤差の観点からは、サンプル数を増やして調査を行うほうが望ましいこととなりますが、サンプル数が増加すると調査の手間や経費などが増加するため、むやみにサンプル数を増やすわけにはいきません。

従って、サンプル数の決定は、誤差の大きさとコストなどとの兼ね合いということになります。その標本調査の推計値の標本誤差をどの程度におさめて、サンプル数をいくつにするかというのが、標本調査の企画における重要な部分になりますが、これを「**標本設計**」と呼んでいます。

標本誤差は下記の式で得られ、①比率算出の基数(n)、②回答の比率(p)によって誤差幅が異なります。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

N=母数集団(富士河口湖町の18歳以上人口)

n=比率算出の基数(回答者数)

p=測定値

そこで、令和3年9月に行った富士河口湖町民アンケートの母数集団（令和3年9月の有権者数）22,025、サンプル数 1,000、有効回答者数 364、回収率は 36.4%であり、これを上式にあてはめての標本誤差について計算すると、

測定値(%)	信頼区間の 1/2 幅(%)
50	5.2
45・55	5.2
40・60	5.1
35・65	5.0
30・70	4.8
25・75	4.5
20・80	4.2
15・85	3.7
10・90	3.1
5・95	2.3

となり、すべての区間において誤差率は6パーセント以内に納まっています。

この表の使い方は、ある設問に対しての回答が 50%であったとすると、測定値 50%の 1/2 幅は 4.6%ですから、同じアンケートを対象者全数に行っても、44.8～55.2%の間で回答が得られると
いうことを示しています。

アンケート結果

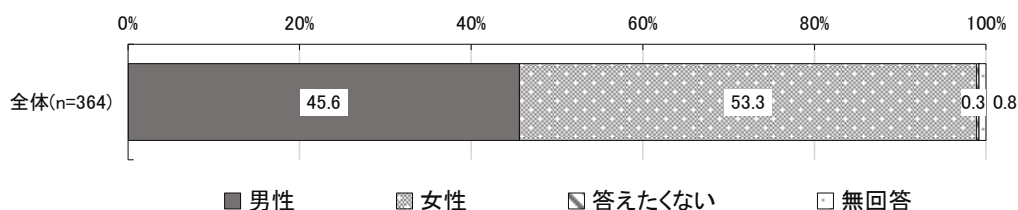
I あなたご自身のことについて

問 I

あなたご自身のことについて、それぞれの項目ごとにあてはまる番号を選んでください。(1つに○印)

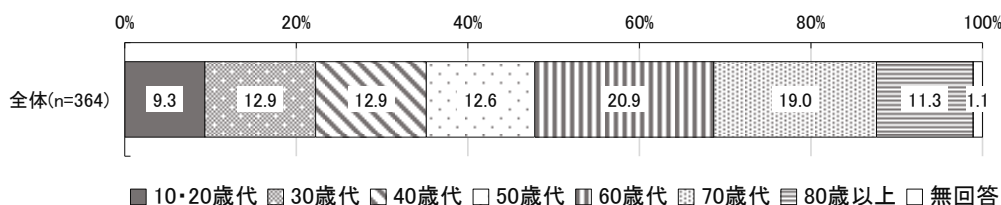
(1) 性別

性別については、「男性」が 45.6%、「女性」が 53.3%となっており、「女性」のほうが高くなっています。また「答えたくない」は 0.3%となっています。



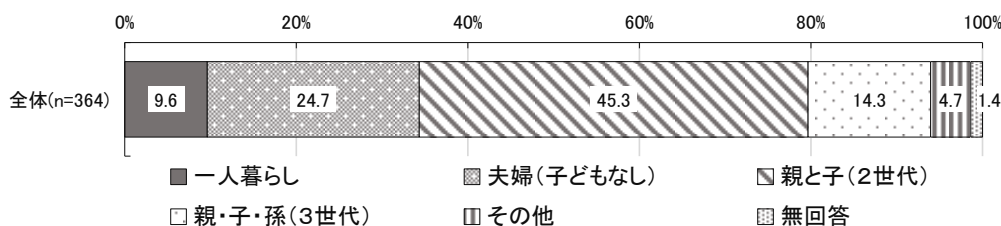
(2) 年齢

年齢については、「60 歳代」が 20.9%と最も高く、次いで、「70 歳代」(19.0%)、「30 歳代」「40 歳代」(同率 12.9%)、「50 歳代」(12.6%)、「80 歳以上」(11.3%)、「10・20 歳代」(9.3%)となっており、60 歳代以上で 51.1%と半数を超えています。



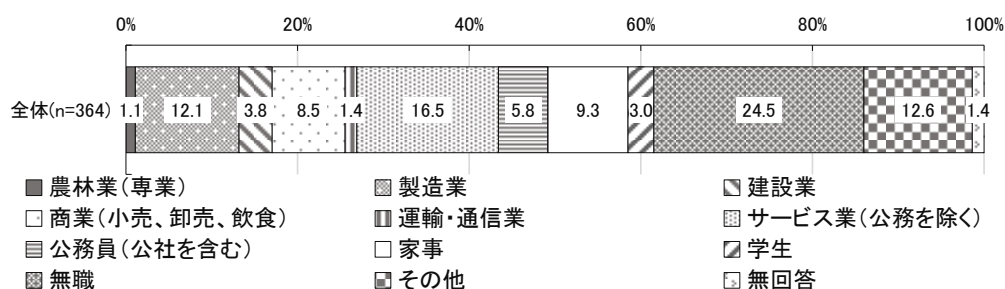
(3) 世帯構成

世帯構成については、「親と子(2世代)」が 45.3%と最も高く、次いで、「夫婦(子どもなし)」(24.7%)、「親・子・孫(3世代)」(14.3%)、「一人暮らし」(9.6%)などの順となっています。



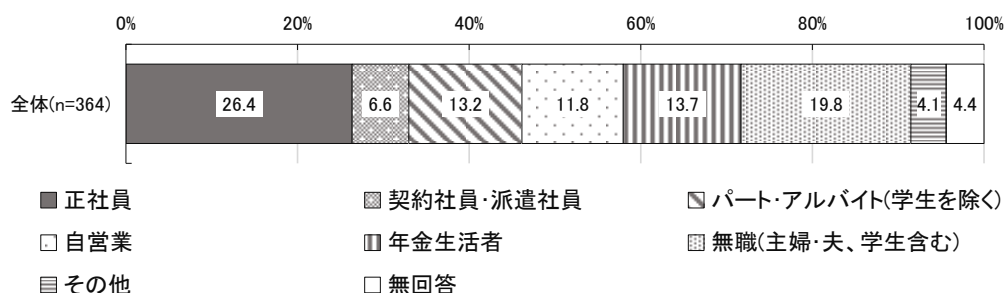
(4) 職業(※主たるもの)

職業については、「無職」が 24.5%と最も高く、次いで、「サービス業(公務を除く)」(16.5%)、「製造業」(12.1%)、「家事」(9.3%)、「商業(小売、卸売、飲食)」(8.5%)、「公務員(公社を含む)」(5.8%)、「建設業」(3.8%)、「学生」(3.0%)などの順となっています。



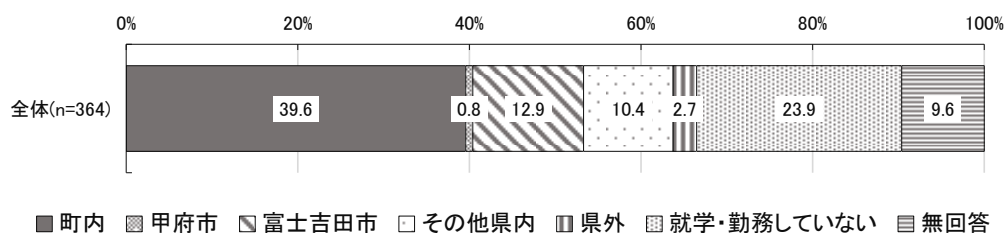
(5) 就労状況

就労状況については、「正社員」が 26.4%と最も高く、次いで、「無職(主婦・夫、学生含む)」(19.8%)、「年金生活者」(13.7%)、「パート・アルバイト(学生を除く)」(13.2%)、「自営業」(11.8%)、「契約社員・派遣社員」(6.6%)などの順となっています。



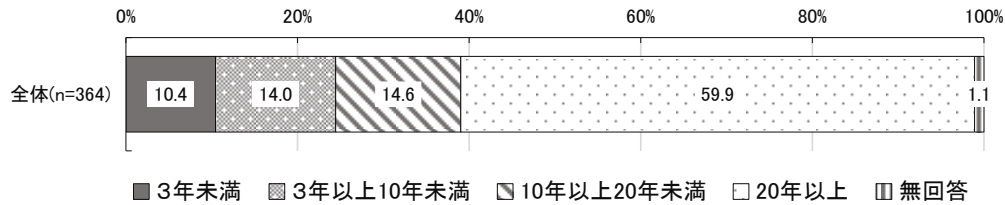
(6) 就学先・勤務先

就学先・勤務先については、「町内」が 39.6%と最も高く、次いで、「就学・勤務していない」(23.9%)、「富士吉田市」(12.9%)、「その他県内」(10.4%)、「県外」(2.7%)、「甲府市」(0.8%)の順となっています。



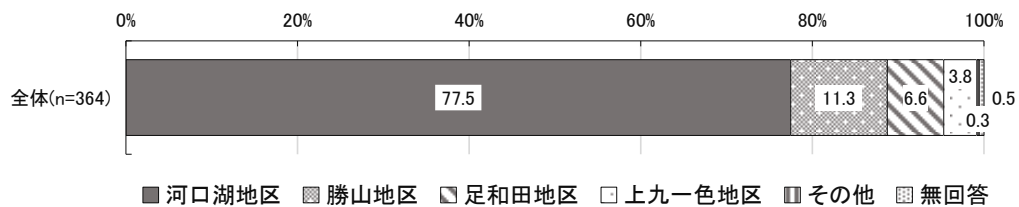
(7) 居住年数(※通算年数)

富士河口湖町に住んでいる通算年数については、「20年以上」が59.9%と最も高く、次いで、「10年以上 20年未満」(14.6%)、「3年以上 10年未満」(14.0%)、「3年未満」(10.4%)の順となっています。



(8) あなたの居住地区

居住地域については、「河口湖地区」が77.5%と最も高く、次いで、「勝山地区」(11.3%)、「足和田地区」(6.6%)、「上九一色地区」(3.8%)の順となっています。



※地区名の選択肢: 河口湖地区(船津・小立・大石・河口・浅川)、勝山地区(勝山)、足和田地区(長浜・西湖・大嵐)、上九一色地区(精進・本栖・富士ヶ嶺)の()部分は省略して記載しています。以降も同様となります。

[その他]

千葉県浦安市

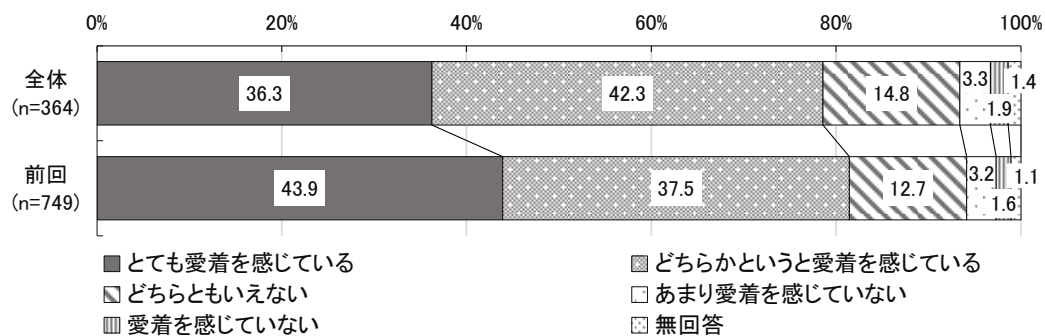
2 現在の町に対する、あなたの思い（考え）について

問2

あなたは、富士河口湖町に対して「自分のまち」としての愛着をどの程度感じていますか。（1つに○印）

愛着度については、「とても愛着を感じている」（36.3%）と「どちらかというと愛着を感じている」（42.3%）を合わせた『愛着を感じている』は 78.6%となっています。一方、「愛着をあまり感じていない」（3.3%）と「愛着を感じていない」（1.9%）を合わせた『愛着を感じていない』は 5.2%となっています。

また、前回と比較して、『愛着を感じている』は 2.8 ポイント下がり、『愛着を感じていない』は 0.4 ポイント上がっています。



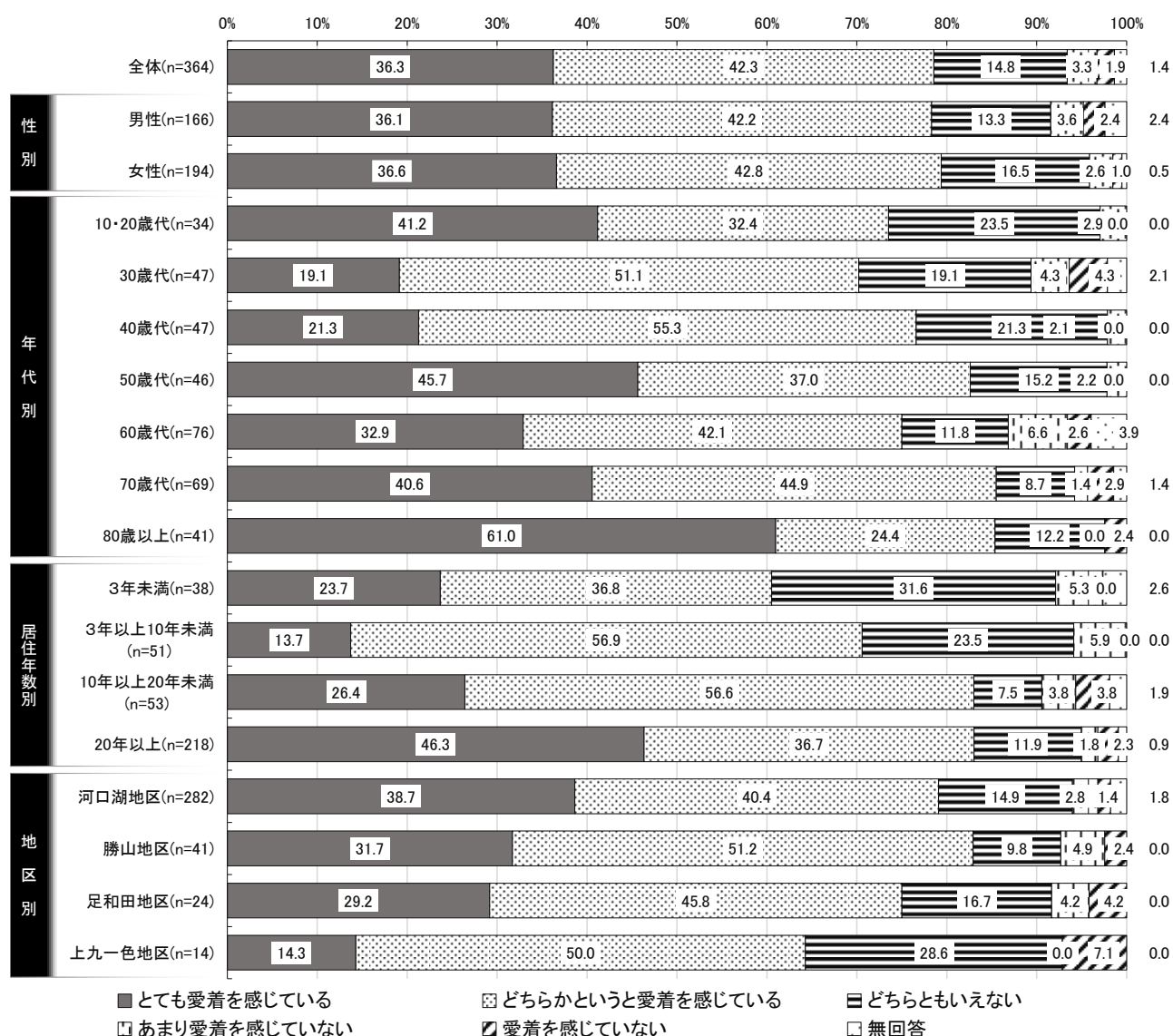
・属性の分析

性別でみると、性別による大きな違いはみられませんでした。

年代別でみると、「とても愛着を感じている」は80歳以上の割合が高く、30歳代と40歳代が低くなっていますが、すべての年代で7割以上が『愛着を感じている』となっています。

居住年数別でみると、居住年数が長くなるほど『愛着を感じてゐる』の割合が高くなっています。

地区別でみると、上九一色地区では「とても愛着を感じている」の割合が他の地区と比べると低くなっています。

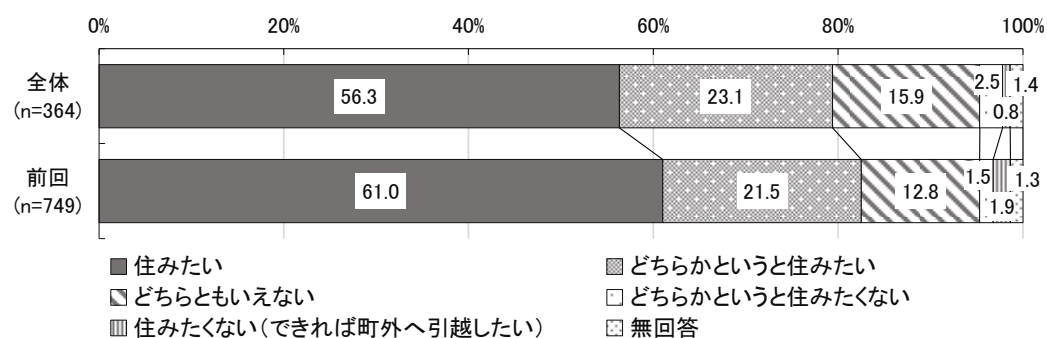


問3 あなたは、これからも富士河口湖町に住みたいと思いますか。(1つに○印)

定住意向については、「住みたい」(56.3%)と「どちらかというに住みたい」(23.1%)を合わせた『住みたい』は79.4%と、およそ8割となっています。

一方、「どちらかというに住みたくない」(2.5%)と「住みたくない(できれば町外へ引越したい)」(0.8%)を合わせた『住みたくない』は3.3%となっています。

また、前回と比較すると、「どちらともいえない」が1.6ポイント上がっており、『住みたい』は3.1ポイント、『住みたくない』は0.1ポイント、ともに下がっています。



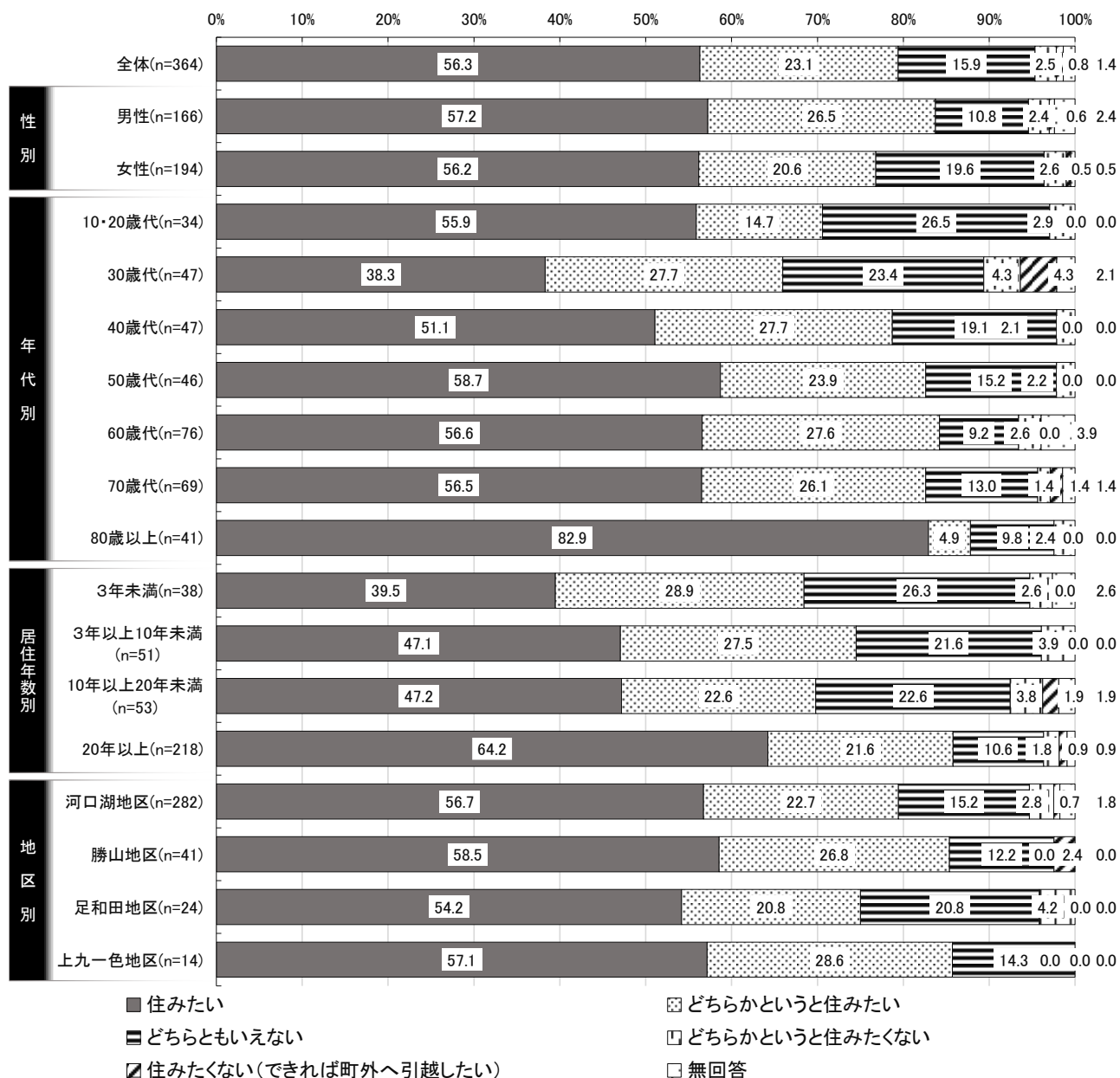
・属性の分析

性別でみると、男性のほうが『住みたい』の割合が女性より高くなっています。

年代別でみると、年齢が高くなるとともに『住みたい』の割合が高くなる傾向があります。

居住年数別でみると、居住年数が長くなるほど「住みたい」の割合が高くなっていますが、3年未満と10年以上20年未満では、『住みたい』の割合が他の居住年数に比べて低くなっています。

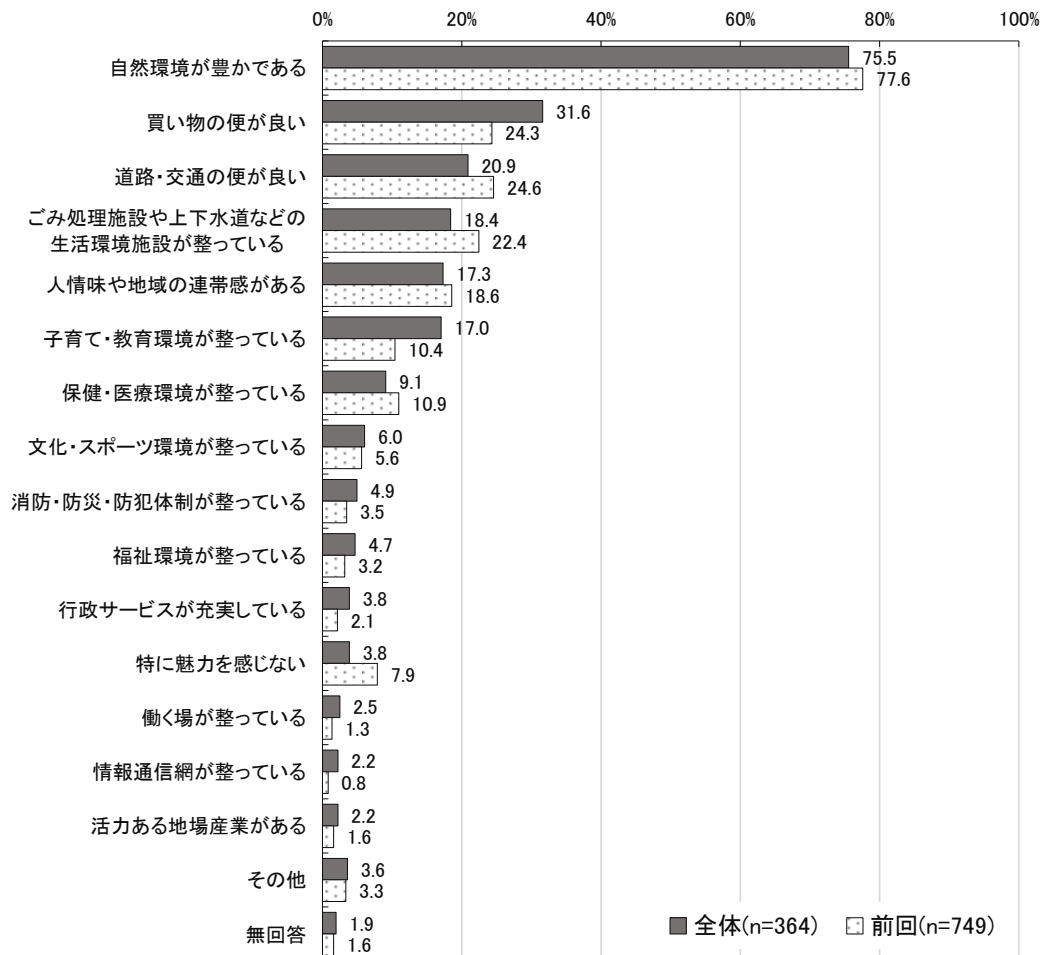
地区別でみると、足和田地区では、『住みたい』の割合が他の地区に比べてやや低くなっています。



問4

あなたは、富士河口湖町のどのようなところに魅力を感じていますか。
(3つまで○印)

町の魅力については、「自然環境が豊かである」が75.5%と最も高く、次いで、「買い物の便が良い」(31.6%)、「道路・交通の便が良い」(20.9%)、「ごみ処理施設や上下水道などの生活環境施設が整っている」(18.4%)、「人情味や地域の連帯感がある」(17.3%)、「子育て・教育環境が整っている」(17.0%)などの順となっています。



[その他]

空気や水がきれい／景観が良い。観光地なのでまちがきれいでおしゃれ。／観光資源が豊か／まちが全体的にきれいに感じる(道など)／暴風雨が少ない(気候が穏やか)／水道料金が安い／健康増進課の方達、不便な富士ヶ嶺にも細やかに対応を考えてくれる／いろいろある／なし／特に感じていない／転入して間もないので、よくわからない。／富士山と河口湖を美しく見せる努力。環境が良くない(まち並み、看板、電信柱)／地域の役員を決める場合、兄弟、子、親戚などで決め、他の人には回って来ず、意見が偏っている。

・属性の分析

性別でみると、女性では「子育て・教育環境が整っている」(20.6%)が第3位となっています。

年代別でみると、「子育て・教育環境が整っている」が30歳代と40歳代では第2位、10・20歳代では第3位となっています。「ごみ処理施設や上下水道などの生活環境施設が整っている」が80歳以上では第2位、50歳代と70歳代では第3位となっています。「人情味や地域の連帯感がある」が80歳以上では第3位となっています。

居住年数別でみると、「子育て・教育環境が整っている」が10年以上20年未満では第2位、3年未満と3年以上10年未満では第3位となっています。「ごみ処理施設や上下水道などの生活環境施設が整っている」が20年以上では第3位となっています。

地区別でみると、「ごみ処理施設や上下水道などの生活環境施設が整っている」が足和田地区では第2位、上九一色地区では第3位となっています。「人情味や地域の連帯感がある」が上九一色地区では第2位、足和田地区では第3位となっています。「子育て・教育環境が整っている」が勝山地区では第3位となっています。

		第1位	第2位	第3位
全体(n=364)		自然環境が豊かである 75.5%	買い物の便が良い 31.6%	道路・交通の便が良い 20.9%
性別	男性(n=166)	自然環境が豊かである 75.9%	道路・交通の便が良い 25.3%	買い物の便が良い 23.5%
	女性(n=194)	自然環境が豊かである 75.8%	買い物の便が良い 38.1%	子育て・教育環境が整っている 20.6%
年代別	10・20歳代(n=34)	自然環境が豊かである 76.5%	買い物の便が良い 32.4%	子育て・教育環境が整っている 23.5%
	30歳代(n=47)	自然環境が豊かである 80.9%	子育て・教育環境が整っている 38.3%	買い物の便が良い 23.4%
	40歳代(n=47)	自然環境が豊かである 74.5%	子育て・教育環境が整っている 40.4%	買い物の便が良い 29.8%
	50歳代(n=46)	自然環境が豊かである 73.9%	買い物の便が良い 21.7%	ごみ処理施設や上下水道などの生活環境施設が整っている 17.4%
	60歳代(n=76)	自然環境が豊かである 82.9%	買い物の便が良い 31.6%	道路・交通の便が良い 26.3%
	70歳代(n=69)	自然環境が豊かである 69.6%	買い物の便が良い 44.9%	ごみ処理施設や上下水道などの生活環境施設が整っている 27.5%
	80歳以上(n=41)	自然環境が豊かである 70.7%	ごみ処理施設や上下水道などの生活環境施設が整っている 39.0%	人情味や地域の連帯感がある 36.6%
居住年数別	3年未満(n=38)	自然環境が豊かである 65.8%	買い物の便が良い 28.9%	子育て・教育環境が整っている 26.3%
	3年以上10年未満(n=51)	自然環境が豊かである 78.4%	買い物の便が良い 31.4%	子育て・教育環境が整っている 29.4%
	10年以上20年未満(n=53)	自然環境が豊かである 73.6%	子育て・教育環境が整っている 30.2%	買い物の便が良い 28.3%
	20年以上(n=218)	自然環境が豊かである 77.5%	買い物の便が良い 33.5%	ごみ処理施設や上下水道などの生活環境施設が整っている 22.9%
地区別	河口湖地区(n=282)	自然環境が豊かである 72.3%	買い物の便が良い 33.7%	道路・交通の便が良い 23.4%
	勝山地区(n=41)	自然環境が豊かである 85.4%	買い物の便が良い 39.0%	子育て・教育環境が整っている 29.3%
	足和田地区(n=24)	自然環境が豊かである 87.5%	ごみ処理施設や上下水道などの生活環境施設が整っている 25.0%	人情味や地域の連帯感がある 20.8%
	上九一色地区(n=14)	自然環境が豊かである 92.9%	人情味や地域の連帯感がある 21.4%	ごみ処理施設や上下水道などの生活環境施設が整っている 14.3%

2 現在の町に対する、あなたの思い(考え)について

・問2 愛着度との関係

「自然環境が豊かである」は、愛着度にかかわらず最も高くなっています。

『愛着を感じている』方は、「買い物の便が良い」や「道路・交通の便が良い」が高く、『愛着を感じていない』方は、「特に魅力を感じない」が高くなっています。

問4 \ 問2	合計	とても愛着を感じている	どちらかという愛着を感じている	どちらともいえない	あまり愛着を感じていない	愛着を感じていない	無回答
全体	364 100.0%	132 100.0%	154 100.0%	54 100.0%	12 100.0%	7 100.0%	5 100.0%
自然環境が豊かである	275 75.5%	112 84.8%	119 77.3%	33 61.1%	6 50.0%	5 71.4%	0 0.0%
ごみ処理施設や上下水道などの生活環境施設が整っている	67 18.4%	25 18.9%	35 22.7%	7 13.0%			
道路・交通の便が良い	76 20.9%	34 25.8%	32 20.8%	7 13.0%	3 25.0%		
情報通信網が整っている	8 2.2%	2 1.5%	5 3.2%	1 1.9%			
消防・防災・防犯体制が整っている	18 4.9%	8 6.1%	8 5.2%	1 1.9%	1 8.3%		
文化・スポーツ環境が整っている	22 6.0%	13 9.8%	9 5.8%				
子育て・教育環境が整っている	62 17.0%	25 18.9%	30 19.5%	6 11.1%	1 8.3%		
福祉環境が整っている	17 4.7%	10 7.6%	6 3.9%	1 1.9%			
保健・医療環境が整っている	33 9.1%	19 14.4%	14 9.1%				
買い物の便が良い	115 31.6%	51 38.6%	51 33.1%	11 20.4%	1 8.3%	1 14.3%	0 0.0%
働く場が整っている	9 2.5%	5 3.8%	3 1.9%	1 1.9%			
活力ある地場産業がある	8 2.2%	1 0.8%	6 3.9%	1 1.9%			
人情味や地域の連帯感がある	63 17.3%	37 28.0%	19 12.3%	5 9.3%	1 8.3%	1 14.3%	
行政サービスが充実している	14 3.8%	6 4.5%	6 3.9%		1 8.3%	1 14.3%	
特に魅力を感じない	14 3.8%		1 0.6%	8 14.8%	5 41.7%		
その他	13 3.6%	2 1.5%	7 4.5%	2 3.7%		2 28.6%	

・問2 定住意向との関係

「自然環境が豊かである」は、愛着度にかかわらず最も高くなっています。

『住みたい』方は、「買い物の便が良い」や「道路・交通の便が良い」や「子育て・教育環境が整っている」が高く、『住みたくない』方は、「子育て・教育環境が整っている」や「特に魅力を感じない」が高くなっています。

問2 問4	合計	住みたい	どちらか という 住みたい	どちら とも いえない	どちらか という 住みたくない	住みたくない (できれば 町外へ 引越したい)	無回答
全体	364	205	84	58	9	3	5
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
自然環境が豊かである	275	166	65	38	5	1	
	75.5%	81.0%	77.4%	65.5%	55.6%	33.3%	
ごみ処理施設や上下水道などの生活環境施設が整っている	67	44	18	5			
	18.4%	21.5%	21.4%	8.6%			
道路・交通の便が良い	76	47	20	8	1		
	20.9%	22.9%	23.8%	13.8%	11.1%		
情報通信網が整っている	8	5	3				
	2.2%	2.4%	3.6%				
消防・防災・防犯体制が整っている	18	13	3	1	1		
	4.9%	6.3%	3.6%	1.7%	11.1%		
文化・スポーツ環境が整っている	22	16	6				
	6.0%	7.8%	7.1%				
子育て・教育環境が整っている	62	41	11	8	2		
	17.0%	20.0%	13.1%	13.8%	22.2%		
福祉環境が整っている	17	13	3	1			
	4.7%	6.3%	3.6%	1.7%			
保健・医療環境が整っている	33	25	8				
	9.1%	12.2%	9.5%				
買い物の便が良い	115	75	27	11	1	1	
	31.6%	36.6%	32.1%	19.0%	11.1%	33.3%	
働く場が整っている	9	8		1			
	2.5%	3.9%		1.7%			
活力ある地場産業がある	8	4	3	1			
	2.2%	2.0%	3.6%	1.7%			
人情味や地域の連帯感がある	63	43	12	7	1		
	17.3%	21.0%	14.3%	12.1%	11.1%		
行政サービスが充実している	14	10	3		1		
	3.8%	4.9%	3.6%		11.1%		
特に魅力を感じない	14	1	1	10	2		
	3.8%	0.5%	1.2%	17.2%	22.2%		
その他	13	3	3	5	1	1	
	3.6%	1.5%	3.6%	8.6%	11.1%	33.3%	

3 まちづくりの満足度・重要度について

問 5

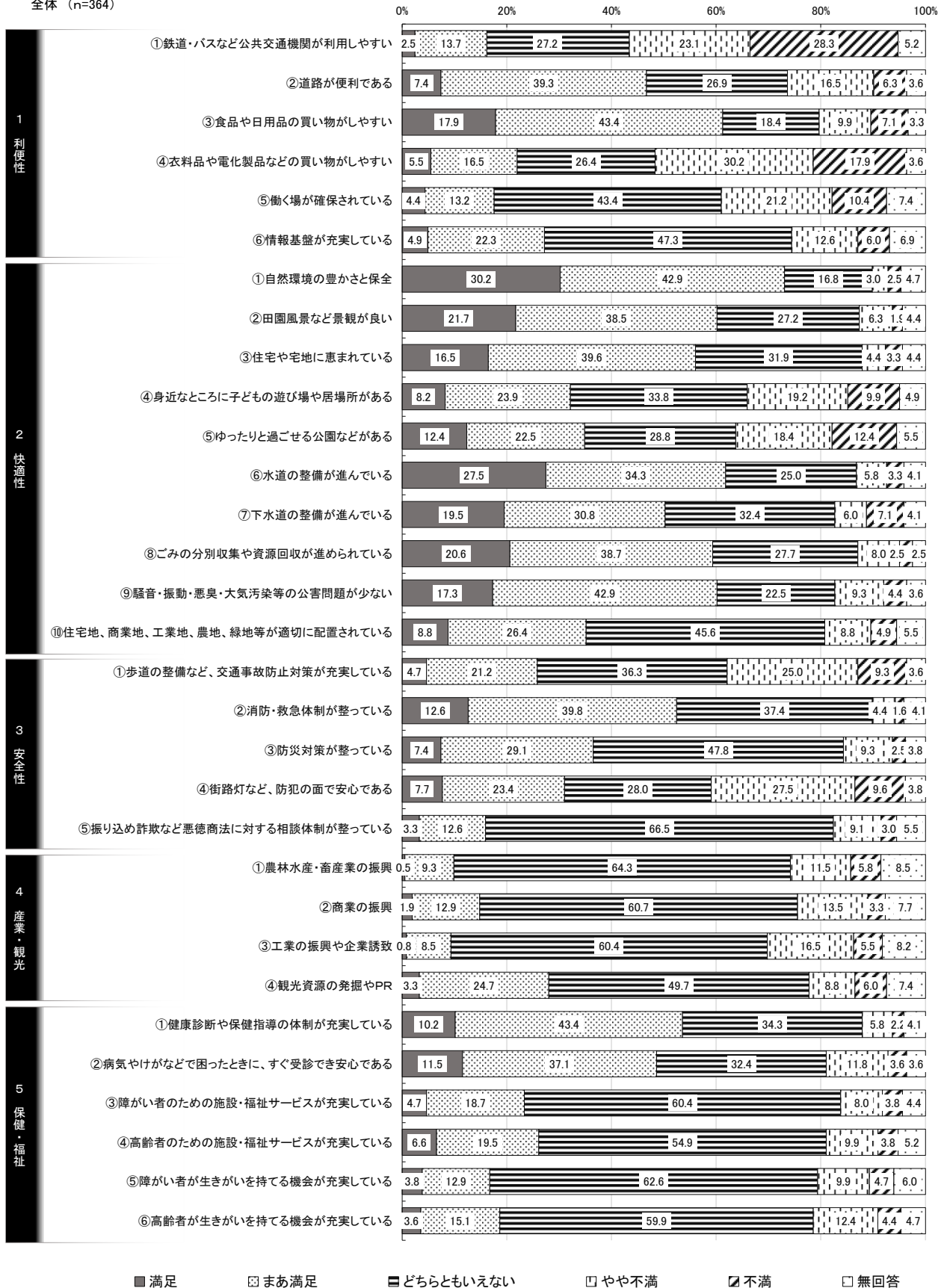
富士河口湖町の現在の状況（満足度）と今後のまちづくりにおける重要度についておたずねします。((1)と(2)について、それぞれの項目ごとに1つつ〇印)

(1)満足度

満足度については、「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足している』は、「2-①自然環境（大気・水環境、動物・植物など）の豊かさと保全」が73.1%と最も高く、次いで、「2-⑥水道の整備が進んでいる」(61.8%)、「1-③食品や日用品の買い物がしやすい」(61.3%)、「2-②田園風景など景観が良い」「⑨騒音・振動・悪臭・大気汚染等の公害問題が少ない」(同率60.2%)、「2-⑧ごみの分別収集や資源回収が進められている」(59.3%)などの順となっています。

また「やや不満」と「不満」を合わせた『不満である』は「1-①鉄道・バスなど公共交通機関が利用しやすい」が51.4%と最も高く、次いで、「1-④衣料品や電化製品などの買い物がしやすい」(48.1%)、「3-④街路灯など、防犯の面で安心である」(37.1%)、「3-①歩道の整備など、交通事故防止対策が充実している」(34.3%)、「1-⑤働く場が確保されている」(31.6%)などの順となっています。

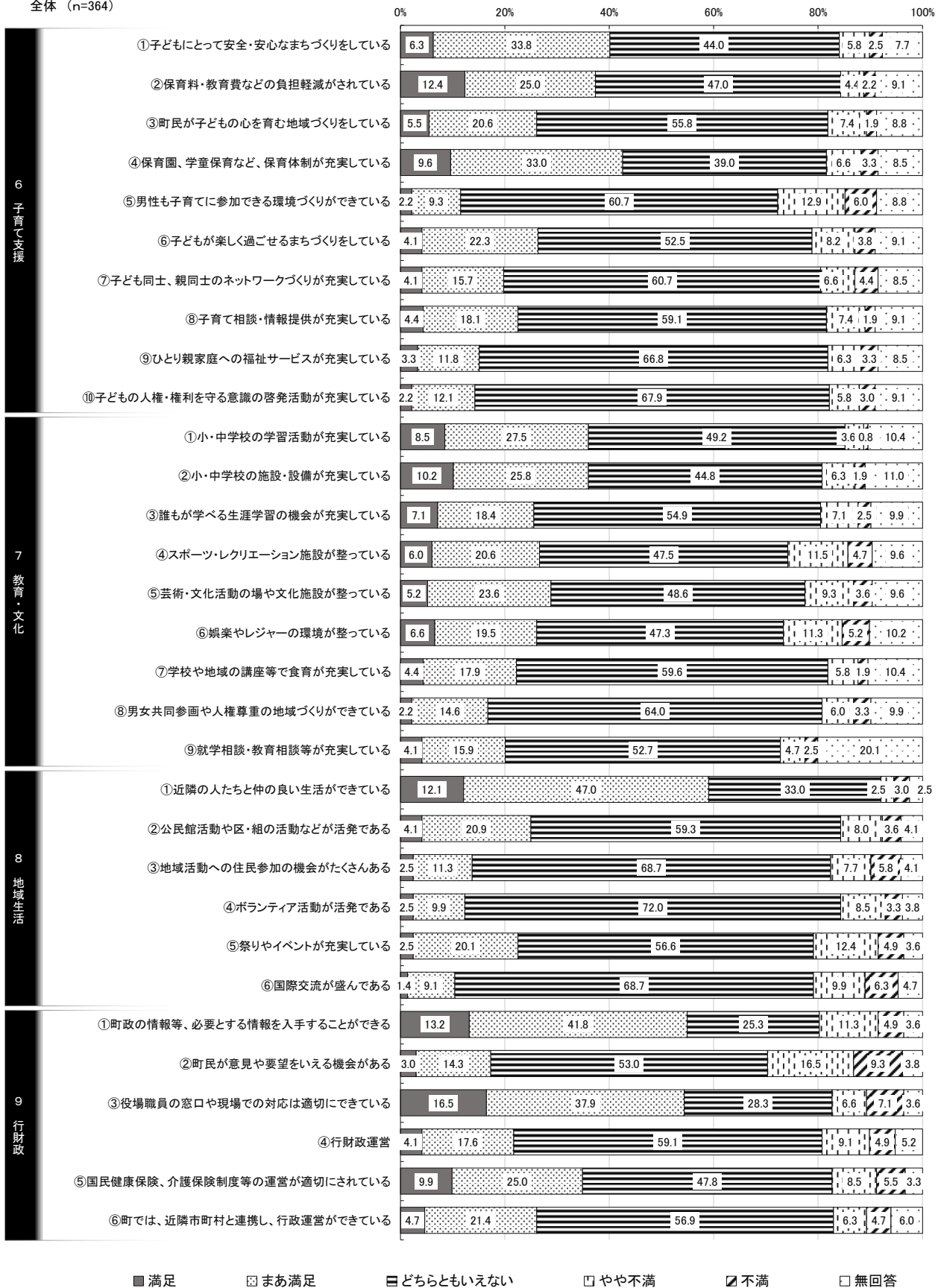
全体 (n=364)



■ 満足 ■ まあ満足 ■ どちらともいえない □ やや不満 ■ 不満 □ 無回答

3 まちづくりの満足度・重要度について

全体 (n=364)

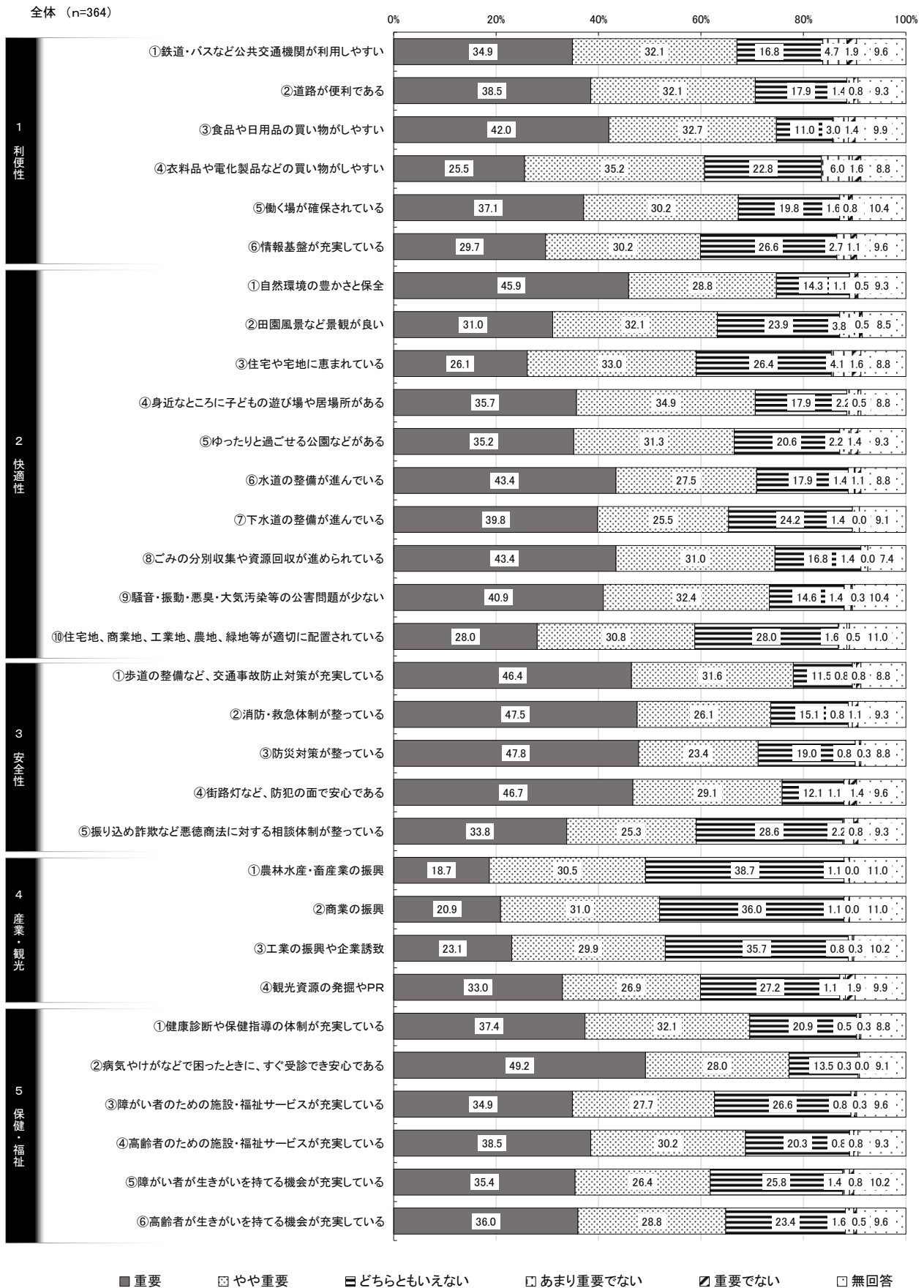


(2)重要度

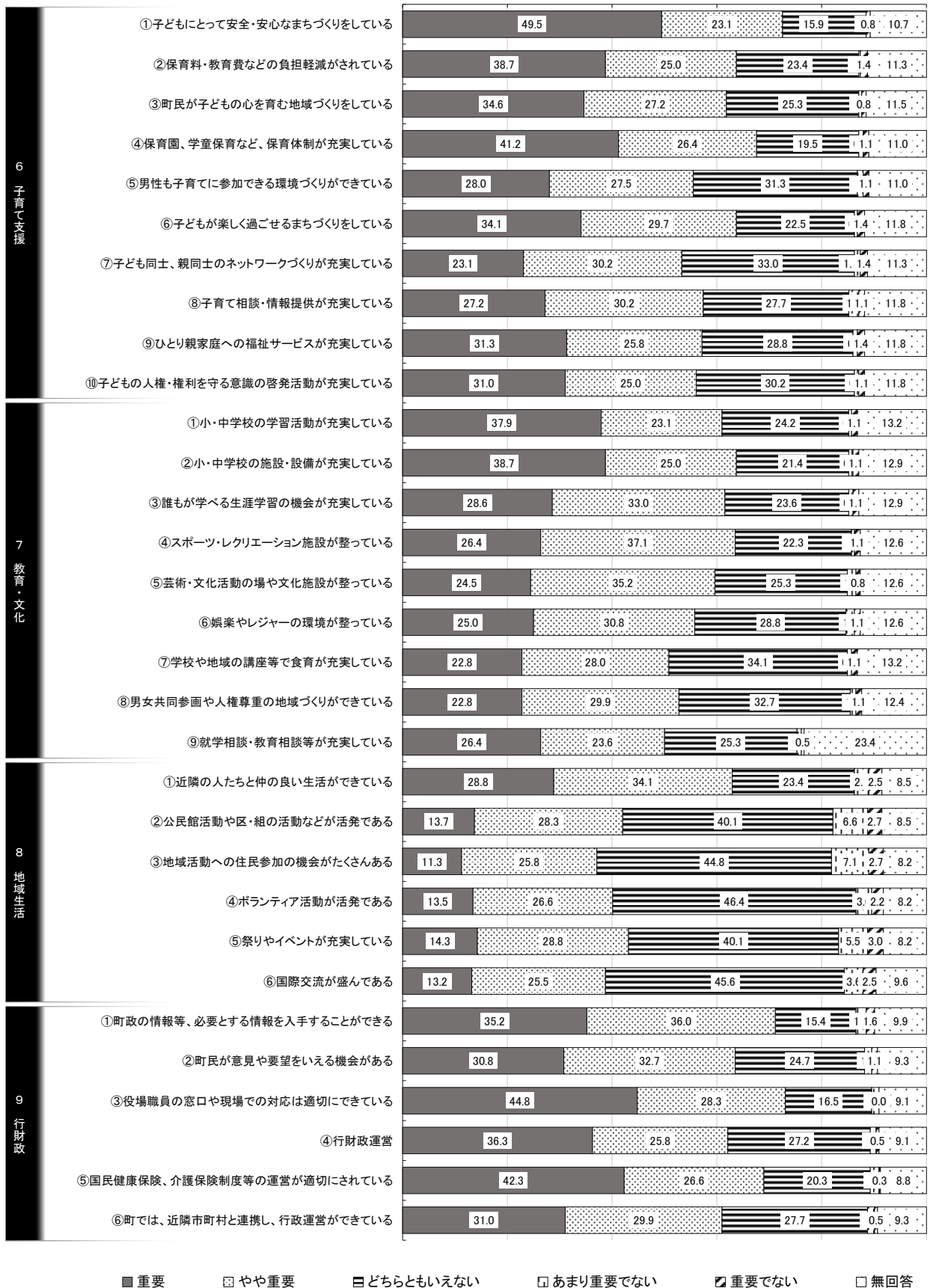
重要度については、「重要」と「やや重要」を合わせた『重要である』は、「3-①歩道の整備など、交通事故防止対策が充実している」が 78.0%と最も高く、次いで、「5-②病気やけがなどで困ったときに、すぐ受診でき安心である」(77.2%)、「3-④街路灯など、防犯の面で安心である」(75.8%)、「1-③食品や日用品の買い物がしやすい」「2-①自然環境(大気・水環境、動物・植物など)の豊かさ」と「2-⑧ごみの分別収集や資源回収が進められている」(74.4%)などの順となっています。

また「あまり重要でない」と「重要でない」を合わせた『重要ではない』は「8-③地域活動への住民参加の機会がたくさんある」が 9.8%と最も高く、次いで、「8-②公民館活動や区・組の活動などが活発である」(9.3%)、「8-⑤祭りやイベントが充実している」(8.5%)、「1-④衣料品や電化製品などの買い物がしやすい」(7.6%)、「1-①鉄道・バスなど公共交通機関が利用しやすい」(6.6%)などの順となっています。

3 まちづくりの満足度・重要度について

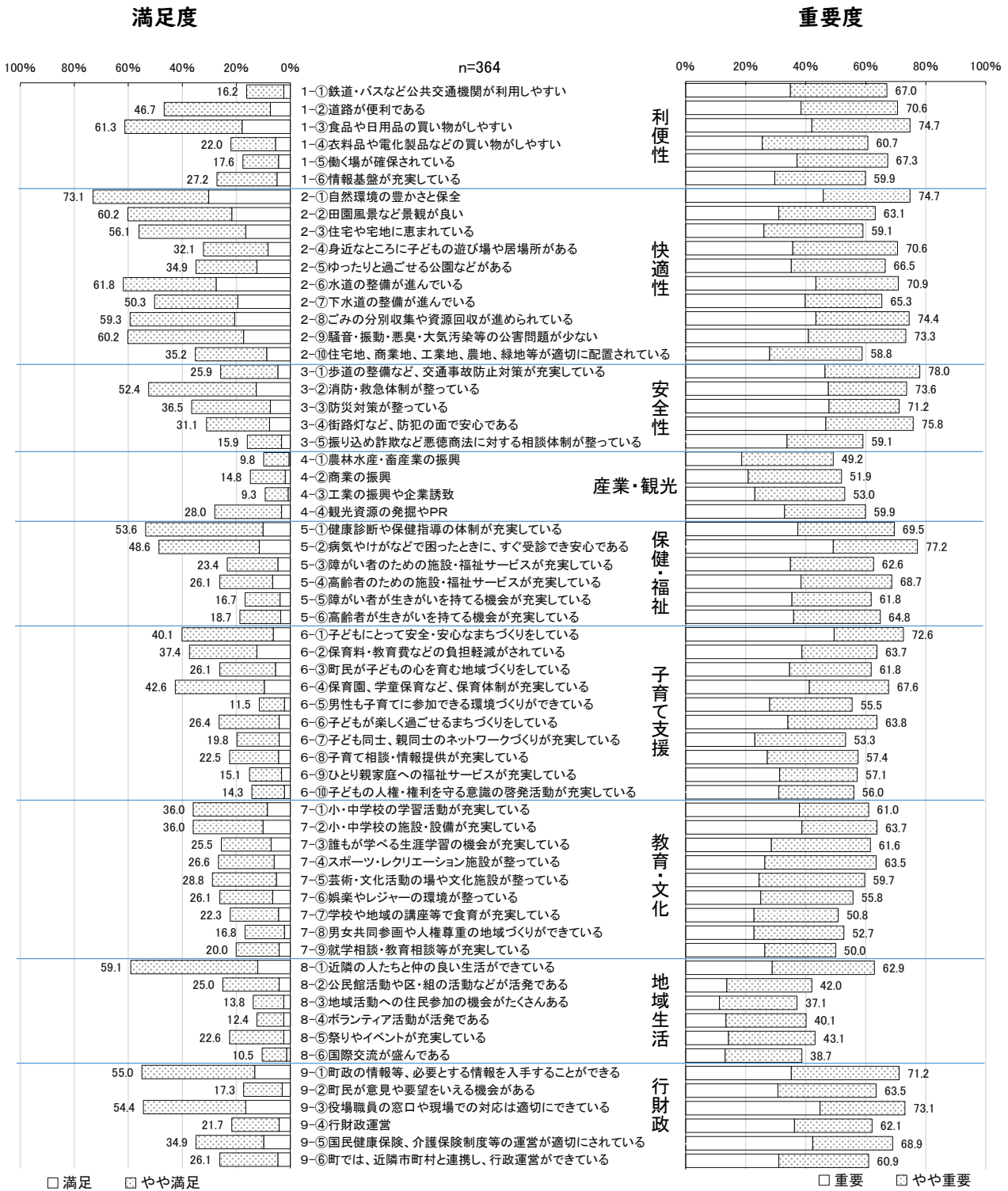


全体 (n=364)



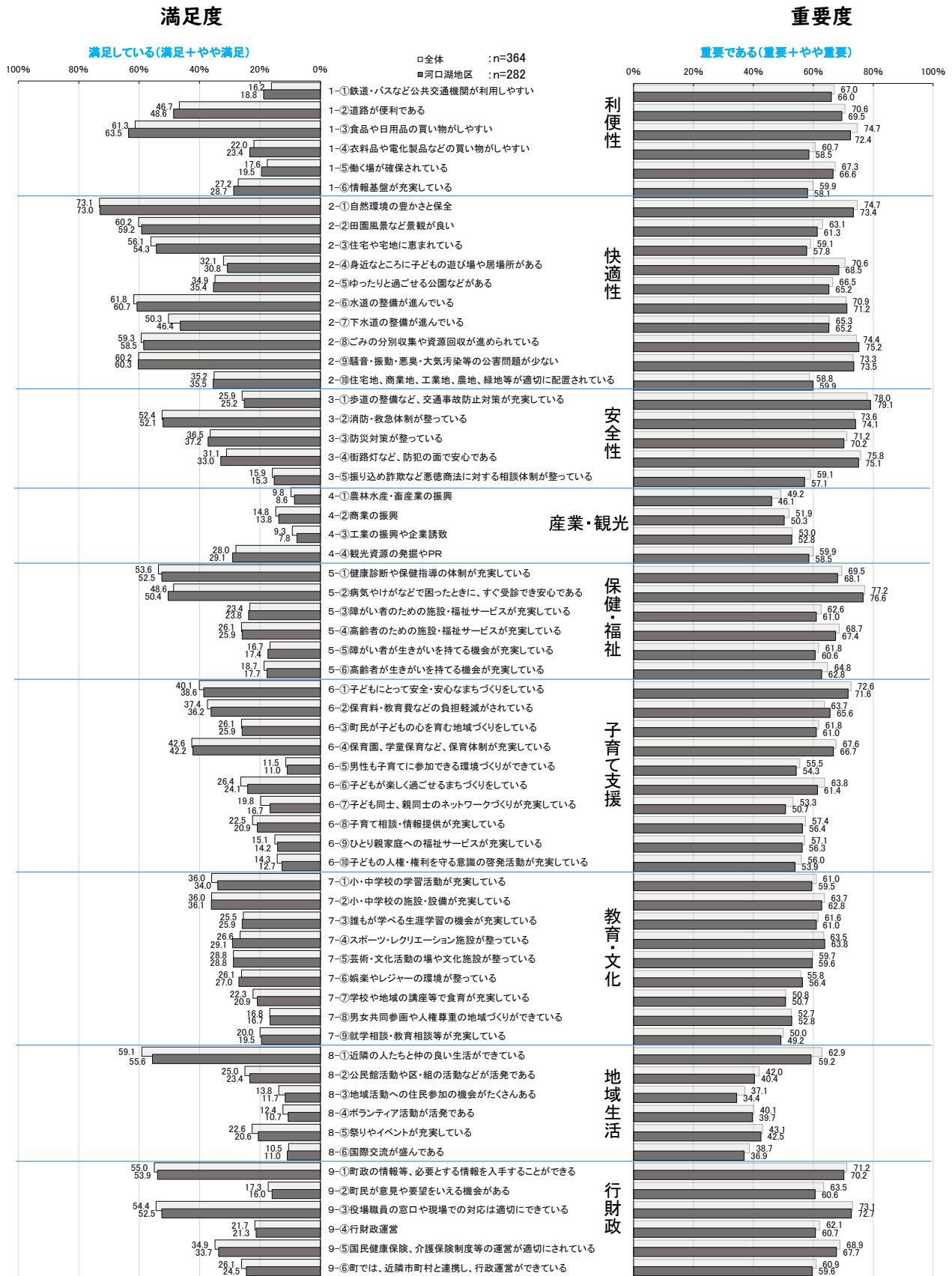
満足度<<『満足している』（「満足」+「まあ満足」）>>と重要度<<『重要である』（「重要」+「やや重要」）>>対比

○全体

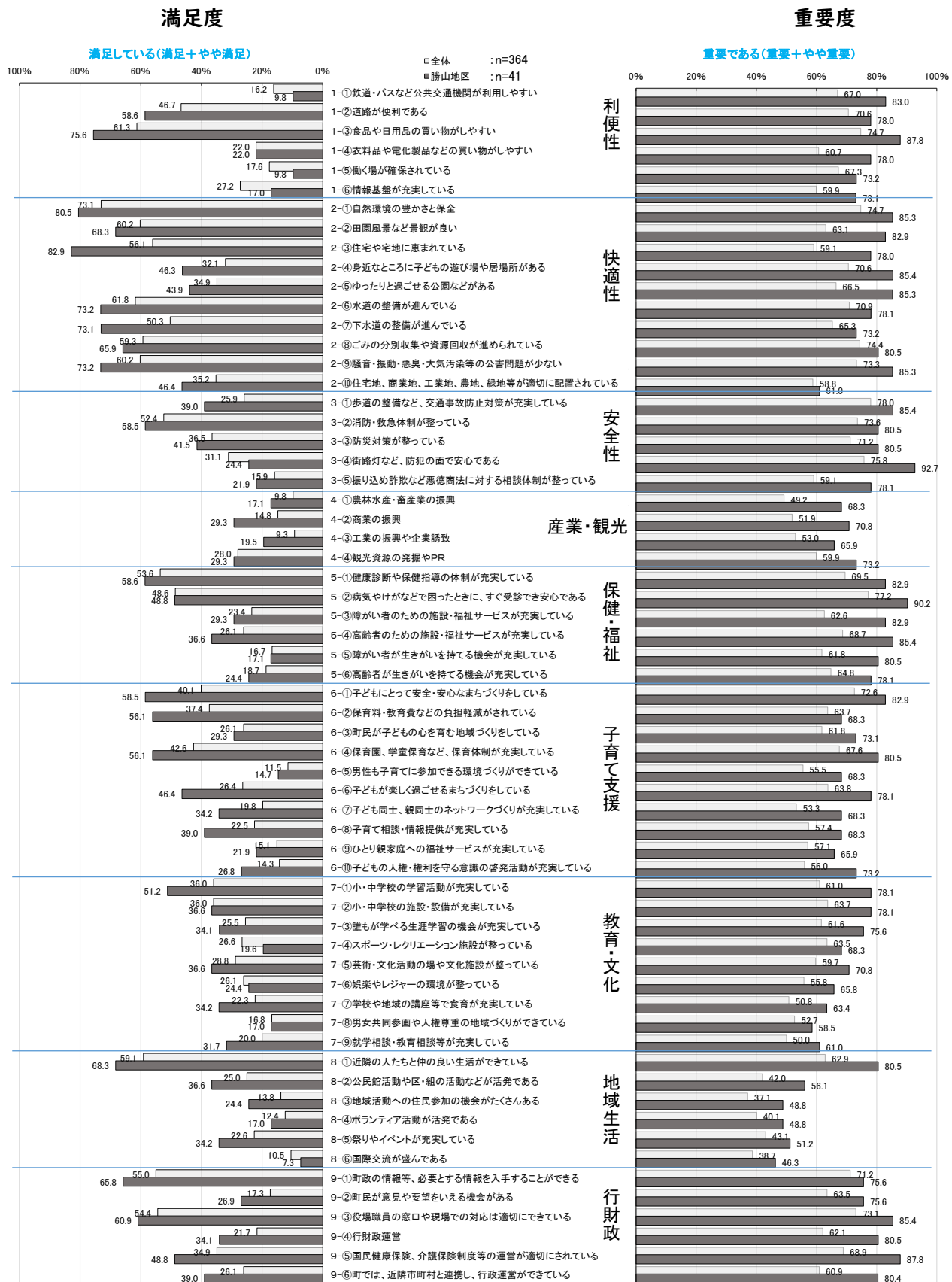


地域別の満足度と重要度対比

○河口市地区

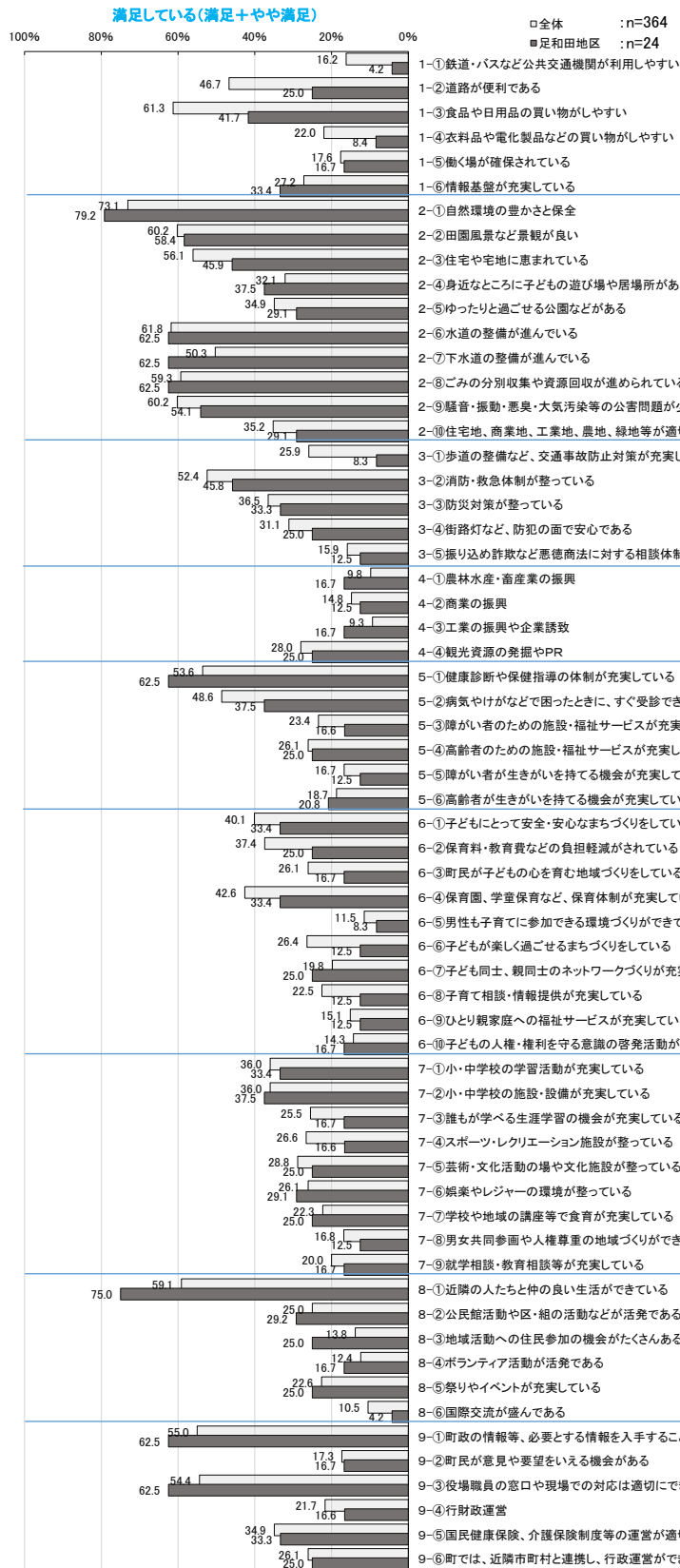


○勝山地区

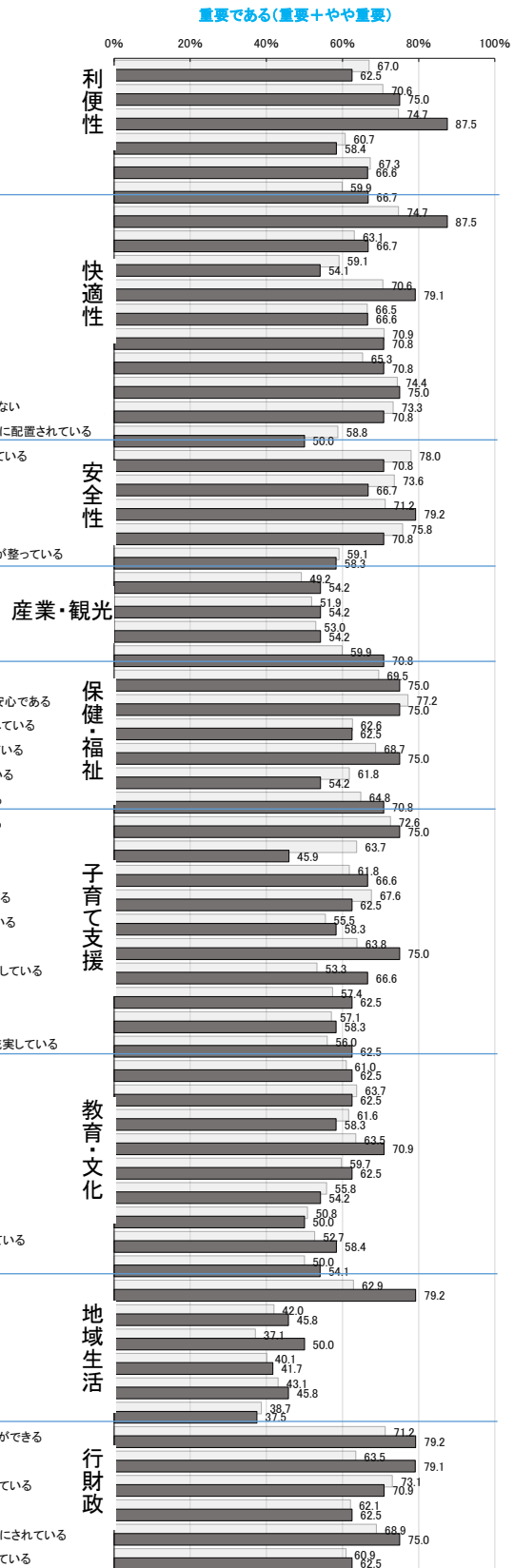


○足和田地区

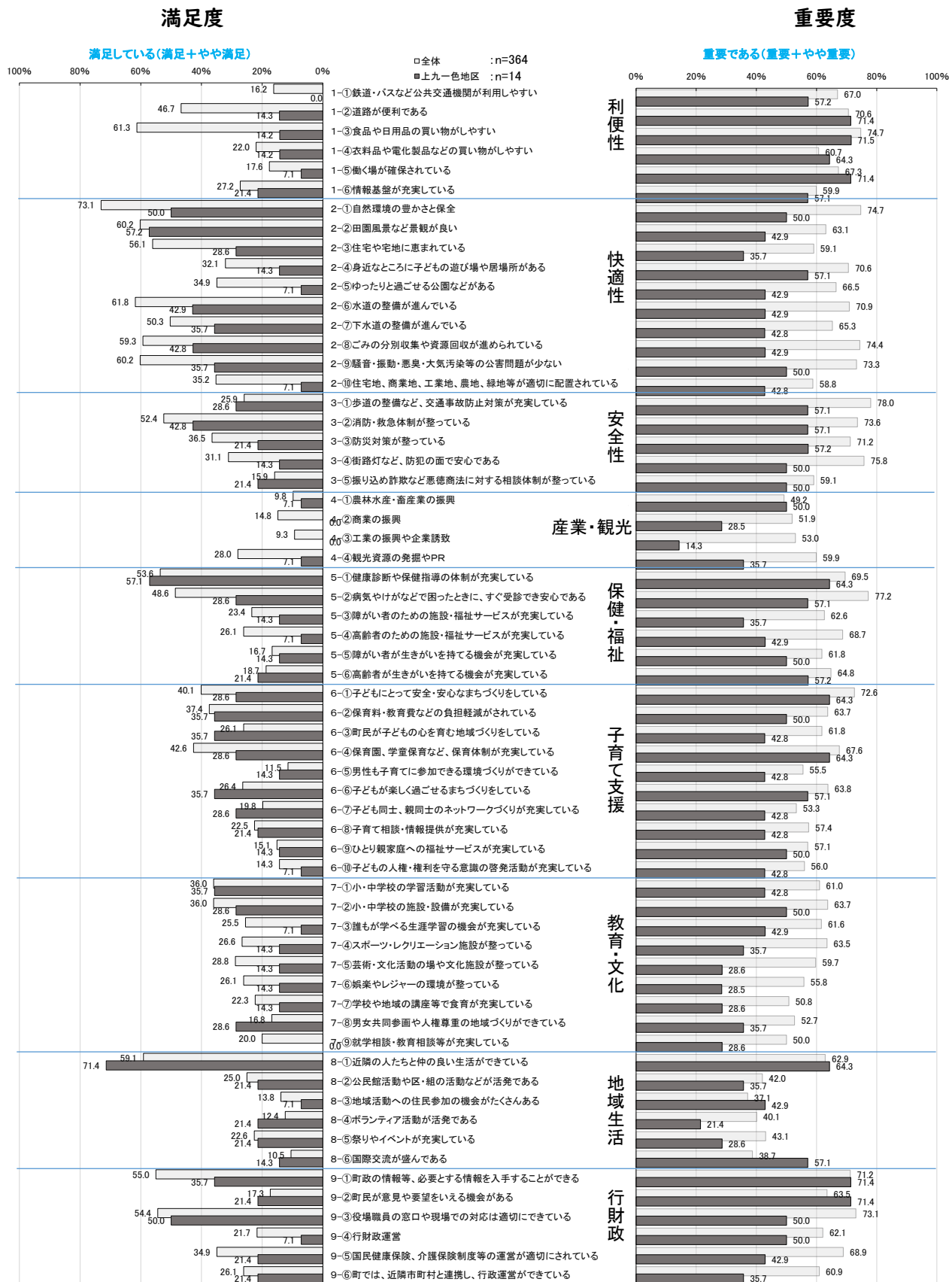
満足度



重要度

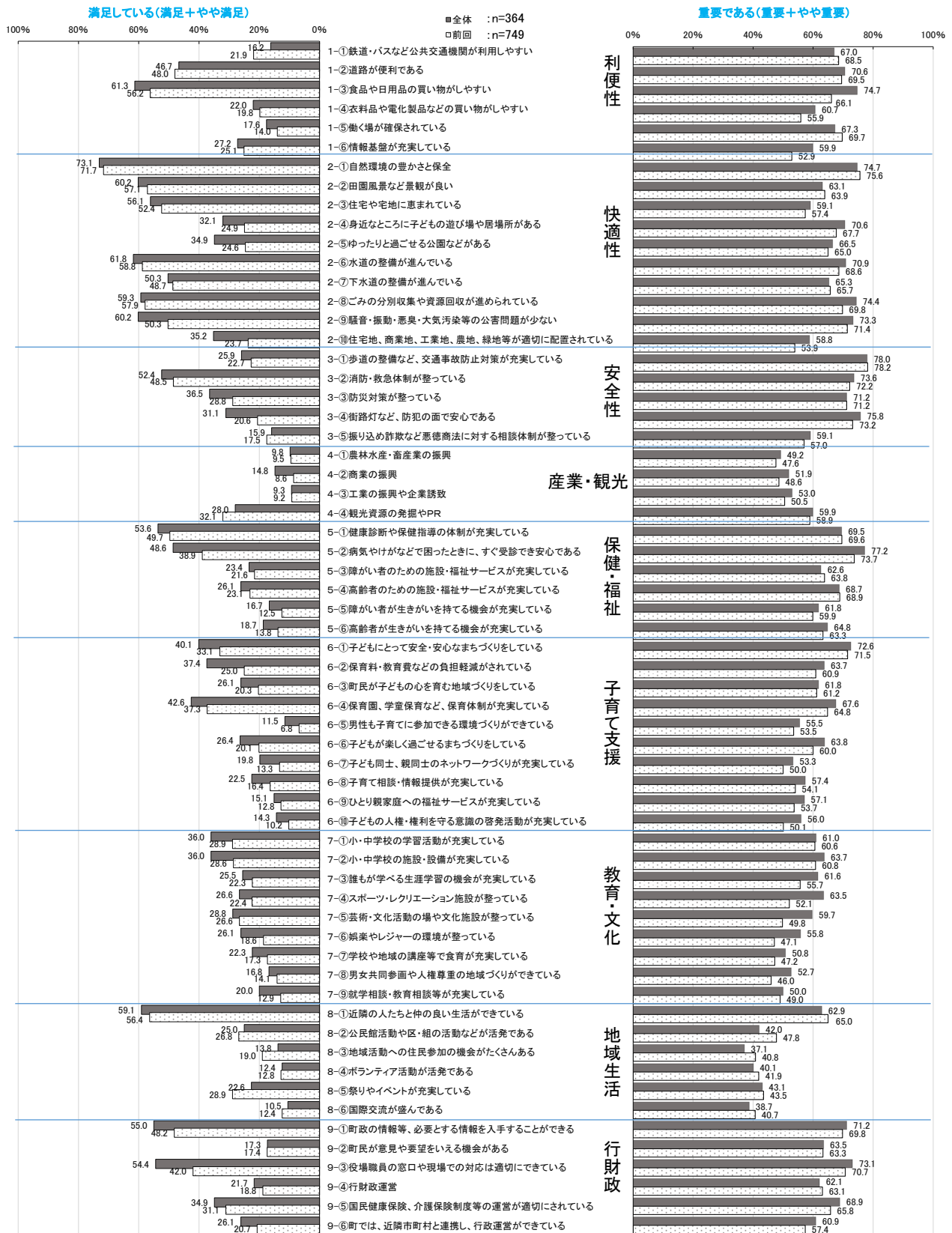


○上九一色地区



満足度と重要度の前回(平成 28 年)比較

○全体・前回



点数化による分析

※加重平均値の算出方法（重要度も同様）

5段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点を算出する。

$$\text{評価点} = \frac{\begin{pmatrix} \text{「満足」の回答数} \times 10 \text{ 点} \\ \text{「まあ満足」の回答数} \times 5 \text{ 点} \\ \text{「どちらともいえない」の回答数} \times 0 \text{ 点} \\ \text{「やや不満」の回答数} \times -5 \text{ 点} \\ \text{「不満」の回答数} \times -10 \text{ 点} \end{pmatrix}}{\begin{pmatrix} \text{「満足」、「まあ満足」、} \\ \text{「どちらともいえない」、} \\ \text{「やや不満」、「不満」} \\ \text{の回答数の合計} \end{pmatrix}}$$

満足度と重要度をそれぞれ横軸、縦軸に設定し、分布図を作成しました。また、満足度と重要度それぞれについて62項目の点数の平均点を算出し、グラフ上にラインを引くと4つのエリアに分類されます。ここでは『満足度が低く重要度が高い』項目の左上エリアを中心にみていくこととします。

『満足度が低く重要度が高い』について、全体では、12項目あります。

(1) 利便性

1-①鉄道・バスなど公共交通機関が利用しやすい

1-⑤働く場が確保されている

(2) 快適性

2-④身近なところに子どもの遊び場や居場所がある

2-⑤ゆったりと過ごせる公園などがある

(3) 安全性

3-①歩道の整備など、交通事故防止対策が充実している

3-④街路灯など、防犯の面で安心である

(5) 保健・福祉

5-③障がい者のための施設・福祉サービスが充実している

5-④高齢者のための施設・福祉サービスが充実している

5-⑤障がい者が生きがいを持てる機会が充実している

5-⑥高齢者が生きがいを持てる機会が充実している

(6) 子育て支援

6-⑥子どもが楽しく過ごせるまちづくりをしている

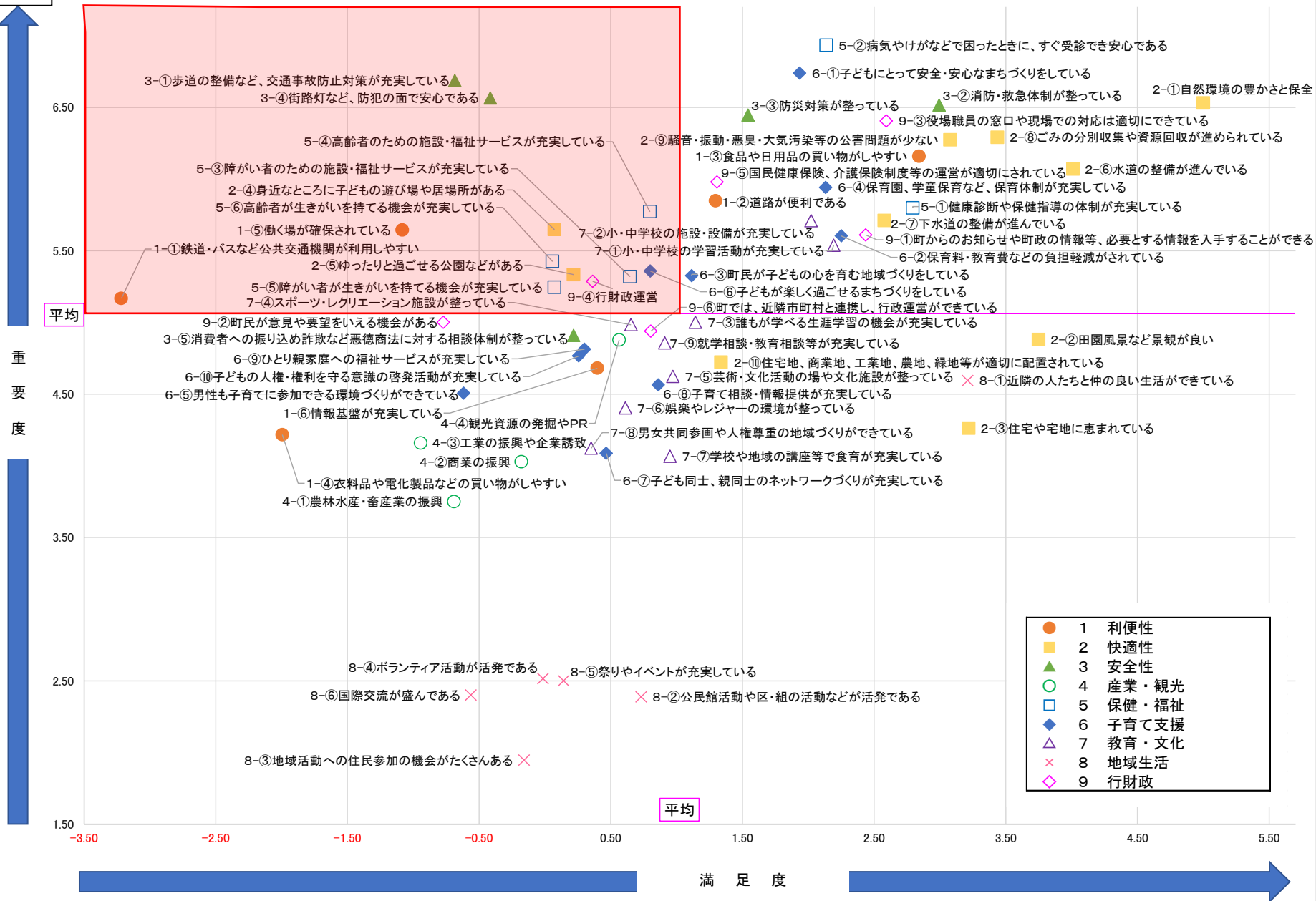
(9) 行財政

9-④行財政運営

		満足度	
		低い	高い
重要度	高い	満足度が低く 重要度が高い	満足度が高く 重要度も高い
	低い	満足度が低く 重要度も低く	満足度が高く 重要度が低い

(4) 産業・観光、(7) 教育・文化、(8) 地域生活の分野に、該当項目はありませんでした。

今回

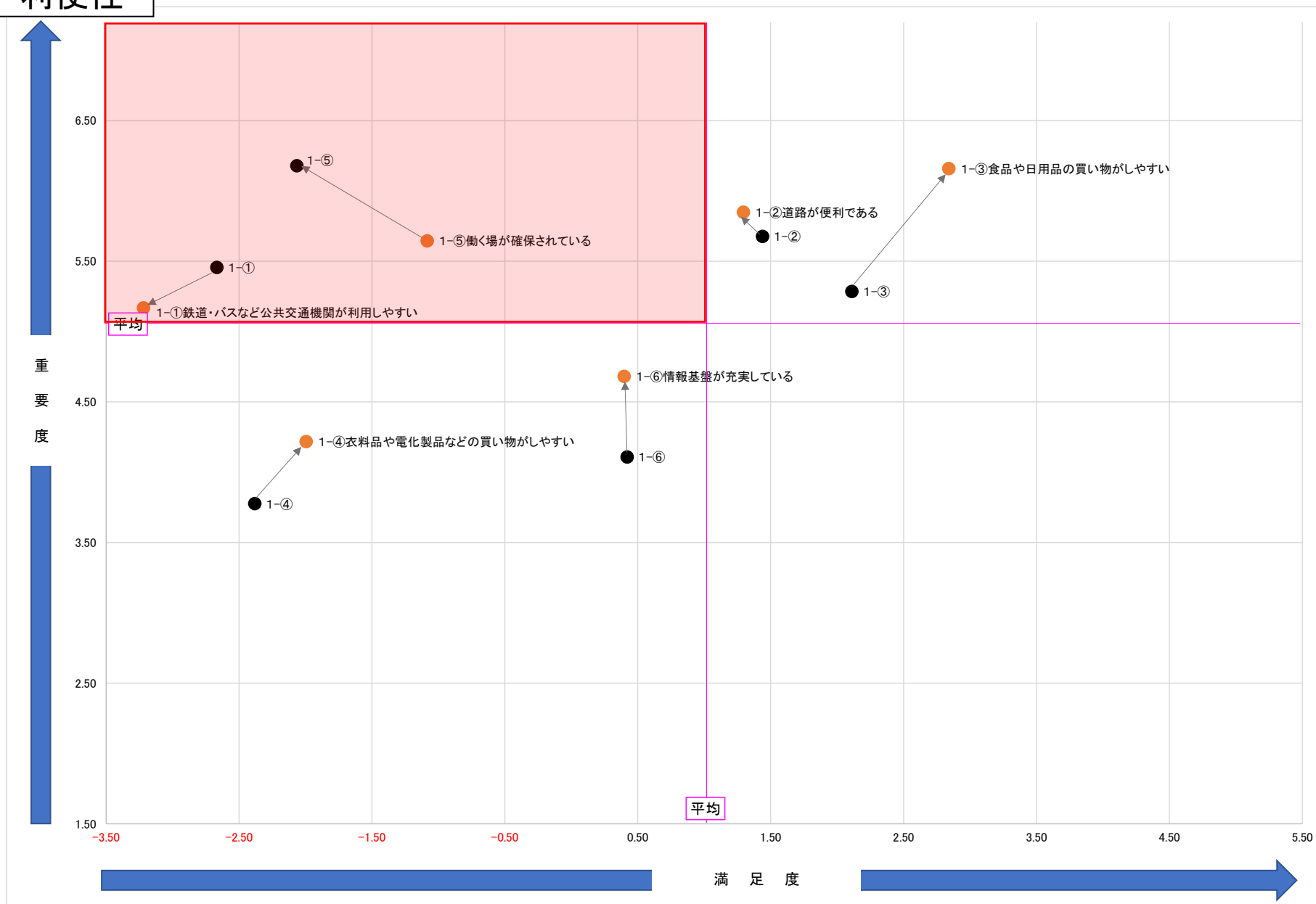


前回

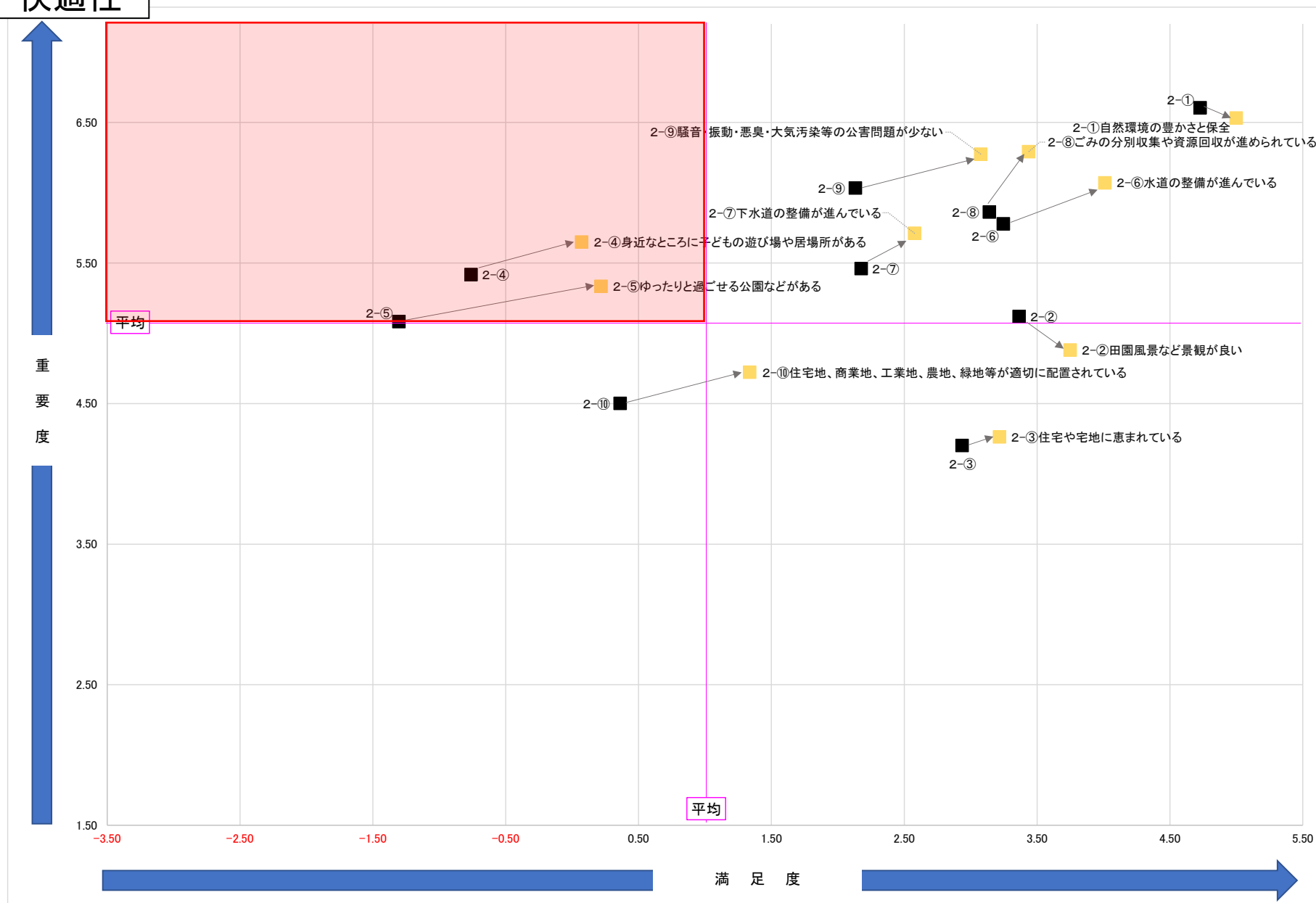


項目		満足度		重要度	
		前回	今回	前回	今回
1 利 便 性	①鉄道・バスなど公共交通機関が利用しやすい	-2.67	👎 -3.22	5.46	👎 5.17
	②道路が便利である	1.44	👎 1.30	5.68	👎 5.85
	③食品や日用品の買い物がしやすい	2.11	👎 2.84	5.28	👎 6.16
	④衣料品や電化製品などの買い物がしやすい	-2.38	👎 -1.99	3.78	👎 4.22
	⑤働く場が確保されている	-2.06	👎 -1.08	6.18	👎 5.64
	⑥情報基盤が充実している	0.42	👎 0.40	4.11	👎 4.68
2 快 適 性	①自然環境の豊かさと保全	4.73	👎 5.00	6.60	👎 6.53
	②田園風景など景観が良い	3.37	👎 3.75	5.12	👎 4.88
	③住宅や宅地に恵まれている	2.94	👎 3.22	4.20	👎 4.26
	④身近なところに子どもの遊び場や居場所がある	-0.76	👎 0.07	5.42	👎 5.65
	⑤ゆったりと過ごせる公園などがある	-1.30	👎 0.22	5.08	👎 5.33
	⑥水道の整備が進んでいる	3.25	👎 4.01	5.78	👎 6.07
	⑦下水道の整備が進んでいる	2.18	👎 2.58	5.46	👎 5.71
	⑧ごみの分別収集や資源回収が進められている	3.14	👎 3.44	5.86	👎 6.29
	⑨騒音・振動・悪臭・大気汚染等の公害問題が少ない	2.13	👎 3.08	6.03	👎 6.27
	⑩住宅地、商業地、工業地、農地、緑地等が適切に配置されている	0.36	👎 1.34	4.50	👎 4.72
3 安 全 性	①歩道の整備など、交通事故防止対策が充実している	-1.33	👎 -0.68	6.68	👎 6.69
	②消防・救急体制が整っている	2.32	👎 2.99	6.46	👎 6.52
	③防災対策が整っている	0.55	👎 1.54	6.54	👎 6.45
	④街路灯など、防犯の面で安心である	-1.44	👎 -0.41	6.66	👎 6.57
	⑤消費者への振り込め詐欺など悪徳商法に対する相談体制が整っている	0.23	👎 0.22	4.76	👎 4.91
4 観 産 光 業 ・	①農林水産・畜産業の振興	-0.63	👎 -0.69	3.72	👎 3.75
	②商業の振興	-0.66	👎 -0.18	3.73	👎 4.03
	③工業の振興や企業誘致	-0.91	👎 -0.94	4.08	👎 4.16
	④観光資源の発掘やPR	1.14	👎 0.56	4.89	👎 4.88
5 保 健 ・ 福 祉	①健康診断や保健指導の体制が充実している	2.50	👎 2.79	5.86	👎 5.80
	②病氣やけがなどで困ったときに、すぐ受診でき安心である	0.84	👎 2.14	6.55	👎 6.93
	③障がい者のための施設・福祉サービスが充実している	0.21	👎 0.65	5.50	👎 5.32
	④高齢者のための施設・福祉サービスが充実している	0.13	👎 0.80	5.98	👎 5.77
	⑤障がい者が生きがいを持てる機会が充実している	-0.47	👎 0.07	5.15	👎 5.24
	⑥高齢者が生きがいを持てる機会が充実している	-0.65	👎 0.06	5.31	👎 5.43
6 子 育 て 支 援	①子どもにとって安全・安心なまちづくりをしている	1.13	👎 1.93	6.63	👎 6.74
	②保育料・教育費などの負担軽減がされている	0.76	👎 2.25	5.50	👎 5.60
	③町民が子どもの心を育む地域づくりをしている	0.25	👎 1.11	5.44	👎 5.33
	④保育園、学童保育など、保育体制が充実している	1.58	👎 2.13	5.77	👎 5.94
	⑤男性も子育てに参加できる環境づくりができています	-1.28	👎 -0.62	4.51	👎 4.51
	⑥子どもが楽しく過ごせるまちづくりをしている	0.29	👎 0.80	5.11	👎 5.36
	⑦子ども同士、親同士のネットワークづくりが充実している	-0.04	👎 0.47	4.15	👎 4.09
	⑧子育て相談・情報提供が充実している	0.16	👎 0.86	4.59	👎 4.56
	⑨ひとり親家庭への福祉サービスが充実している	0.07	👎 0.30	4.63	👎 4.81
	⑩子どもの人権・権利を守る意識の啓発活動が充実している	-0.12	👎 0.26	4.39	👎 4.77
7 教 育 ・ 文 化	①小・中学校の学習活動が充実している	1.30	👎 2.19	5.47	👎 5.54
	②小・中学校の施設・設備が充実している	1.15	👎 2.02	5.40	👎 5.71
	③誰もが学べる生涯学習の機会が充実している	0.63	👎 1.14	4.61	👎 5.00
	④スポーツ・レクリエーション施設が整っている	0.22	👎 0.65	4.15	👎 4.98
	⑤芸術・文化活動の場や文化施設が整っている	0.63	👎 0.97	4.02	👎 4.62
	⑥娯楽やレジャーの環境が整っている	-0.23	👎 0.61	3.62	👎 4.40
	⑦学校や地域の講座等で食育が充実している	0.43	👎 0.95	3.85	👎 4.07
	⑧男女共同参画や人権尊重の地域づくりができています	0.10	👎 0.35	3.68	👎 4.12
	⑨就学相談・教育相談等が充実している	0.20	👎 0.91	4.60	👎 4.86
8 地 域 生 活	①近隣の人たちと仲の良い生活ができています	2.88	👎 3.21	5.21	👎 4.59
	②公民館活動や区・組の活動などが活発である	0.89	👎 0.73	3.18	👎 2.39
	③地域活動への住民参加の機会がたくさんある	0.30	👎 -0.16	2.51	👎 1.95
	④ボランティア活動が活発である	-0.01	👎 -0.01	2.88	👎 2.51
	⑤祭りやイベントが充実している	0.97	👎 0.14	2.91	👎 2.50
	⑥国際交流が盛んである	-0.34	👎 -0.56	2.84	👎 2.40
9 行 政 財 政	①町からのお知らせや町政の情報等、必要とする情報を入手することができる	1.82	👎 2.44	5.71	👎 5.61
	②町民が意見や要望をいえる機会がある	-1.02	👎 -0.77	5.19	👎 5.00
	③役場職員の窓口や現場での対応は適切にできています	1.22	👎 2.59	6.11	👎 6.40
	④行財政運営	-0.03	👎 0.36	5.59	👎 5.29
	⑤国民健康保険、介護保険制度等の運営が適切にされている	0.99	👎 1.31	5.78	👎 5.98
	⑥町では、近隣市町村と連携し、行政運営ができています	0.55	👎 0.80	4.83	👎 4.94

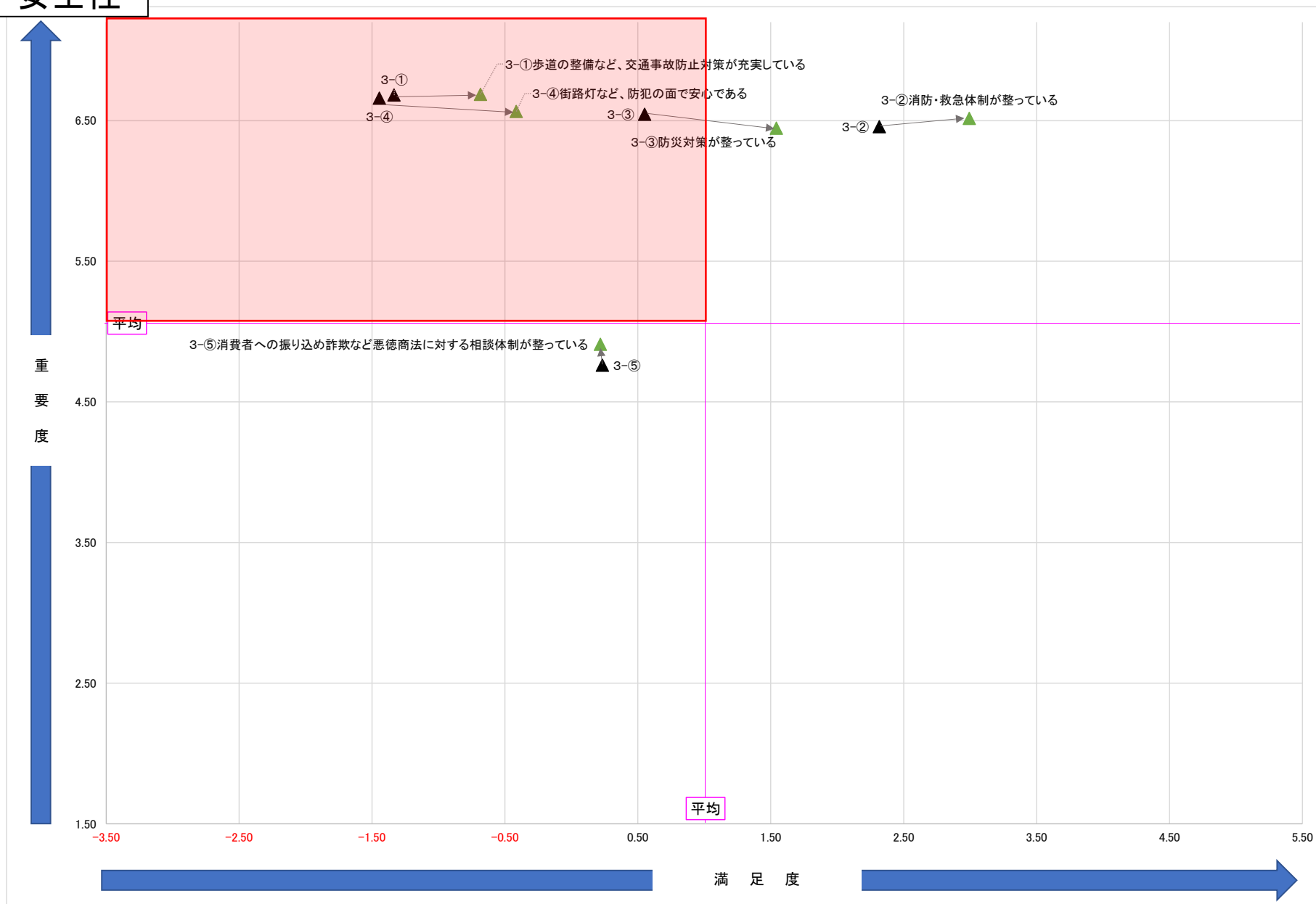
1 利便性



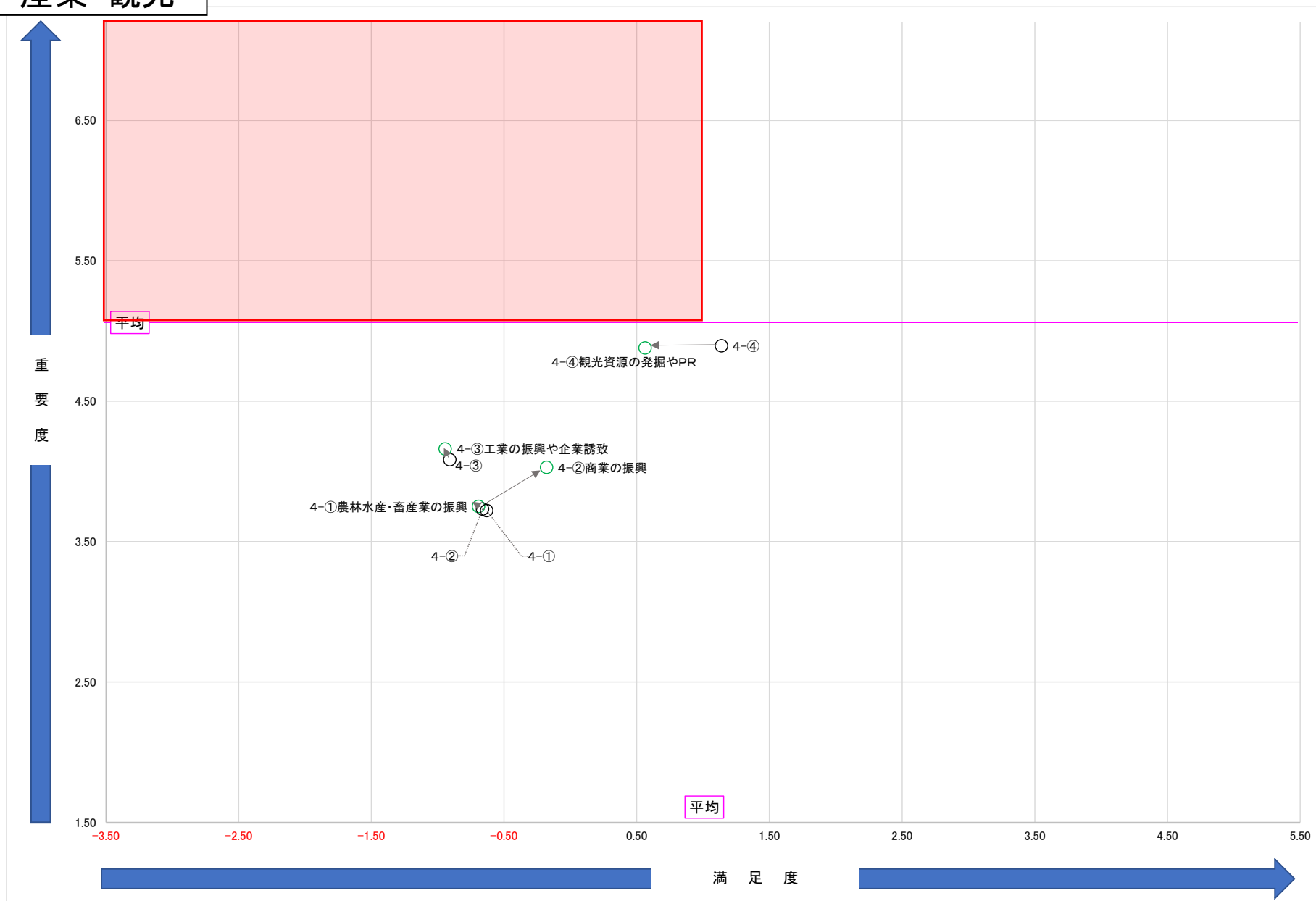
2 快適性



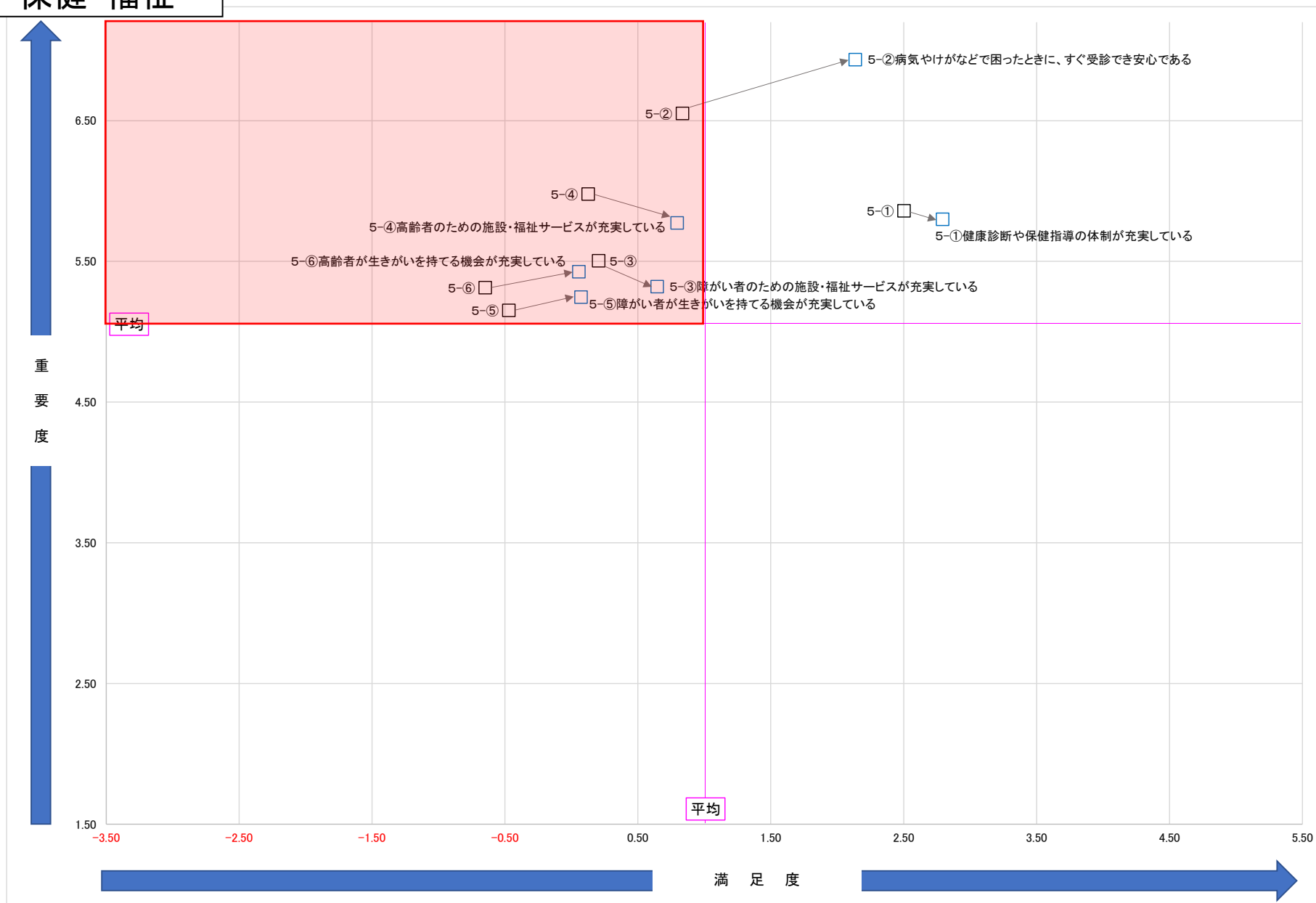
3 安全性



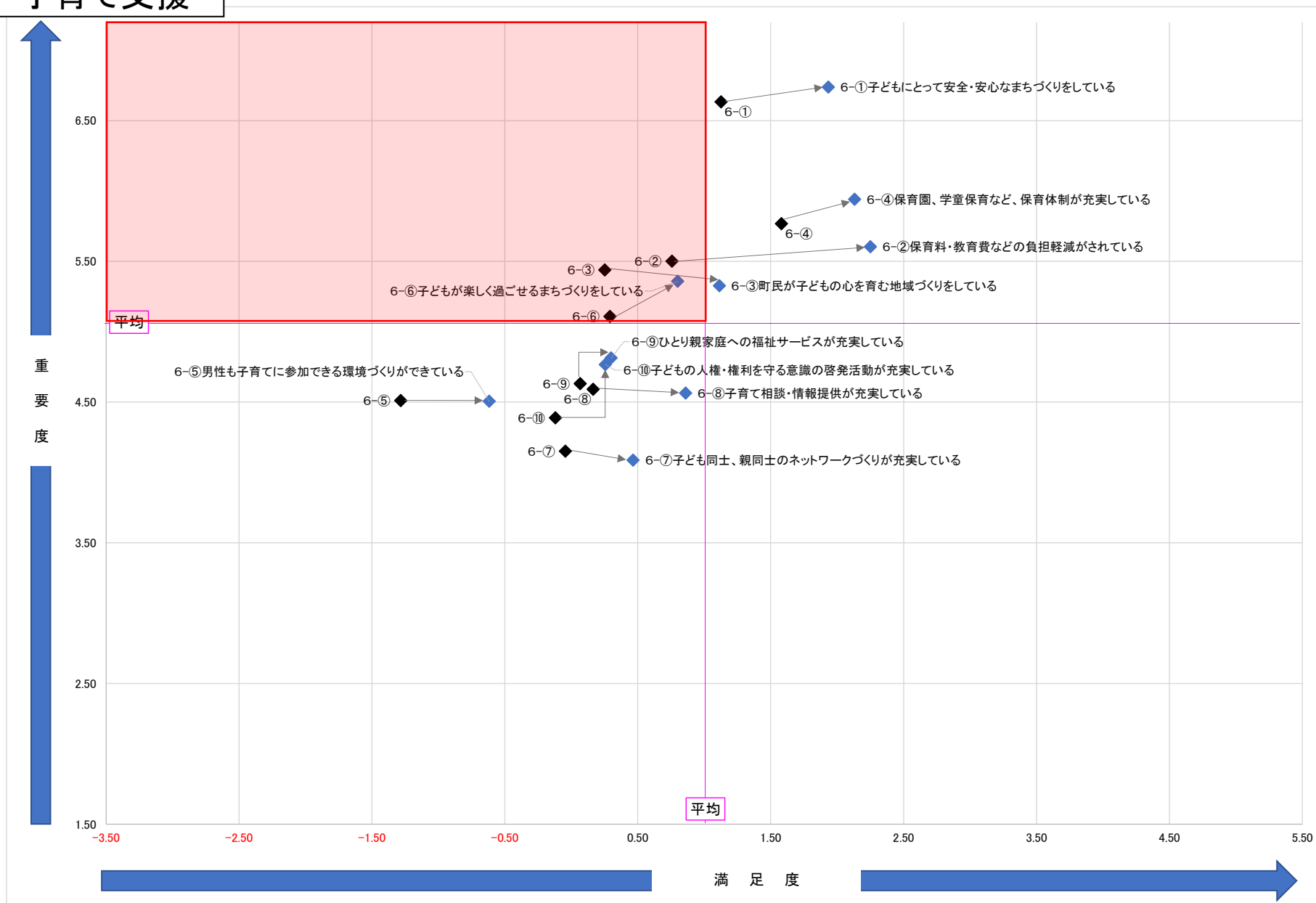
4 産業・観光



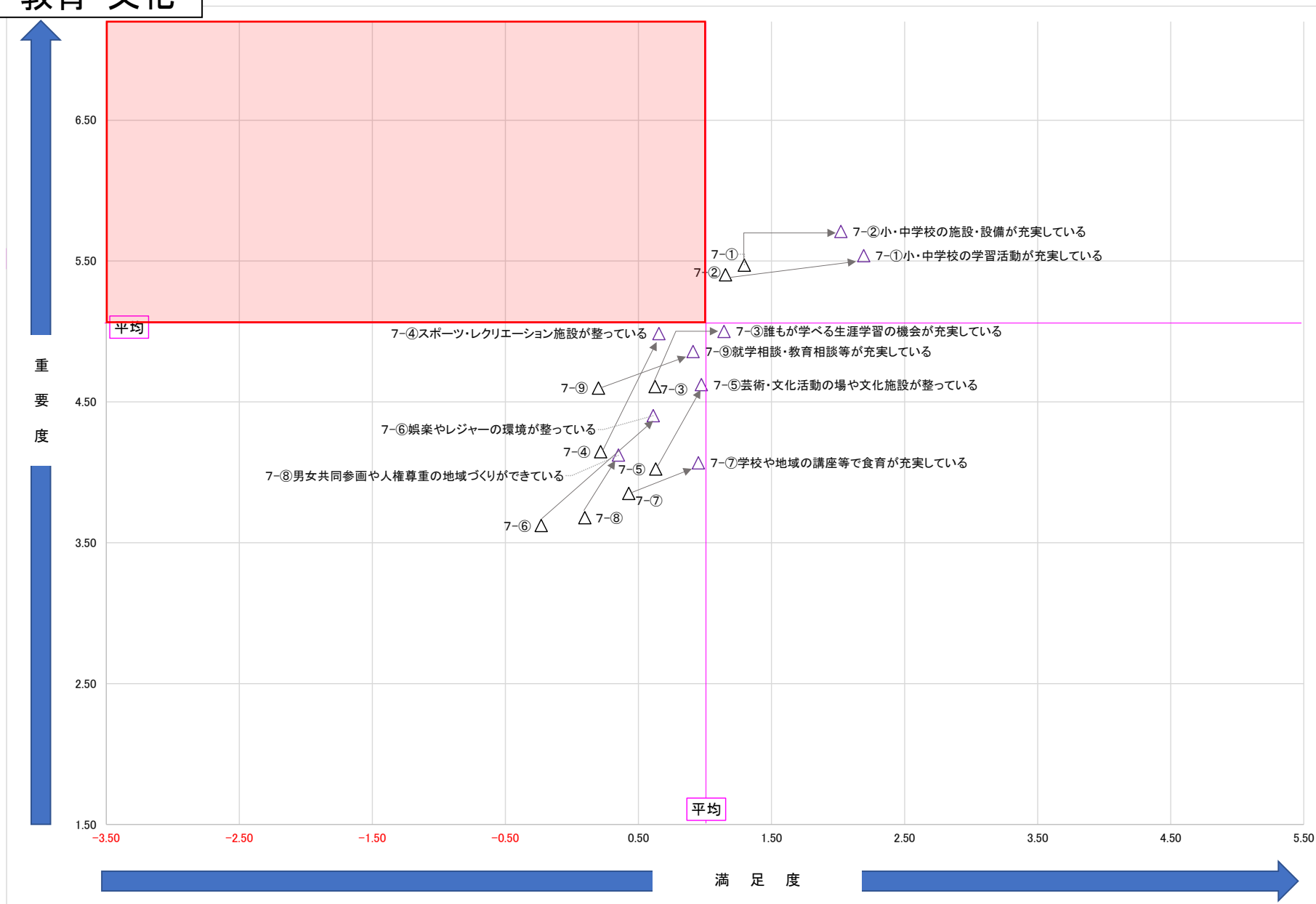
5 保健・福祉



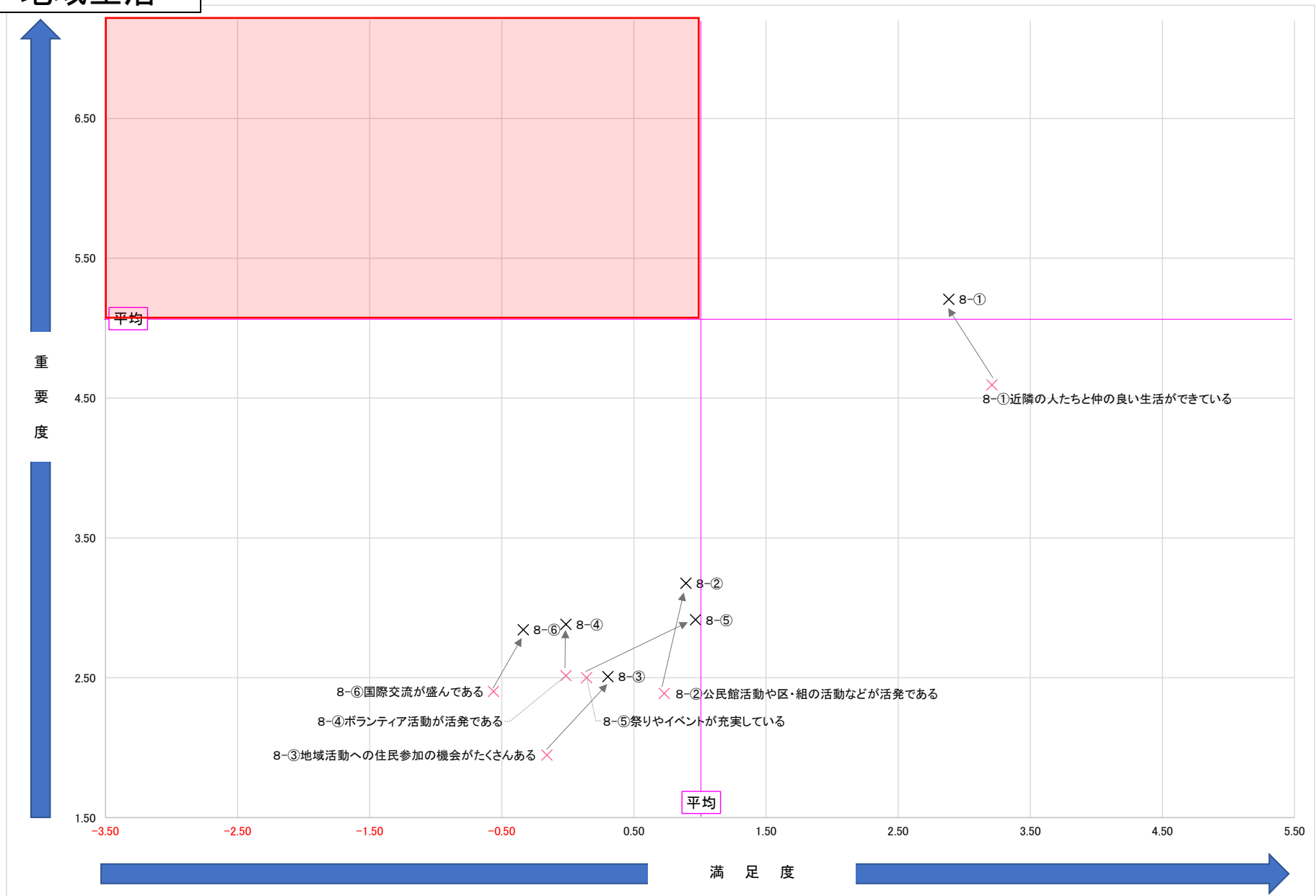
6 子育て支援



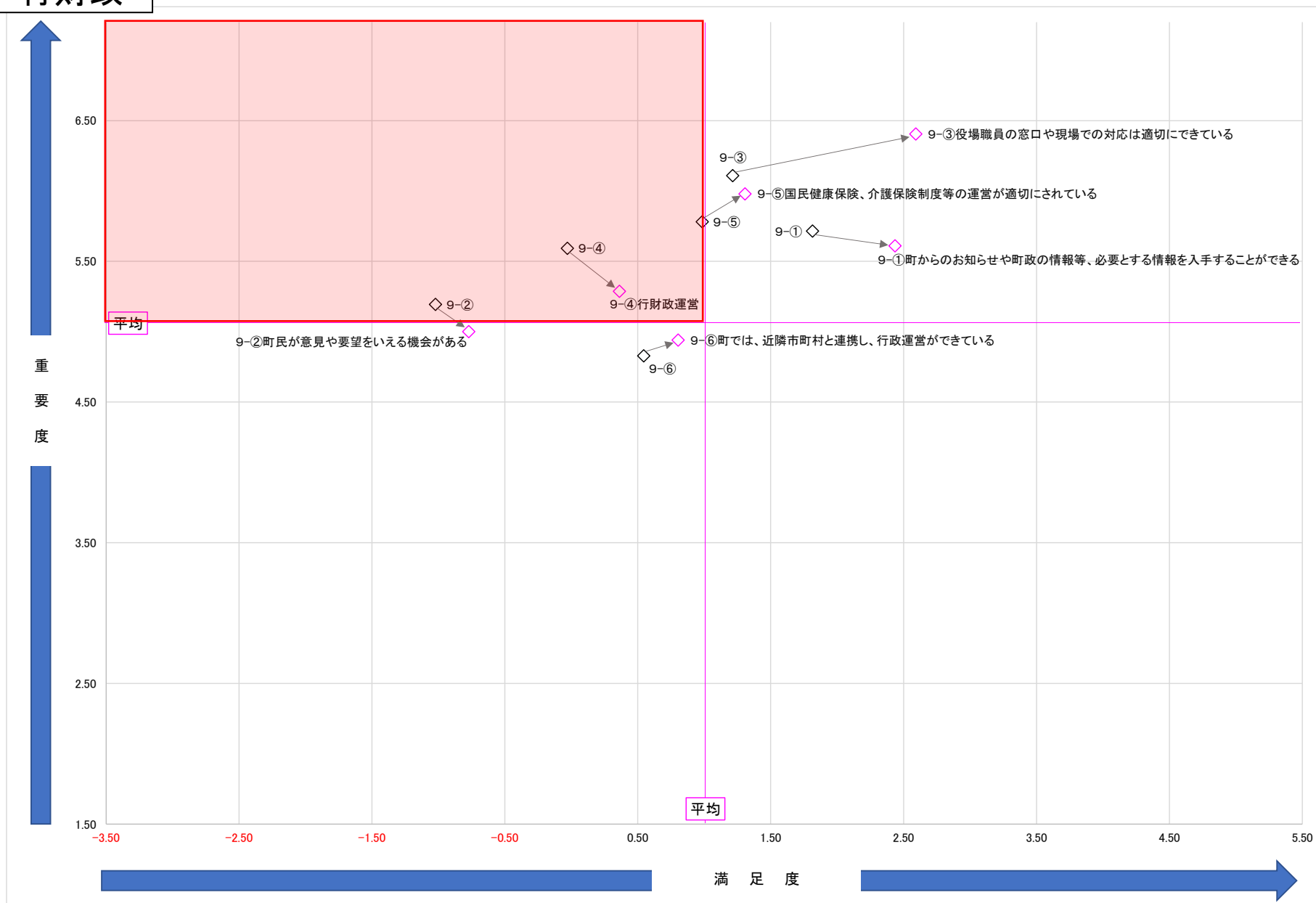
7 教育・文化



8 地域生活



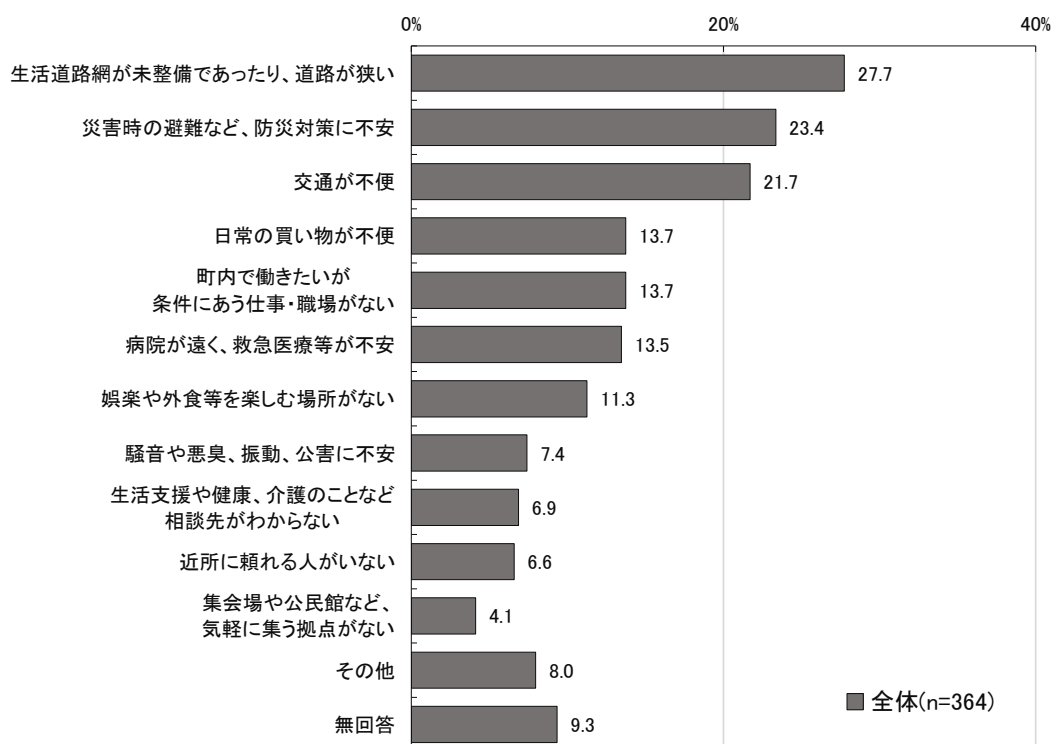
9 行財政



4 コミュニティについて

問6 あなたが、お住まいの地域で特にお困りのことはどれですか。(2つまで○印)

地域で特にお困りのことについては、「生活道路網が未整備であったり、道路が狭い」が27.7%と最も高く、次いで、「災害時の避難など、防災対策に不安」(23.4%)、「交通が不便」(21.7%)、「日常の買い物が不便」「町内で働きたいが条件にあう仕事・職場がない」(同率13.7%)、「病院が遠く、救急医療等が不安」(13.5%)、「娯楽や外食等を楽しむ場所がない」(11.3%)などの順となっています。



[その他]

街灯がない。夜道が真っ暗で不安。／観光客のせいで道路が混む。どこでも(公園等)混んでいる。／通学時に電車を利用するのですが、本数が少なく不便です。運賃が高いと思う。／自転車で安全に走れる道がない。／公共交通機関(路線バス)が使えない／歩いて行ける公園がない／防災、高齢者の移動手段／大石には災害時の避難場所等が無いので心配です。／防災無線が聞こえづらい。CATVのチャンネルを考えたが、いつもそこしておくわけにもいかない。／高齢の両親は全く気が付かないので、防災面で不安です。／近くに店が無く困っています。コンビニか販売車などがあれば良いと思います。／ゴミステーションが遠い／雪かきがキツイ／近隣に野良猫に餌をあげる方が複数人おり、頭数が増えている。野良猫が庭に入り込み、家や自動車への毀損、糞の害がある。去勢手術など、野良猫を減らす対応があれば幸いです。／野良猫、廃車の境界侵入と悪景観、放置植物、荒地／野良猫が多い／小立の水道水が臭くて困っています。飲むことができません。／個々の住宅周辺を整備せず、雑草の種を多くまき散らす。／今は特にないが、年齢的に今後どうなるのか不安／今のところ困っている事は無い／特にない、なし(10)

・属性の分析

性別でみると、女性では、「交通が不便」が第1位となっており、男性では「町内で働きたいが条件にあう仕事・職場がない」が第3位となっています。

年代別でみると、「交通が不便」が10・20歳代、40歳代、80歳以上では、第1位（10・20歳代では「娯楽や外食等を楽しむ場所がない」と同率）となっており、「町内で働きたいが条件にあう仕事・職場がない」が10・20歳代と30歳代では第2位、60歳代では第3位となっています。また、30歳代では、「騒音や悪臭、振動、公害に不安」が、50歳代では、「交通が不便」が、80歳以上では「日常の買い物不便」が第3位となっています。

居住年数別でみると、3年未満と10年以上20年未満では「交通が不便」が第1位となっており、3年以上10年未満では「町内で働きたいが条件にあう仕事・職場がない」が第2位となっています。

地区別でみると、足和田地区と上九一色地区では、「交通が不便」と「日常の買い物不便」が他の地区よりも高く、「病院が遠く、救急医療等が不安」が上九一色地区では第3位となっています。

		第1位	第2位	第3位
全体(n=364)		生活道路網が未整備であったり、道路が狭い 27.7%	災害時の避難など、防災対策に不安 23.4%	交通が不便 21.7%
性別	男性(n=166)	生活道路網が未整備であったり、道路が狭い 33.7%	災害時の避難など、防災対策に不安 24.1%	町内で働きたいが条件にあう仕事・職場がない 16.9%
	女性(n=194)	交通が不便 26.8%	災害時の避難など、防災対策に不安 23.2%	生活道路網が未整備であったり、道路が狭い 22.7%
年代別	10・20歳代(n=34)	娯楽や外食等を楽しむ場所がない／交通が不便 32.4%	生活道路網が未整備であったり、道路が狭い 26.5%	生活道路網が未整備であったり、道路が狭い／町内で働きたいが条件にあう仕事・職場がない 26.5%
	30歳代(n=47)	生活道路網が未整備であったり、道路が狭い 31.9%	町内で働きたいが条件にあう仕事・職場がない 21.3%	災害時の避難など、防災対策に不安／騒音や悪臭、振動、公害に不安 19.1%
	40歳代(n=47)	交通が不便 25.5%	生活道路網が未整備であったり、道路が狭い 23.4%	娯楽や外食等を楽しむ場所がない 19.1%
	50歳代(n=46)	生活道路網が未整備であったり、道路が狭い 28.3%	交通が不便 19.6%	災害時の避難など、防災対策に不安／その他 17.4%
	60歳代(n=76)	生活道路網が未整備であったり、道路が狭い 28.9%	災害時の避難など、防災対策に不安 27.6%	町内で働きたいが条件にあう仕事・職場がない 18.4%
	70歳代(n=69)	災害時の避難など、防災対策に不安 31.9%	生活道路網が未整備であったり、道路が狭い 29.0%	交通が不便 23.2%
	80歳以上(n=41)	交通が不便 31.7%	災害時の避難など、防災対策に不安／日常の買い物が不便 29.3%	29.3%
居住年数別	3年未満(n=38)	交通が不便 31.6%	生活道路網が未整備であったり、道路が狭い／町内で働きたいが条件にあう仕事・職場がない 23.7%	23.7%
	3年以上10年未満(n=51)	生活道路網が未整備であったり、道路が狭い 39.2%	町内で働きたいが条件にあう仕事・職場がない 21.6%	交通が不便 19.6%
	10年以上20年未満(n=53)	交通が不便 26.4%	生活道路網が未整備であったり、道路が狭い 24.5%	災害時の避難など、防災対策に不安 20.8%
	20年以上(n=218)	災害時の避難など、防災対策に不安 28.9%	生活道路網が未整備であったり、道路が狭い 26.1%	交通が不便 19.7%
地区別	河口湖地区(n=282)	生活道路網が未整備であったり、道路が狭い 27.3%	災害時の避難など、防災対策に不安 25.5%	交通が不便 17.7%
	勝山地区(n=41)	生活道路網が未整備であったり、道路が狭い 31.7%	交通が不便 22.0%	災害時の避難など、防災対策に不安 17.1%
	足和田地区(n=24)	交通が不便／生活道路網が未整備であったり、道路が狭い／日常の買い物が不便 41.7%	41.7%	41.7%
	上九一色地区(n=14)	交通が不便 71.4%	日常の買い物が不便 57.1%	病院が遠く、救急医療等が不安 35.7%

・問2 愛着度との関係

『愛着を感じている』方は、「生活道路網が未整備であったり、道路が狭い」や「災害時の避難など、防災対策に不安」が高く、『愛着を感じていない』方は、「日常の買い物が不便」、「交通が不便」、「病院が遠く、救急医療等が不安」が高くなっています。

問6 \ 問2	合計	とても愛着を感じている	どちらかという愛着を感じている	どちらともいえない	あまり愛着を感じていない	愛着を感じていない	無回答
全体	364 100.0%	132 100.0%	154 100.0%	54 100.0%	12 100.0%	7 100.0%	5 100.0%
日常の買い物が不便	50 13.7%	14 10.6%	17 11.0%	12 22.2%	5 41.7%	2 28.6%	
交通が不便	79 21.7%	23 17.4%	36 23.4%	17 31.5%		3 42.9%	
病院が遠く、救急医療等が不安	49 13.5%	12 9.1%	24 15.6%	9 16.7%	1 8.3%	3 42.9%	
生活道路網が未整備であったり、道路が狭い	101 27.7%	27 20.5%	58 37.7%	13 24.1%	2 16.7%	0 0.0%	1 20.0%
騒音や悪臭、振動、公害に不安	27 7.4%	13 9.8%	8 5.2%	5 9.3%		1 14.3%	
災害時の避難など、防災対策に不安	85 23.4%	41 31.1%	33 21.4%	8 14.8%	1 8.3%	1 14.3%	1 20.0%
集会場や公民館など、気軽に集う拠点がない	15 4.1%	6 4.5%	8 5.2%	1 1.9%			
近所に頼れる人がいない	24 6.6%	3 2.3%	14 9.1%	5 9.3%	2 16.7%		
生活支援や健康、介護のことなど相談先がわからない	25 6.9%	5 3.8%	13 8.4%	7 13.0%			
町内で働きたいが条件にあう仕事・職場がない	50 13.7%	18 13.6%	16 10.4%	13 24.1%	2 16.7%	1 14.3%	
娯楽や外食等を楽しむ場所がない	41 11.3%	15 11.4%	15 9.7%	9 16.7%	2 16.7%	0 0.0%	
その他	29 8.0%	12 9.1%	13 8.4%		2 16.7%	2 28.6%	

・問2 定住意向との関係

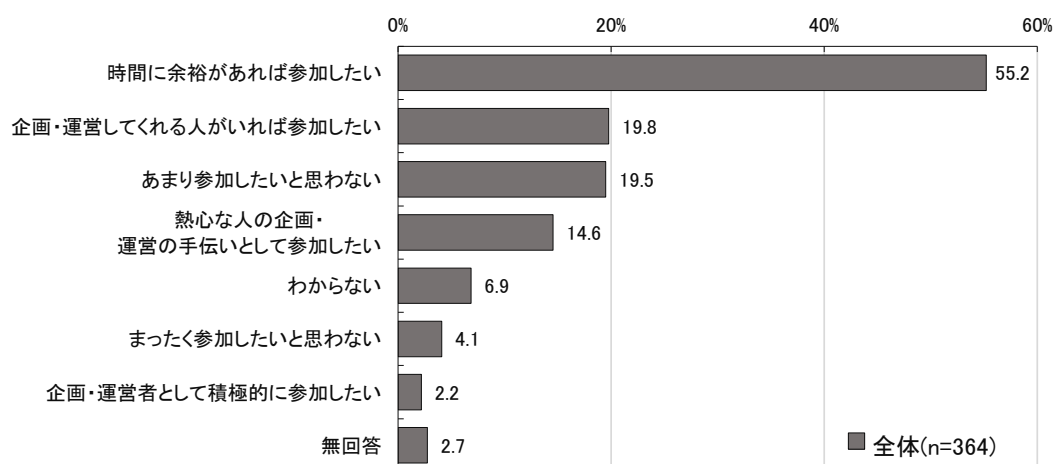
『住みたい』方は、「生活道路網が未整備であったり、道路が狭い」や「災害時の避難など、防災対策に不安」が高く、『住みたくない』方は、「日常の買い物が不便」、「交通が不便」が高くなっています。

問2 問6	合計	住みたい	どちらか という 住みたい	どちら もいえ ない	どちらか という 住みた くない	住みた くない (で き れ ば 町 外 へ 引 越 し た い)	無回答
全体	364	205	84	58	9	3	5
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
日常の買い物が不便	50	23	12	10	4	1	
	13.7%	11.2%	14.3%	17.2%	44.4%	33.3%	
交通が不便	79	40	20	16	2	1	
	21.7%	19.5%	23.8%	27.6%	22.2%	33.3%	
病院が遠く、救急医療等が不安	49	24	16	8		1	
	13.5%	11.7%	19.0%	13.8%		33.3%	
生活道路網が未整備であったり、道路が狭い	101	51	30	18	1	0	1
	27.7%	24.9%	35.7%	31.0%	11.1%	0.0%	20.0%
騒音や悪臭、振動、公害に不安	27	19	3	4		1	
	7.4%	9.3%	3.6%	6.9%		33.3%	
災害時の避難など、防災対策に不安	85	55	19	6	3	1	1
	23.4%	26.8%	22.6%	10.3%	33.3%	33.3%	20.0%
集会場や公民館など、気軽に集う拠点がない	15	14	1				
	4.1%	6.8%	1.2%				
近所に頼れる人がいない	24	9	6	9			
	6.6%	4.4%	7.1%	15.5%			
生活支援や健康、介護のことなど相談先がわからない	25	10	9	5	1		
	6.9%	4.9%	10.7%	8.6%	11.1%		
町内で働きたいが条件にあう仕事・職場がない	50	28	10	10	2		
	13.7%	13.7%	11.9%	17.2%	22.2%		
娯楽や外食等を楽しむ場所がない	41	22	8	9	2		
	11.3%	10.7%	9.5%	15.5%	22.2%		
その他	29	16	7	3	2	1	
	8.0%	7.8%	8.3%	5.2%	22.2%	33.3%	

問 7

あなたは、祭り、清掃・美化活動、サークル活動、まちづくり活動など、地域が中心となった活動には、どのように参加したいと思いますか。(〇印はいくつでも)

地域が中心となった活動への参加意思については、「時間に余裕があれば参加したい」が 55.2%と最も高く、次いで、「企画・運営してくれる人がいれば参加したい」(19.8%)、「あまり参加したいと思わない」(19.5%)、「熱心な人の企画・運営の手伝いとして参加したい」(14.6%)などの順となっています。



・属性の分析

性別でみると、男性のほうが参加の意向がやや高くなっています。

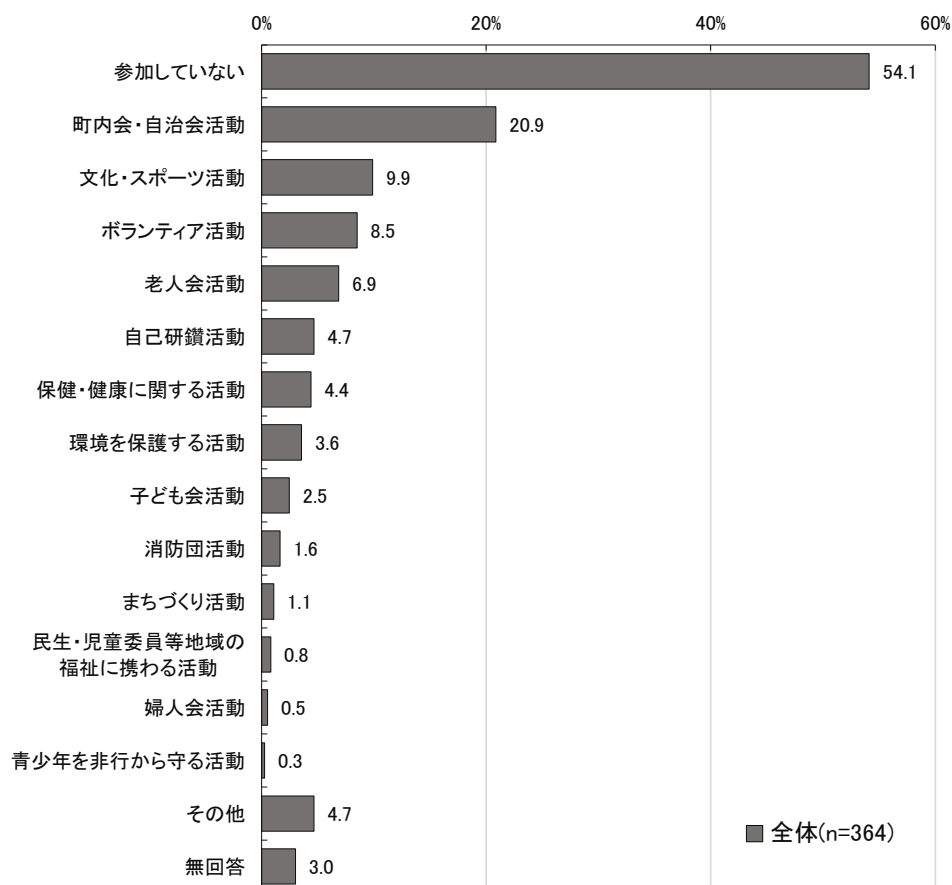
「企画・運営者として積極的に参加したい」が 0.0%となっているのは、年代別では 40 歳代、世帯構成別では一人暮らし、職業別では製造業、運輸・通信業、公務員（公社を含む）、家事居住年数別では3年以上 10 年未満、地区別では上九一色地区となっています。

人		%	企画・運営者として積極的に参加したい	熱心な人の企画・運営の手伝いとして参加したい	企画・運営してくれる人がいれば参加したい	時間に余裕があれば参加したい	あまり参加したいと思わない	まったく参加したいと思わない	わからない	無回答
全体(n=364)			2.2	14.6	19.8	55.2	19.5	4.1	6.9	2.7
性別	男性(n=166)		3.6	16.9	22.3	59.0	16.9	6.0	3.0	1.8
	女性(n=194)		1.0	12.9	17.5	53.1	21.1	2.6	10.3	3.1
年代別	10・20 歳代(n=34)		2.9	8.8	14.7	64.7	14.7	5.9	5.9	0.0
	30 歳代(n=47)		2.1	10.6	27.7	59.6	17.0	6.4	6.4	2.1
	40 歳代(n=47)		0.0	10.6	4.3	48.9	31.9	4.3	8.5	0.0
	50 歳代(n=46)		2.2	15.2	21.7	58.7	17.4	2.2	8.7	0.0
	60 歳代(n=76)		1.3	9.2	15.8	61.8	21.1	1.3	2.6	3.9
	70 歳代(n=69)		4.3	21.7	24.6	56.5	14.5	4.3	7.2	2.9
	80 歳以上(n=41)		2.4	26.8	29.3	34.1	19.5	4.9	12.2	7.3
世帯構成別	一人暮らし(n=35)		0.0	14.3	11.4	40.0	25.7	8.6	17.1	0.0
	夫婦(子どもなし)(n=90)		1.1	18.9	23.3	58.9	24.4	3.3	0.0	1.1
	親と子(2世代)(n=165)		3.0	10.3	20.6	56.4	19.4	3.0	7.3	1.8
	親・子・孫(3世代)(n=52)		3.8	19.2	23.1	59.6	9.6	3.8	11.5	1.9
	その他(n=17)		0.0	23.5	5.9	58.8	5.9	11.8	5.9	11.8
職業別	農林業(専業)(n=4)		25.0	25.0	50.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	製造業(n=44)		0.0	4.5	11.4	50.0	31.8	4.5	6.8	2.3
	建設業(n=14)		7.1	7.1	21.4	35.7	35.7	14.3	0.0	0.0
	商業(小売、卸売、飲食)(n=31)		3.2	6.5	16.1	67.7	22.6	0.0	3.2	0.0
	運輸・通信業(n=5)		0.0	0.0	40.0	80.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	サービス業(公務を除く)(n=60)		1.7	21.7	16.7	53.3	18.3	5.0	6.7	1.7
	公務員(公社を含む)(n=21)		0.0	14.3	14.3	81.0	4.8	0.0	0.0	0.0
	家事(n=34)		0.0	8.8	26.5	58.8	17.6	0.0	2.9	8.8
	学生(n=11)		9.1	9.1	18.2	63.6	0.0	0.0	18.2	0.0
	無職(n=89)		2.2	23.6	21.3	44.9	19.1	7.9	9.0	1.1
	その他(n=46)		2.2	10.9	23.9	63.0	19.6	2.2	13.0	2.2
居住年数別	3年未満(n=38)		2.6	10.5	13.2	60.5	21.1	5.3	5.3	2.6
	3年以上 10 年未満(n=51)		0.0	5.9	11.8	54.9	33.3	2.0	5.9	2.0
	10 年以上 20 年未満(n=53)		1.9	11.3	20.8	60.4	17.0	5.7	5.7	1.9
	20 年以上(n=218)		2.8	17.9	22.9	53.7	16.5	4.1	7.8	2.3
地区別	河口湖地区(n=282)		1.8	13.5	20.6	53.9	20.6	4.3	7.1	2.5
	勝山地区(n=41)		4.9	14.6	17.1	70.7	17.1	0.0	2.4	2.4
	足和田地区(n=24)		4.2	29.2	16.7	41.7	20.8	8.3	8.3	0.0
	上九一色地区(n=14)		0.0	14.3	21.4	71.4	0.0	7.1	7.1	7.1

問 8

あなたは、この1年間に、どのような地域活動や学習・教養活動に参加していますか。(〇はいくつでも)

この1年間の地域活動や学習・教養活動への参加については、「参加していない」が 54.1%と最も高く、次いで、「町内会・自治会活動」(20.9%)、「文化・スポーツ活動」(9.9%)、「ボランティア活動」(8.5%)、「老人会活動」(6.9%)などの順となっています。



[その他]

まちの清掃／清掃活動／掃除や花植え／町役場での献血／感染症対策／機会がない／参加したとは全く思わない／この地域には何もありません。／足が悪くて参加できない／健康に自信がない／高齢の為／コロナで今は無理／コロナ心配で参加できません／コロナの為ほとんど活動なし／コロナ禍の為／コロナの為、何かしたくてもできる状況になかった。この間は無神経だと思います。

・属性の分析

性別でみると、「町内会・自治会活動」は女性より男性が17.8ポイント高く、「参加していない」は女性が男性より19.4ポイント高くなっています。

年代別でみると、80歳以上では「老人会活動」が最も高くなっており、「参加していない」が他の年代に比べ低くなっています。10・20歳代から40歳代は「参加していない」が5割を超えています。また、年齢が高くなるとともに「参加していない」が低くなっています。

居住年数別でみると、居住年数が長くなるほど「参加していない」が低くなっています。

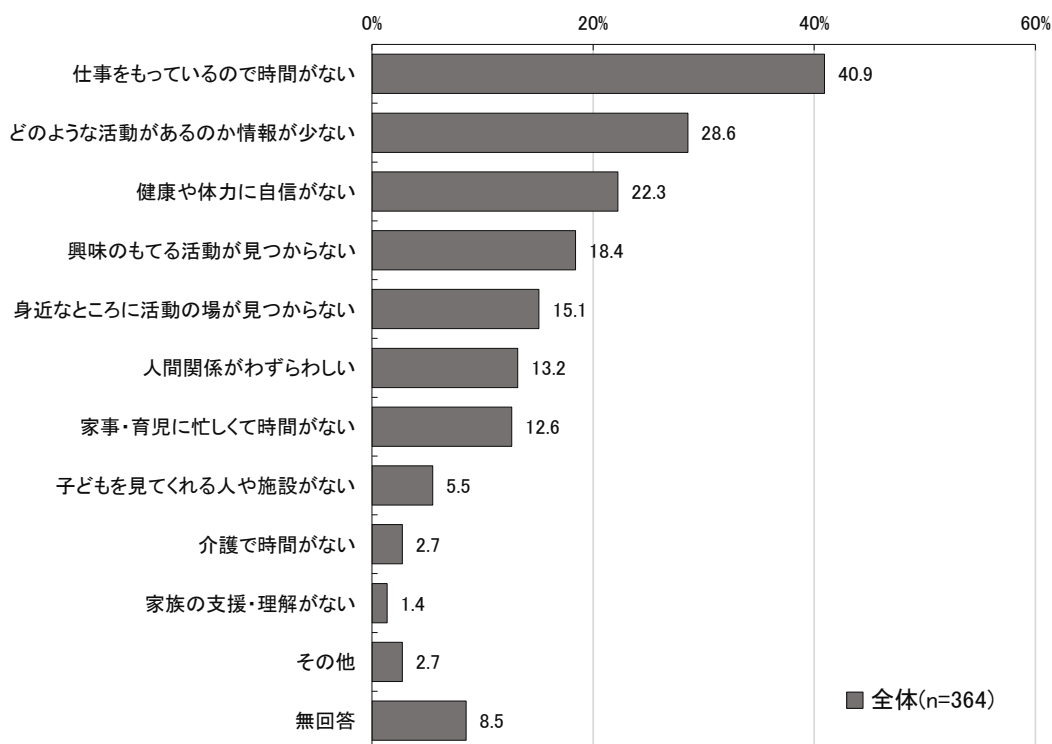
地区別でみると、上九一色地区では「ボランティア活動」が他の地区に比べ高くなっており、「参加していない」が他の地区に比べ低くなっています。

人		%	町内会・自治会活動	婦人会活動	子ども会活動	老人会活動	ボランティア活動	まちづくり活動	文化・スポーツ活動	消防団活動	保健・健康に関する活動	自己研鑽活動	青少年を非行から守る活動	環境を保護する活動	民生・児童委員等 地域の福祉に携わる活動	参加していない	その他	無回答
全体(n=364)			20.9	0.5	2.5	6.9	8.5	1.1	9.9	1.6	4.4	4.7	0.3	3.6	0.8	54.1	4.7	3.0
性別	男性(n=166)		30.7	0.6	3.6	7.2	9.0	2.4	12.7	2.4	3.0	8.4	0.6	7.8	0.0	44.0	3.6	2.4
	女性(n=194)		12.9	0.5	1.5	5.7	8.2	0.0	7.7	1.0	5.7	1.5	0.0	0.0	1.5	63.4	5.7	3.1
年代別	10・20歳代(n=34)		0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	11.8	0.0	2.9	2.9	0.0	0.0	0.0	82.4	0.0	0.0
	30歳代(n=47)		10.6	0.0	6.4	0.0	2.1	0.0	6.4	2.1	4.3	0.0	2.1	0.0	0.0	74.5	2.1	2.1
	40歳代(n=47)		21.3	2.1	8.5	2.1	2.1	0.0	2.1	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	74.5	0.0	0.0
	50歳代(n=46)		30.4	0.0	4.3	2.2	8.7	2.2	10.9	2.2	4.3	4.3	0.0	0.0	0.0	50.0	8.7	0.0
	60歳代(n=76)		28.9	0.0	0.0	0.0	10.5	0.0	6.6	1.3	5.3	5.3	0.0	1.3	2.6	48.7	1.3	5.3
	70歳代(n=69)		23.2	0.0	0.0	11.6	13.0	1.4	14.5	0.0	2.9	10.1	0.0	8.7	1.4	36.2	10.1	1.4
	80歳以上(n=41)		22.0	2.4	0.0	34.1	12.2	2.4	17.1	2.4	12.2	7.3	0.0	14.6	0.0	31.7	9.8	9.8
居住年数別	3年未満(n=38)		2.6	0.0	0.0	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	2.6	0.0	2.6	0.0	89.5	0.0	2.6
	3年以上10年未満(n=51)		15.7	0.0	3.9	0.0	5.9	0.0	9.8	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	70.6	2.0	2.0
	10年以上20年未満(n=53)		20.8	0.0	1.9	3.8	5.7	0.0	5.7	0.0	7.5	3.8	0.0	1.9	0.0	66.0	1.9	1.9
	20年以上(n=218)		25.2	0.9	2.8	9.6	11.5	1.8	12.4	2.8	3.7	6.0	0.5	5.0	1.4	42.2	6.9	2.8
地区別	河口湖地区(n=282)		19.5	0.4	2.5	5.7	7.1	0.7	9.9	1.8	3.9	3.9	0.4	2.8	1.1	56.4	5.0	2.5
	勝山地区(n=41)		24.4	0.0	0.0	9.8	7.3	2.4	12.2	0.0	4.9	7.3	0.0	0.0	0.0	53.7	0.0	4.9
	足和田地区(n=24)		29.2	0.0	0.0	12.5	16.7	4.2	12.5	0.0	4.2	12.5	0.0	20.8	0.0	50.0	8.3	0.0
	上九一色地区(n=14)		28.6	7.1	14.3	7.1	28.6	0.0	0.0	7.1	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	21.4	7.1	7.1

問9

あなたは、地域活動や学習・教養活動に参加する上で、支障になることがありますか。(〇はいくつでも)

地域活動や学習・教養活動に参加する上で、支障になることについては、「仕事をもっているので時間がない」が40.9%と最も高く、次いで、「どのような活動があるのか情報が少ない」(28.6%)、「健康や体力に自信がない」(22.3%)、「興味のもてる活動が見つからない」(18.4%)、「身近なところに活動の場が見つからない」(15.1%)、「人間関係がわずらわしい」(13.2%)、「家事・育児に忙しくて時間がない」(12.6%)などの順となっています。



[その他]

広報くらいしか情報を得られるものがない。／最初に一人での参加がしづらいです。／高齢／受験生なので忙しい／コロナ感染／なし(2)／学習、活動、教育等に理解が無く、人が集まっても何の成果も得られない。／清掃活動は強制で、欠席すると罰金があるので、自治会を抜けた。／今はまちを離れて生活している

・属性の分析

性別でみると、「仕事をもっているのに時間がない」は女性より男性が10.4ポイント高く、「家事・育児に忙しくて時間がない」は女性が男性より10.3ポイント高くなっています。

年代別でみると、70歳代以上では「健康や体力に自信がない」が最も高くなっています。

職業別でみると、家事と学生では「どのような活動があるのか情報が少ない」が、無職では「健康や体力に自信がない」が最も高くなっています。

居住年数別でみると、3年未満と3年以上10年未満では「家事・育児に忙しくて時間がない」が他の居住年数別に比べて高くなっています。

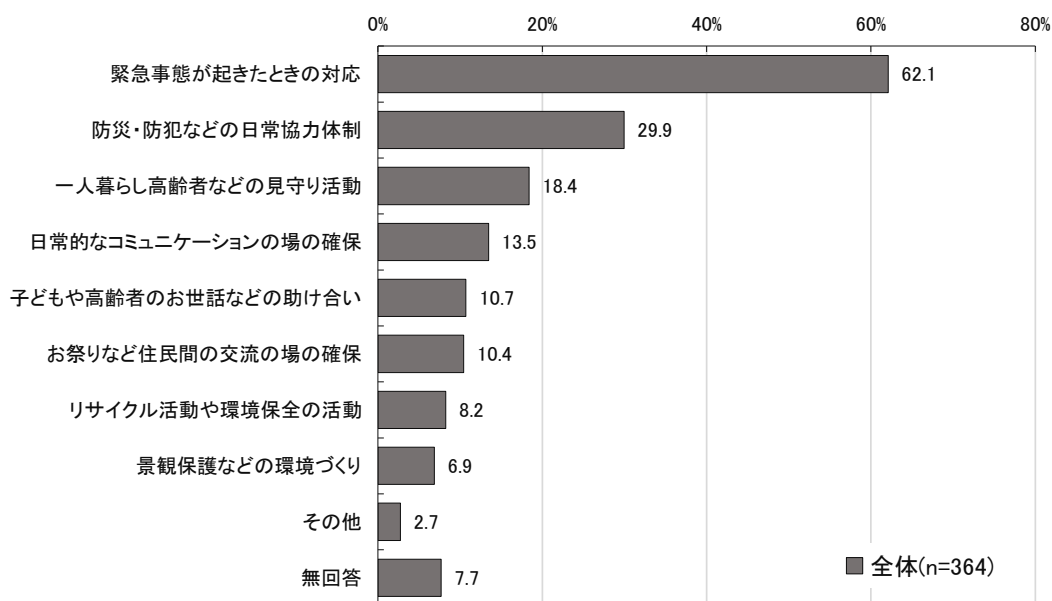
地区別でみると、勝山地区では「どのような活動があるのか情報が少ない」が「仕事をもっているのに時間がない」と同率で最も高くなっています。

人		%	仕事をもっているのに時間がない	家事・育児に忙しくて時間がない	家族の支援・理解がない	介護で時間がない	健康や体力に自信がない	人間関係がわずらわしい	どのような活動があるのか情報が少ない	子どもを見てくれる人や施設がない	身近なところに活動の場が見つからない	興味もてる活動が見つからない	その他	無回答
全体(n=364)			40.9	12.6	1.4	2.7	22.3	13.2	28.6	5.5	15.1	18.4	2.7	8.5
性別	男性(n=166)		47.0	7.2	0.6	3.0	23.5	12.7	25.9	4.2	14.5	21.1	2.4	7.8
	女性(n=194)		36.6	17.5	2.1	2.6	21.1	13.9	31.4	6.7	16.0	16.0	2.6	8.8
年代別	10・20歳代(n=34)		50.0	8.8	0.0	0.0	2.9	5.9	38.2	5.9	2.9	17.6	5.9	2.9
	30歳代(n=47)		48.9	44.7	2.1	0.0	2.1	17.0	42.6	19.1	21.3	21.3	4.3	2.1
	40歳代(n=47)		68.1	36.2	6.4	0.0	4.3	23.4	29.8	12.8	12.8	14.9	0.0	4.3
	50歳代(n=46)		71.7	4.3	0.0	0.0	10.9	8.7	21.7	2.2	13.0	19.6	2.2	6.5
	60歳代(n=76)		36.8	0.0	0.0	6.6	27.6	15.8	28.9	1.3	14.5	21.1	1.3	5.3
	70歳代(n=69)		15.9	2.9	1.4	4.3	39.1	14.5	26.1	1.4	20.3	20.3	4.3	14.5
	80歳以上(n=41)		7.3	2.4	0.0	2.4	58.5	2.4	17.1	0.0	17.1	9.8	2.4	22.0
職業別	農林業(専業)(n=4)		75.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	製造業(n=44)		75.0	20.5	2.3	2.3	9.1	20.5	25.0	6.8	15.9	27.3	0.0	2.3
	建設業(n=14)		78.6	7.1	0.0	0.0	21.4	7.1	21.4	0.0	7.1	7.1	0.0	7.1
	商業(小売、卸売、飲食)(n=31)		67.7	9.7	3.2	0.0	29.0	12.9	25.8	3.2	3.2	12.9	0.0	9.7
	運輸・通信業(n=5)		100.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0
	サービス業(公務を除く)(n=60)		53.3	16.7	1.7	1.7	10.0	20.0	31.7	8.3	15.0	16.7	6.7	6.7
	公務員(公社を含む)(n=21)		76.2	9.5	0.0	0.0	4.8	9.5	19.0	4.8	9.5	0.0	0.0	9.5
	家事(n=34)		2.9	26.5	0.0	0.0	32.4	14.7	47.1	11.8	23.5	20.6	0.0	2.9
	学生(n=11)		9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	54.5	0.0	0.0	9.1	18.2	9.1
	無職(n=89)		2.2	3.4	0.0	6.7	43.8	12.4	25.8	2.2	19.1	15.7	4.5	15.7
	その他(n=46)		52.2	17.4	4.3	2.2	13.0	8.7	23.9	8.7	19.6	32.6	0.0	2.2
居住年数別	3年未満(n=38)		47.4	28.9	2.6	0.0	7.9	21.1	44.7	18.4	21.1	15.8	2.6	2.6
	3年以上10年未満(n=51)		52.9	29.4	0.0	2.0	5.9	19.6	29.4	11.8	19.6	21.6	0.0	3.9
	10年以上20年未満(n=53)		45.3	18.9	7.5	1.9	17.0	13.2	41.5	3.8	17.0	18.9	1.9	7.5
	20年以上(n=218)		36.7	4.6	0.0	3.7	30.3	10.6	22.9	2.3	12.8	17.4	3.7	10.1
地区別	河口湖地区(n=282)		41.8	12.8	1.4	2.1	23.8	14.2	28.7	6.4	15.6	18.8	2.1	7.4
	勝山地区(n=41)		36.6	19.5	2.4	4.9	17.1	12.2	36.6	4.9	14.6	19.5	2.4	9.8
	足和田地区(n=24)		41.7	8.3	0.0	4.2	16.7	8.3	16.7	0.0	8.3	16.7	4.2	12.5
	上九一色地区(n=14)		42.9	0.0	0.0	7.1	21.4	7.1	28.6	0.0	21.4	7.1	7.1	14.3

問 10

あなたは、自治会などご自分の地域コミュニティにどのようなことを期待しますか。（〇は2つまで）

地域コミュニティへの期待については、「緊急事態が起きたときの対応」が 62.1%と最も高く、次いで、「防災・防犯などの日常協力体制」(29.9%)、「一人暮らし高齢者などの見守り活動」(18.4%)、「日常的なコミュニケーションの場の確保」(13.5%)、「子どもや高齢者のお世話などの助け合い」(10.7%)、「お祭りなど住民間の交流の場の確保」(10.4%)などの順となっています。



[その他]

旧形式の改善（古いままの事が多く、効率が悪い）／公平な活動／自治会への参加を強制しないで欲しい／わからない／特にない（2）／特になし／期待していない／何も期待していない／自治会への不参加の増加／**以前は自治会に入っていたが、あまりに酷いので抜けた**

・属性の分析

「緊急事態が起きたときの対応」がすべての属性で第1位となっています。

性別、居住年数別での大きな違いはみられませんでした。

年代別でみると、30 歳代以下では「お祭りなど住民間の交流の場の確保」が、30 歳代と 70 歳代では「日常的なコミュニケーションの場の確保」が、第3位（30 歳代では、「子どもや高齢者のお世話などの助け合い」も）となっています。

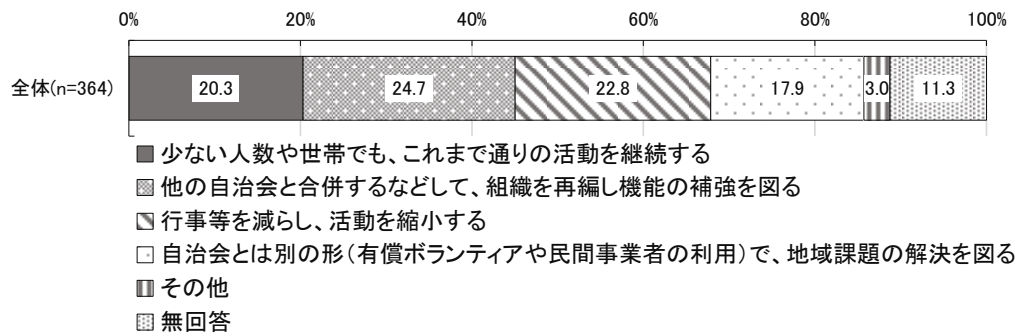
地区別でみると、勝山地区では「子どもや高齢者のお世話などの助け合い」が、足和田地区では「リサイクル活動や環境保全の活動」「一人暮らし高齢者などの見守り活動」が、上九一色地区では「お祭りなど住民間の交流の場の確保」「日常的なコミュニケーションの場の確保」が同率で第3位になっています。

		第1位	第2位	第3位
全体(n=364)		緊急事態が起きたときの対応 62.1%	防災・防犯などの日常協力体制 29.9%	一人暮らし高齢者などの見守り活動 18.4%
性別	男性(n=166)	緊急事態が起きたときの対応 57.2%	防災・防犯などの日常協力体制 25.9%	一人暮らし高齢者などの見守り活動 18.7%
	女性(n=194)	緊急事態が起きたときの対応 66.0%	防災・防犯などの日常協力体制 34.0%	一人暮らし高齢者などの見守り活動 18.0%
年代別	10・20 歳代(n=34)	緊急事態が起きたときの対応 70.6%	防災・防犯などの日常協力体制 29.4%	お祭りなど住民間の交流の場の確保 14.7%
	30 歳代(n=47)	緊急事態が起きたときの対応 66.0%	防災・防犯などの日常協力体制 38.3%	お祭りなど住民間の交流の場の確保／子どもや高齢者のお世話などの助け合い／日常的なコミュニケーションの場の確保 12.8%
	40 歳代(n=47)	緊急事態が起きたときの対応 66.0%	防災・防犯などの日常協力体制 40.4%	一人暮らし高齢者などの見守り活動 19.1%
	50 歳代(n=46)	緊急事態が起きたときの対応 58.7%	防災・防犯などの日常協力体制 32.6%	一人暮らし高齢者などの見守り活動 19.6%
	60 歳代(n=76)	緊急事態が起きたときの対応 64.5%	防災・防犯などの日常協力体制 28.9%	一人暮らし高齢者などの見守り活動 25.0%
	70 歳代(n=69)	緊急事態が起きたときの対応 55.1%	防災・防犯などの日常協力体制 23.2%	日常的なコミュニケーションの場の確保 21.7%
	80 歳以上(n=41)	緊急事態が起きたときの対応 58.5%	一人暮らし高齢者などの見守り活動 24.4%	防災・防犯などの日常協力体制 22.0%
居住年数別	3 年未満(n=38)	緊急事態が起きたときの対応 57.9%	防災・防犯などの日常協力体制 42.1%	一人暮らし高齢者などの見守り活動 18.4%
	3 年以上 10 年未満(n=51)	緊急事態が起きたときの対応 62.7%	防災・防犯などの日常協力体制 33.3%	一人暮らし高齢者などの見守り活動 17.6%
	10 年以上 20 年未満(n=53)	緊急事態が起きたときの対応 64.2%	一人暮らし高齢者などの見守り活動／防災・防犯などの日常協力体制 20.8%	
	20 年以上(n=218)	緊急事態が起きたときの対応 62.4%	防災・防犯などの日常協力体制 29.8%	一人暮らし高齢者などの見守り活動 18.3%
地区別	河口湖地区(n=282)	緊急事態が起きたときの対応 62.1%	防災・防犯などの日常協力体制 30.1%	一人暮らし高齢者などの見守り活動 19.5%
	勝山地区(n=41)	緊急事態が起きたときの対応 70.7%	防災・防犯などの日常協力体制 29.3%	子どもや高齢者のお世話などの助け合い 22.0%
	足和田地区(n=24)	緊急事態が起きたときの対応 58.3%	防災・防犯などの日常協力体制 29.2%	リサイクル活動や環境保全の活動／一人暮らし高齢者などの見守り活動 20.8%
	上九一色地区(n=14)	緊急事態が起きたときの対応 42.9%	防災・防犯などの日常協力体制 35.7%	お祭りなど住民間の交流の場の確保／日常的なコミュニケーションの場の確保 21.4%

問 11

人口・世帯数の減少や高齢化の進行が予想されますが、今後の自治会のあり方についてどのようにお考えですか。（1つに○印）

今後の自治体のあり方については、「他の自治会と合併するなどして、組織を再編し機能の補強を図る」が 24.7%と最も高く、次いで、「行事等を減らし、活動を縮小する」（22.8%）、「少ない人数や世帯でも、これまで通りの活動を継続する」（20.3%）、「自治会とは別の形（有償ボランティアや民間事業者の利用）で、地域課題の解決を図る」（17.9%）の順となっています。



[その他]

日常に追われると自治会活動も負担に感じる事がありますが、そんな中でも年に1回でも清掃活動などで顔を合わせる事は、安心の為、協力し合う為には必要だと思っています。負担は少なく、人との繋がりを感じられる自治会のあり方はどういうものか、と考えさせられます。／無理を強要しない／他の所から転入してくる人はなく、昔から閉鎖的で役員なども偏りがあり、地域の人では解決できない。まっとうな考えを持った人が来て、変えて欲しい。／自治会の負担軽減／自治会は必要ない。今時、考えが古すぎると思います。会費だけ集めて、何に使っているのか不明。草刈りなど必要な時だけ協力すれば良いのでは。仕事をしていると時間も取れません。／自治会はいらない／自治会でないので不安／不要／興味がない／わからない

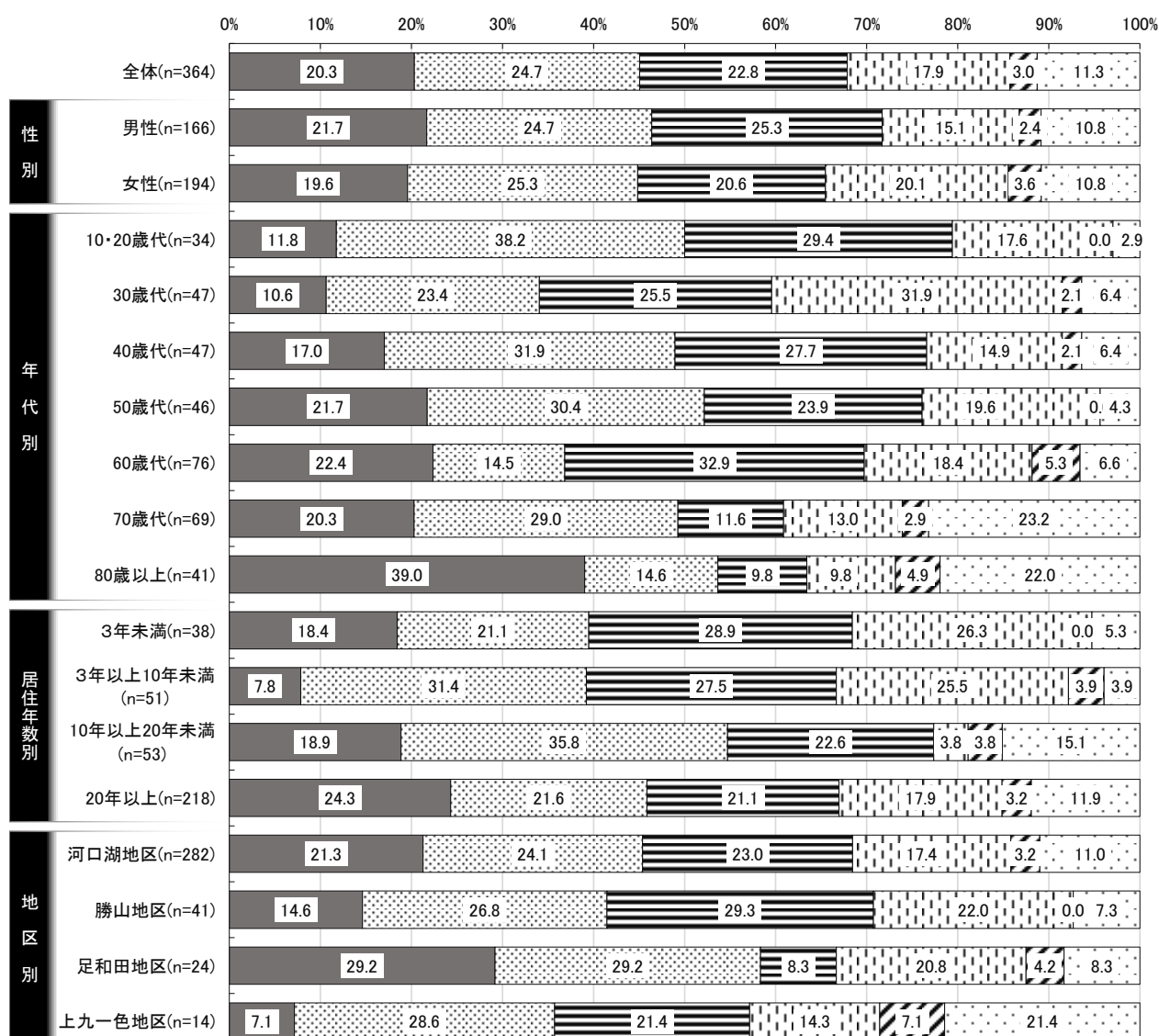
・属性の分析

性別でみると、男性では「行事等を減らし、活動を縮小する」、女性では「他の自治会と合併するなどして、組織を再編し機能の補強を図る」が最も高くなっています。

年代別でみると、30 歳代では「自治会とは別の形（有償ボランティアや民間事業者の利用）で、地域課題の解決を図る」、80 歳以上では「少ない人数や世帯でも、これまで通りの活動を継続する」が最も高くなっています。

居住年数別でみると、20 年以上では「少ない人数や世帯でも、これまで通りの活動を継続する」が最も高くなっており、10 年未満では「自治会とは別の形（有償ボランティアや民間事業者の利用）で、地域課題の解決を図る」が 10 年以上より高くなっています。

地区別でみると、勝山地区では「行事等を減らし、活動を縮小する」、足和田地区では「少ない人数や世帯でも、これまで通りの活動を継続する」「他の自治会と合併するなどして、組織を再編し機能の補強を図る」（同率）が最も高くなっています。



■ 少ない人数や世帯でも、これまで通りの活動を継続する

▨ 他の自治会と合併するなどして、組織を再編し機能の補強を図る

▤ 行事等を減らし、活動を縮小する

□ 自治会とは別の形（有償ボランティアや民間事業者の利用）で、地域課題の解決を図る

■ その他

□ 無回答

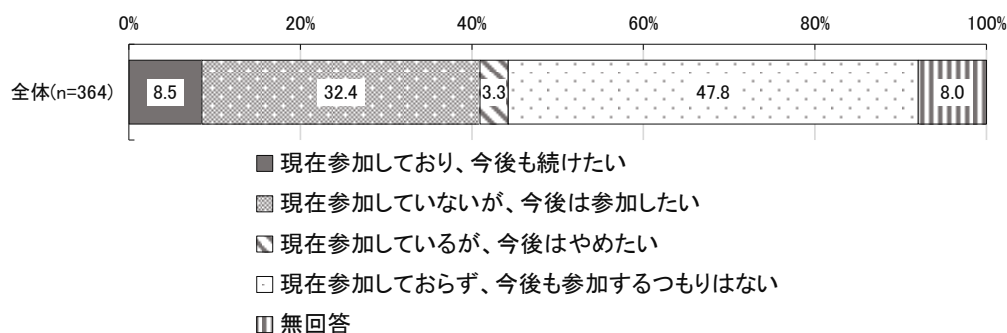
5 ボランティア活動・地域活動について

問 12

自分の本来の仕事とは別に、地域や社会のために時間や労力・技術などを無償で提供する奉仕活動をボランティア活動といますが、あなたの今後のボランティア活動への意向をおたずねします。（1つに○印）

今後のボランティア活動への意向については、「現在参加しておらず、今後も参加するつもりはない」が 47.8%と最も高く、次いで、「現在参加していないが、今後は参加したい」（32.4%）、「現在参加しており、今後も続けたい」（8.5%）、「現在参加しているが、今後はやめたい」（3.3%）の順となっています。

「現在参加しており、今後も続けたい」（8.5%）と「現在参加していないが、今後は参加したい」（32.4%）を合わせた“参加の意向がある”は 40.9%となり約4割の参加意向があります。



・属性の分析

性別による大きな違いはみられませんでした。

年代別でみると、10・20 歳代では「現在参加していないが、今後は参加したい」が最も高くなっています。

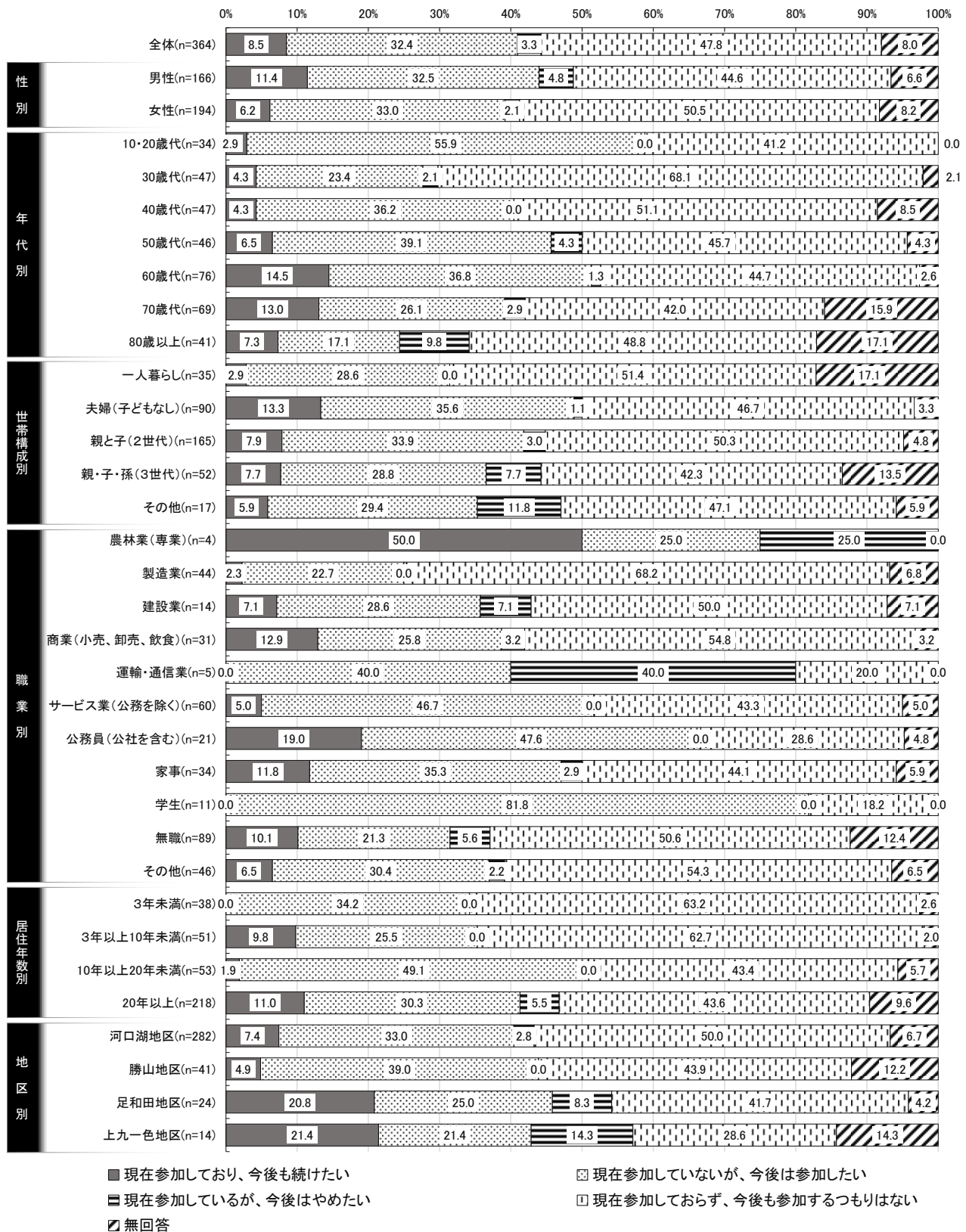
世帯構成別でみると、夫婦（子どもなし）では「現在参加しており、今後も続けたい」が他の世帯に比べて高くなっています。

職業別でみると、農林業（専業）では、「現在参加しており、今後も続けたい」が他の職業に比べて高くなっています。

居住年数別でみると、10 年以上 20 年未満では「現在参加していないが、今後は参加したい」が最も高くなっています。

地区別でみると、足和田地区と上九一色地区では「現在参加しており、今後も続けたい」「現在参加しているが、今後はやめたい」の割合が他の地区に比べて高くなっています。

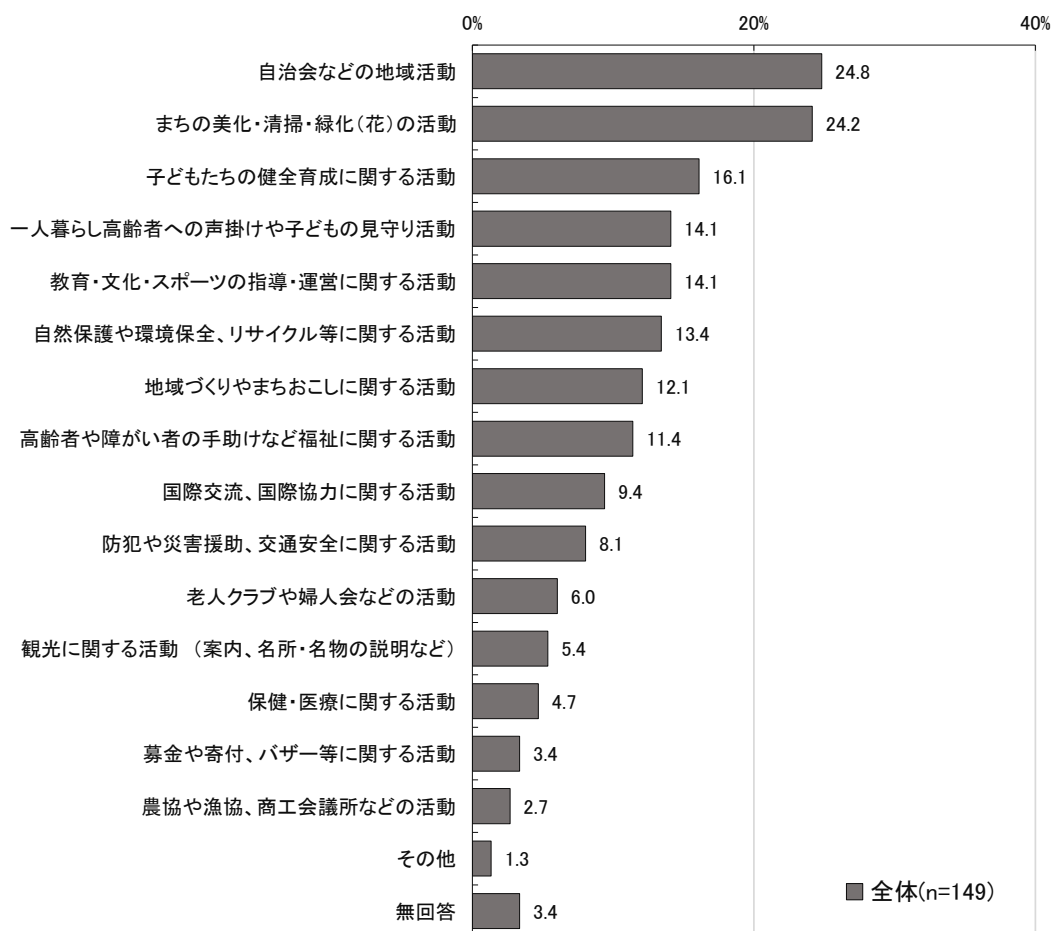
5 ボランティア活動・地域活動について



問 12 で「1. 現在参加しており、今後も続けたい」または「2. 現在参加していないが、今後は参加したい」に○をつけた方におたずねします。

問 13 あなたは、今後（今後とも）どのような活動に参加したいと思いますか。
（2 つまで○印）

今後（今後とも）どのような活動に参加したいと思うかについては、「自治会などの地域活動」が 24.8%と最も高く、次いで、「まちの美化・清掃・緑化（花）の活動」（24.2%）、「子どもたちの健全育成に関する活動」（16.1%）、「一人暮らし高齢者への声掛けや子どもの見守り活動」「教育・文化・スポーツの指導・運営に関する活動」（同率 14.1%）、「自然保護や環境保全、リサイクル等に関する活動」（13.4%）、「地域づくりやまちおこしに関する活動」（12.1%）、「高齢者や障がい者の手助けなど福祉に関する活動」（11.4%）などの順となっています。



[その他]

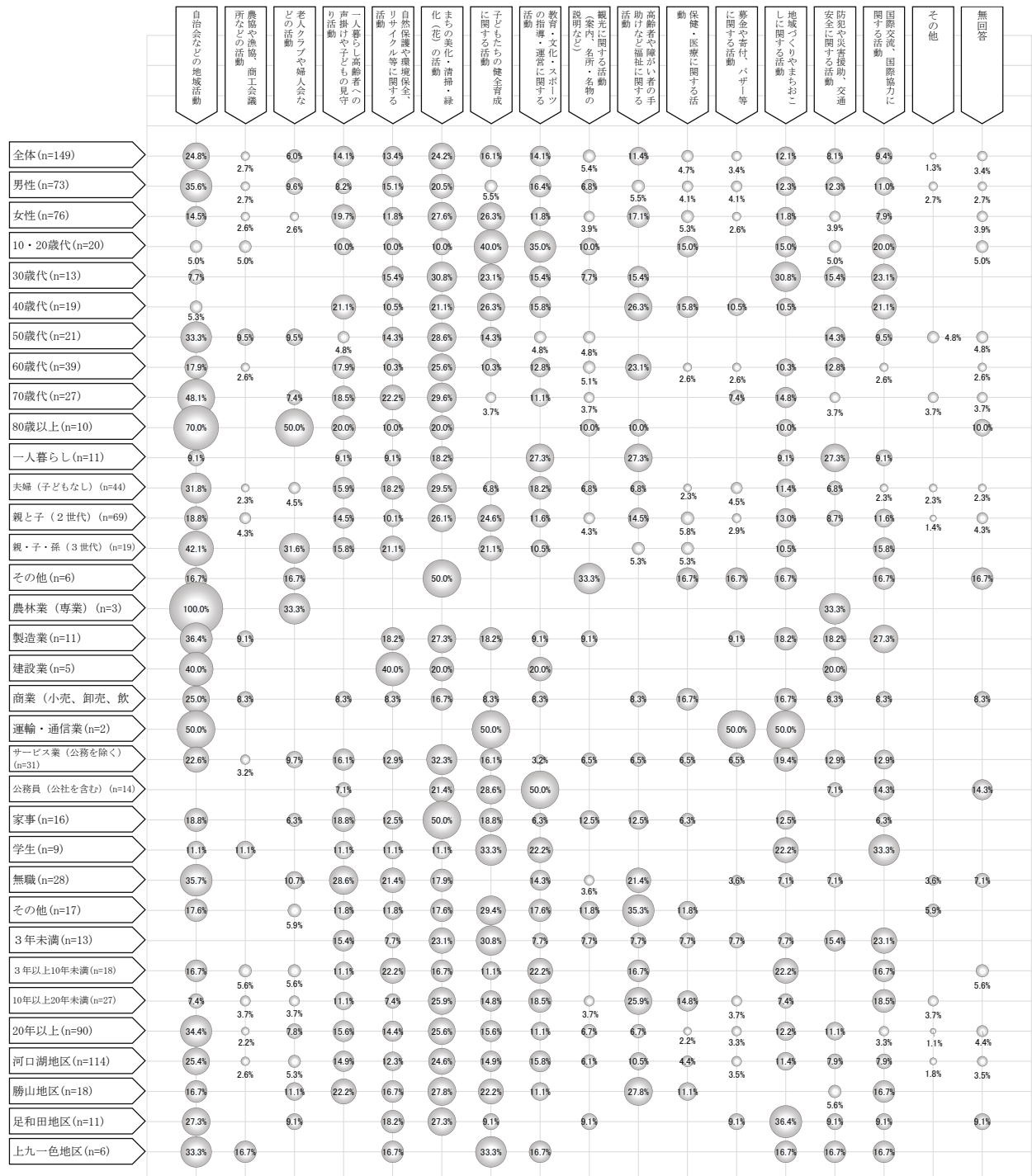
クラウン活動／自然環境の豊かなまちの継続と観光の融合発展

・属性の分析

性別でみると、女性では「まちの美化・清掃・緑化（花）の活動」が最も高くなっています。

年代別でみると、「子どもたちの健全育成に関する活動」や「教育・文化・スポーツの指導・運営に関する活動」が他の年代より高く、30 歳代では「地域づくりやまちおこしに関する活動」、40 歳代では「高齢者や障がい者の手助けなど福祉に関する活動」が最も高くなっています。

地区別でみると、勝山地区では「まちの美化・清掃・緑化（花）の活動」「高齢者や障がい者の手助けなど福祉に関する活動」が最も高くなっています。



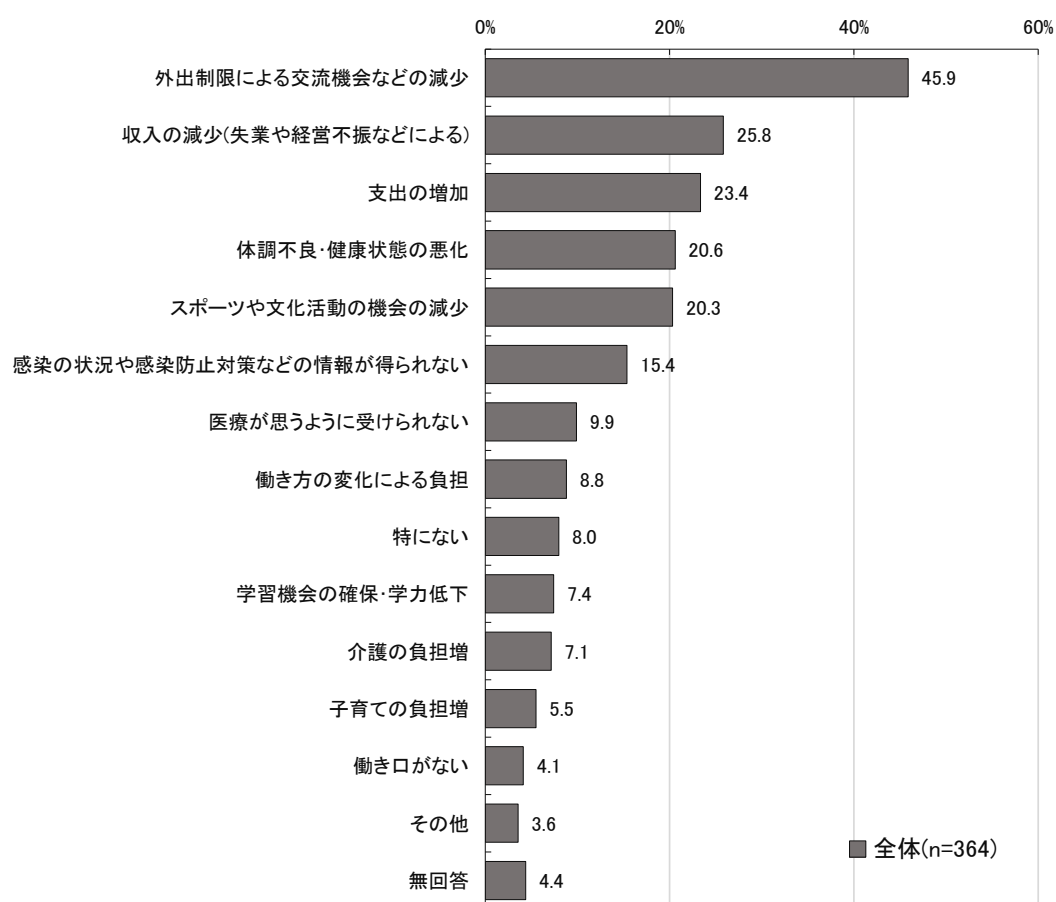
※0.0%は、グラフに表示されません。

6 新型コロナウイルス感染症について

問 14

あなたが、「困っていること・心配と感じていること」はどれですか。（3つまで○印）

特に困りのこと・心配なことについては、「外出制限による交流機会などの減少」が45.9%と最も高く、次いで、「収入の減少(失業や経営不振などによる)」(25.8%)、「支出の増加」(23.4%)、「体調不良・健康状態の悪化」(20.6%)、「スポーツや文化活動の機会の減少」(20.3%)、「感染の状況や感染防止対策などの情報が得られない」(15.4%)などの順となっています。



[その他]

ワクチンの副反応など周知されていない／ワクチンの副反応／行動が制限される／帰省できず、遠方に住む親戚に会えない／イベントを当分控えて頂きたい／観光客の増加による感染リスクの拡大／都心から来ている／スーパーに観光客が多く、買い物が不安／アルバイトの減少／発注した部材(樹脂)が届かない／将来の増税／なし(2)

・属性の分析

性別でみると、女性では、「外出制限による交流機会などの減少」が男性より 12.3 ポイント高く、「スポーツや文化活動の機会の減少」が第3位となっています。

年代別でみると、40 歳以下では、「スポーツや文化活動の機会の減少」が、50 歳代では「働き方の変化による負担」が、60 歳以上では「体調不良・健康状態の悪化」が第3位までに入っており、80 歳以上では第1位となっています。

世帯構成別でみると、親と子（2世代）では、「体調不良・健康状態の悪化」が、親・子・孫（3世代）では「外出制限による交流機会などの減少」「スポーツや文化活動の機会の減少」が第3位までに入っています。

就労状況別でみると、正社員では「スポーツや文化活動の機会の減少」が、自営業では「感染の状況や感染防止対策などの情報が得られない」が、年金生活者では、「体調不良・健康状態の悪化」が、無職（主婦・夫、学生含む）では「体調不良・健康状態の悪化」「スポーツや文化活動の機会の減少」が第3位までに入っています。

地区別でみると、足和田地区では「収入の減少（失業や経営不振などによる）」が第1位となっており、「体調不良・健康状態の悪化」が第3位となっており、勝山地区と上九一色地区では「スポーツや文化活動の機会の減少」が第2位（上九一色地区は「支出の増加」「収入の減少（失業や経営不振などによる）」と同率）となっています。

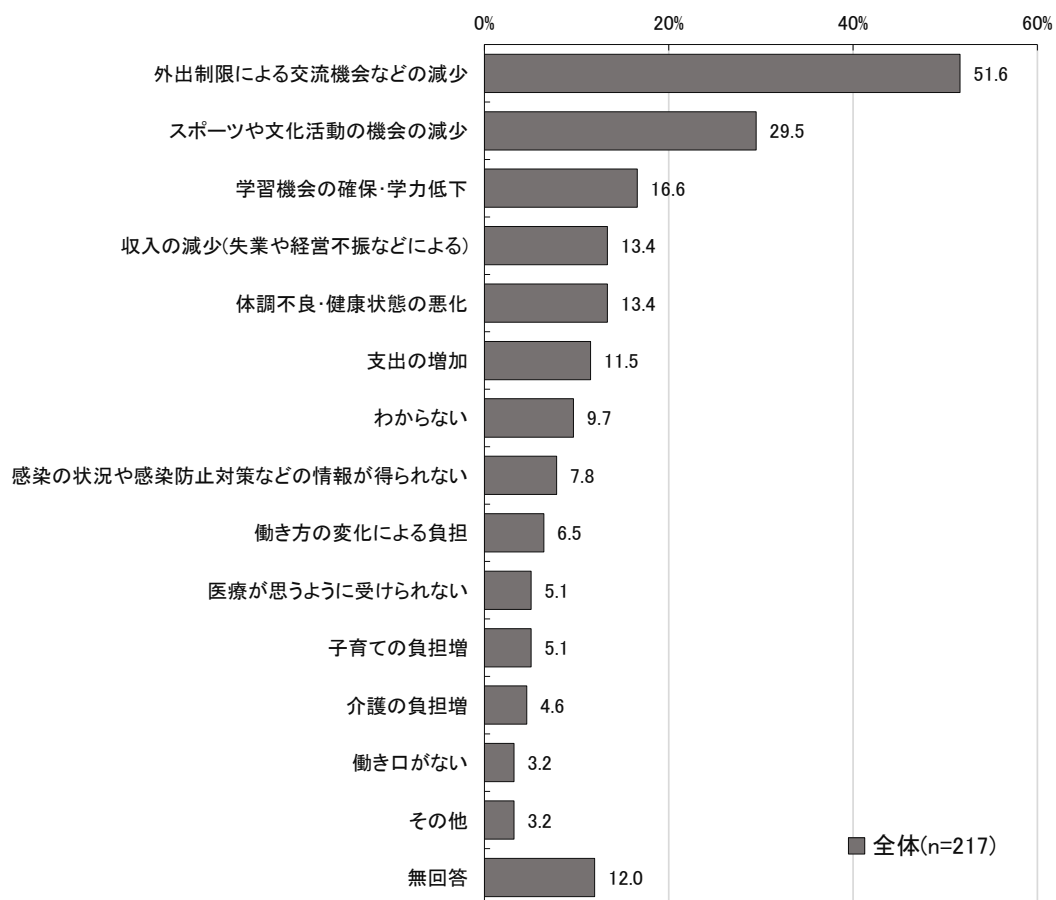
		第1位	第2位	第3位
全体(n=364)		外出制限による交流機会などの減少 45.9%	収入の減少(失業や経営不振などによる) 25.8%	支出の増加 23.4%
性別	男性(n=166)	外出制限による交流機会などの減少 39.8%	収入の減少(失業や経営不振などによる) 30.7%	支出の増加 28.9%
	女性(n=194)	外出制限による交流機会などの減少 52.1%	収入の減少(失業や経営不振などによる) 22.2%	スポーツや文化活動の機会の減少 19.1%
年代別	10・20 歳代(n=34)	外出制限による交流機会などの減少 55.9%	スポーツや文化活動の機会の減少 26.5%	収入の減少(失業や経営不振などによる) 26.5%
	30 歳代(n=47)	外出制限による交流機会などの減少 53.2%	支出の増加 27.7%	スポーツや文化活動の機会の減少 23.4%
	40 歳代(n=47)	外出制限による交流機会などの減少 44.7%	スポーツや文化活動の機会の減少／支出の増加／収入の減少(失業や経営不振などによる) 27.7%	
	50 歳代(n=46)	外出制限による交流機会などの減少 37.0%	収入の減少(失業や経営不振などによる) 30.4%	働き方の変化による負担 28.3%
	60 歳代(n=76)	外出制限による交流機会などの減少 47.4%	収入の減少(失業や経営不振などによる) 36.8%	体調不良・健康状態の悪化 23.7%
	70 歳代(n=69)	外出制限による交流機会などの減少 47.8%	支出の増加 29.0%	体調不良・健康状態の悪化 24.6%
	80 歳以上(n=41)	体調不良・健康状態の悪化 41.5%	外出制限による交流機会などの減少 39.0%	支出の増加 19.5%

		第1位	第2位	第3位
世帯構成別	一人暮らし(n=35)	外出制限による交流機会などの減少 42.9%	支出の増加／収入の減少(失業や経営不振などによる) 25.7%	
	夫婦(子どもなし) (n=90)	外出制限による交流機会などの減少 37.8%	収入の減少(失業や経営不振などによる) 28.9%	支出の増加 22.2%
	親と子(2世代) (n=165)	外出制限による交流機会などの減少 48.5%	支出の増加／体調不良・健康状態の悪化 23.6%	
	親・子・孫(3世代) (n=52)	外出制限による交流機会などの減少 61.5%	スポーツや文化活動の機会の減少 30.8%	収入の減少(失業や経営不振などによる) 23.1%
	その他(n=17)	収入の減少(失業や経営不振などによる) 47.1%	外出制限による交流機会などの減少／支出の増加 35.3%	
就労状況別	正社員(n=96)	外出制限による交流機会などの減少 44.8%	スポーツや文化活動の機会の減少 28.1%	支出の増加 22.9%
	契約社員・派遣社員(n=24)	外出制限による交流機会などの減少 45.8%	収入の減少(失業や経営不振などによる) 41.7%	支出の増加 20.8%
	パート・アルバイト (学生を除く)(n=48)	外出制限による交流機会などの減少 43.8%	支出の増加／収入の減少(失業や経営不振などによる) 35.4%	
	自営業(n=43)	外出制限による交流機会などの減少 53.5%	収入の減少(失業や経営不振などによる) 51.2%	感染の状況や感染防止対策などの情報が得られない 23.3%
	年金生活者(n=50)	外出制限による交流機会などの減少 46.0%	体調不良・健康状態の悪化 36.0%	支出の増加 28.0%
	無職(主婦・夫、学生含む)(n=72)	外出制限による交流機会などの減少 45.8%	体調不良・健康状態の悪化 25.0%	スポーツや文化活動の機会の減少／支出の増加 19.4%
	その他(n=15)	外出制限による交流機会などの減少 53.3%	収入の減少(失業や経営不振などによる) 46.7%	体調不良・健康状態の悪化 40.0%
地区別	河口湖地区(n=282)	外出制限による交流機会などの減少 45.4%	収入の減少(失業や経営不振などによる) 24.5%	支出の増加 23.8%
	勝山地区(n=41)	外出制限による交流機会などの減少 53.7%	スポーツや文化活動の機会の減少 41.5%	支出の増加 22.0%
	足和田地区(n=24)	収入の減少(失業や経営不振などによる) 58.3%	外出制限による交流機会などの減少 37.5%	体調不良・健康状態の悪化 29.2%
	上九一色地区 (n=14)	外出制限による交流機会などの減少 50.0%	スポーツや文化活動の機会の減少／支出の増加／収入の減少(失業や経営不振などによる) 21.4%	

問1 (3) 世帯構成の質問で、「3. 親と子 (2 世代)」または「4. 親・子・孫 (3 世代)」に○をつけた方にお伺いします。

問 15 同居のお子さんが「困っている・心配と感じている」と思われることはどれですか。(3つまで○印)

同居のお子さんのお困りのこと・心配なことについては、「外出制限による交流機会などの減少」が51.6%と最も高く、次いで、「スポーツや文化活動の機会の減少」(29.5%)、「学習機会の確保・学力低下」(16.6%)、「収入の減少(失業や経営不振などによる)」「体調不良・健康状態の悪化」(同率13.4%)、「支出の増加」(11.5%)などの順となっています。



[その他]

ワクチンの副反応／職場の人間関係が大変／オープンキャンパスなど参加できない／孫(大学4年)の就職が心配です／自由に遊べない／なし／自分が子供の立場だから

・属性の分析

性別でみると、女性では「学習機会の確保・学力低下」が男性より 10.2 ポイント高くなっています。

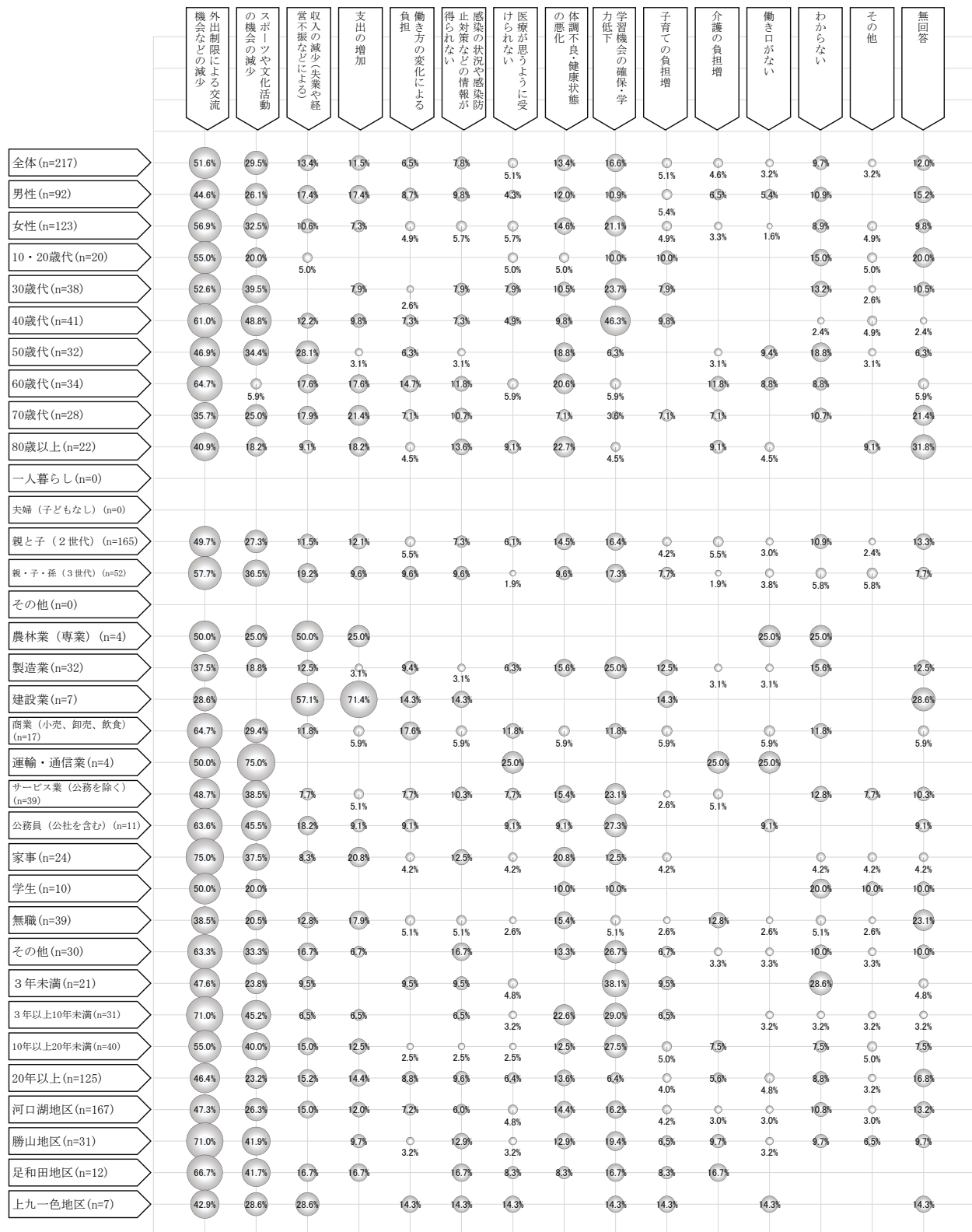
年代別でみると、30 歳代と 40 歳代では「スポーツや文化活動の機会の減少」「学習機会の確保・学力低下」が他の年代に比べて高くなっており、60 歳以上で「支出の増加」が 60 歳以下より高くなっています。

職業別でみると、建設業では「支出の増加」、運輸・通信業では「スポーツや文化活動の機会の減少」が最も高くなっています。

居住年数別でみると、居住年数が長いほど「学習機会の確保・学力低下」が低くなっています。

地区別でみると、勝山地区と足和田地区では「外出制限による交流機会などの減少」「スポーツや文化活動の機会の減少」が他の地区に比べて高くなっています。

6 新型コロナウイルス感染症について



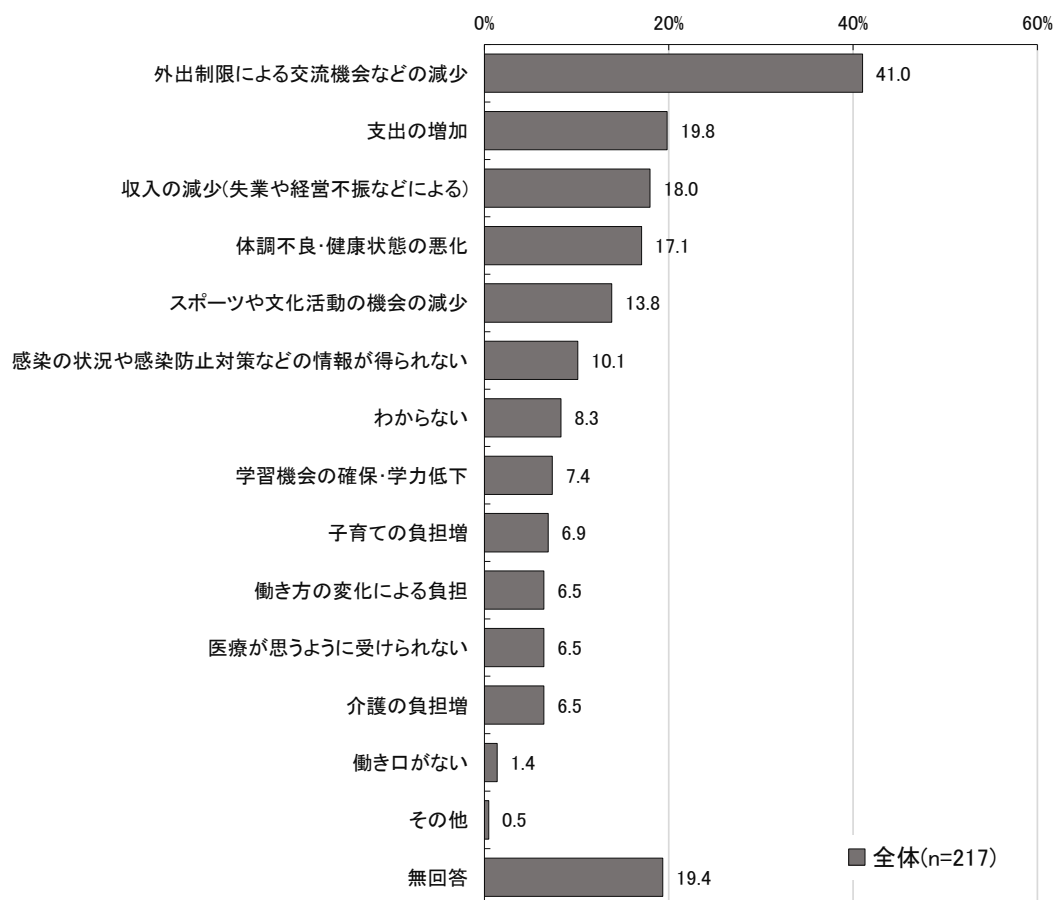
※0.0%は、グラフに表示されません。

問1 (3) 世帯構成の質問で、「3. 親と子 (2 世代)」または「4. 親・子・孫 (3 世代)」に○をつけた方にお伺いします。

問 16

同居の親御さんが「困っている・心配と感じている」と思われることはどれですか。(3つまで○印)

同居の親御さんのお困りのこと・心配なことについては、「外出制限による交流機会などの減少」が41.0%と最も高く、次いで、「支出の増加」(19.8%)、「収入の減少(失業や経営不振などによる)」(18.0%)、「体調不良・健康状態の悪化」(17.1%)、「スポーツや文化活動の機会の減少」(13.8%)、「感染の状況や感染防止対策などの情報が得られない」(10.1%)などの順となっています。



[その他]

なし

・属性の分析

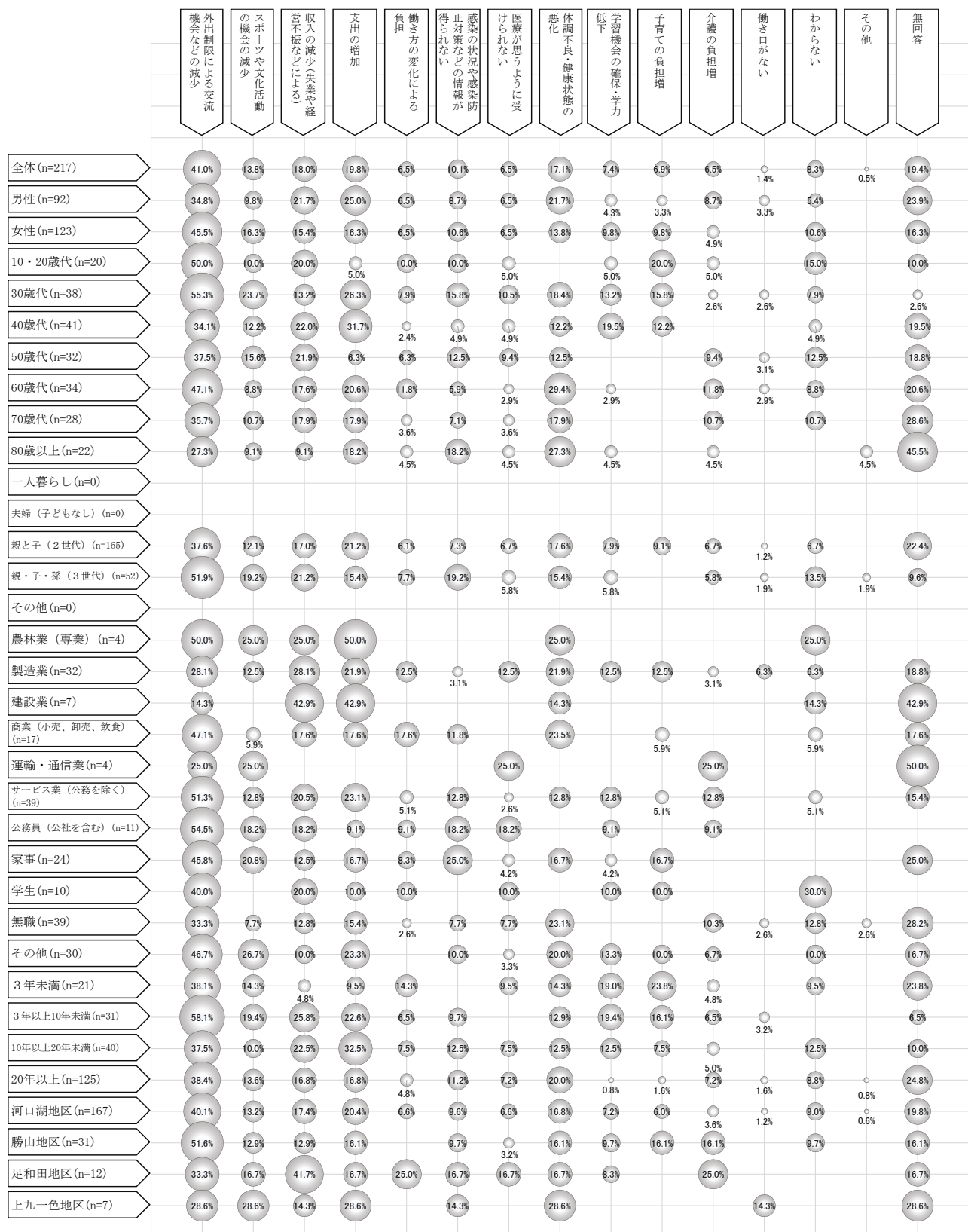
性別でみると、男性では「支出の増加」と「体調不良・健康状態の悪化」が女性より高く、「外出制限による交流機会などの減少」が低くなっています。

年代別でみると、40 歳以下では「子育ての負担増」が、30 歳代では「支出の増加」と「スポーツや文化活動の機会の減少」が、40 歳代では「支出の増加」が、60 歳代と 80 歳以上では「体調不良・健康状態の悪化」が他の年代に比べて高くなっています。

職業別でみると、農林業（専業）では「支出の増加」、建設業では「支出の増加」「収入の減少（失業や経営不振などによる）」、商業（小売、卸売、飲食）では「働き方の変化による負担」が他の職業に比べて高くなっています。

居住年数別でみると、3年未満では「学習機会の確保・学力低下」「子育ての負担増」、3年以上 10 年未満では「外出制限による交流機会などの減少」「学習機会の確保・学力低下」が他の居住年数に比べて高くなっています。

地区別でみると、足和田地区では「収入の減少（失業や経営不振などによる）」が最も高くなっています。

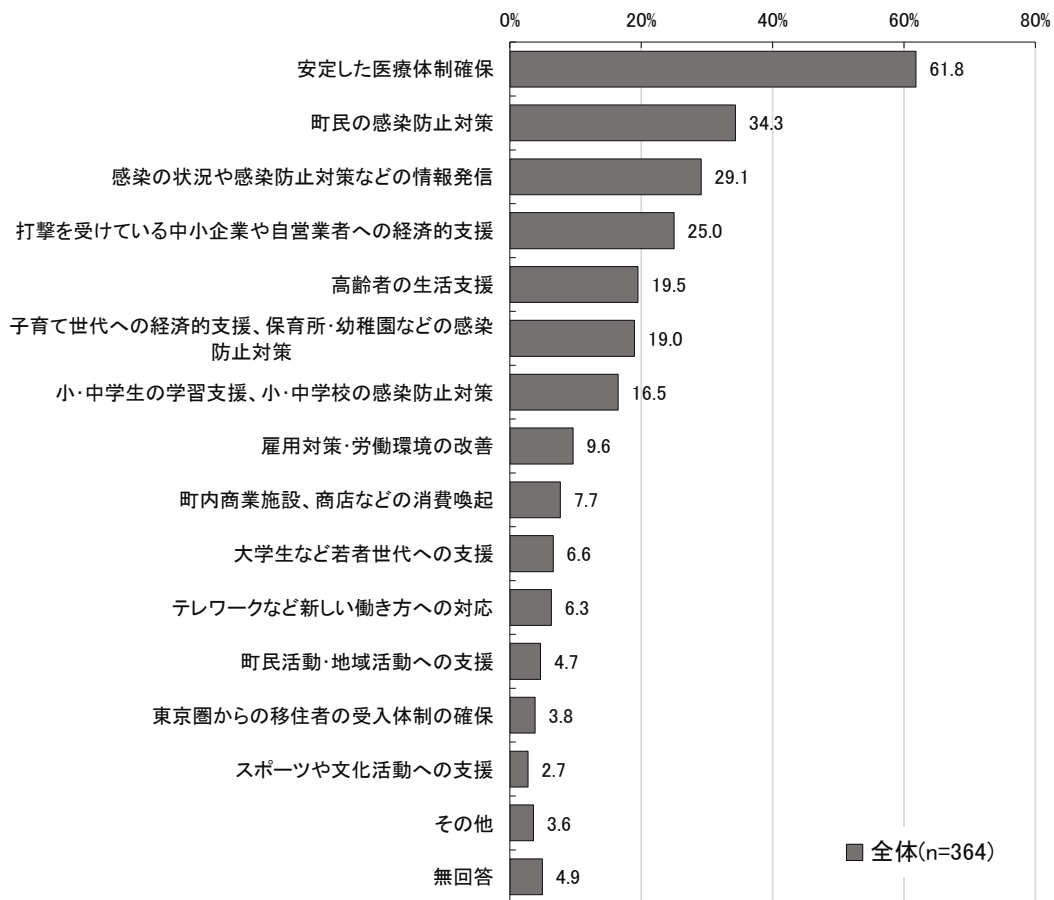


※0.0%は、グラフに表示されません。

問 17

町では、飲食店など中小企業や自営業者への経済的支援、子育て世代や妊婦を対象とした経済的支援などに取り組んでいるところですが、今後も新型コロナウイルス感染症の影響が続いた場合に、重点的に実施してほしいと考える施策はどれですか。（3つまで○印）

重点的に実施してほしい施策については、「安定した医療体制確保」が61.8%と最も高く、次いで、「町民の感染防止対策」（34.3%）、「感染の状況や感染防止対策などの情報発信」（29.1%）、「打撃を受けている中小企業や自営業者への経済的支援」（25.0%）、「高齢者の生活支援」（19.5%）、「子育て世代への経済的支援、保育所・幼稚園などの感染防止対策」（19.0%）、「小・中学生の学習支援、小・中学校の感染防止対策」（16.5%）などの順となっています。



[その他]

都心部からの人を拒絶してほしい／県外の方のマスク等の対策／子育て世代だけではなく、働き盛り 40～50 代への平等な支援。（吉田や山中湖の様に）／コロナウイルス、ワクチンの副反応の正しい情報提供／飲食、宿泊関係が特に支援を受けてる様に感じる。もう少し幅広く検討してみてもどうか。例えば申請するとか。／緊急事態宣言中の県外の方の出入りを厳しくして欲しい。県境で検問するなど。／医療関係者を助ける／観光地なので観光業に関わっている会社に支援した方が良いと思います。／県外の観光客の多く、安心して買い物ができない／どの項目も重要です／全国的に対応が遅い。感染拡大地域からの制限が緩すぎる。迅速かつ的確な感染防止対策をして欲しい。／県外からの旅行者の流入制限など、町民が安心して生活できる環境作り／人口増加の為に企業に誘致を積極的に行う。

・属性の分析

性別による大きな違いはみられませんでした。

年代別でみると、80 歳以上では「安定した医療体制確保」が第1位、「高齢者の生活支援」が第3位となっており、30 歳代では「子育て世代への経済的支援、保育所・幼稚園などの感染防止対策」「打撃を受けている中小企業や自営業者への経済的支援」が、40 歳代では「小・中学生の学習支援、小・中学校の感染防止対策」が、50 歳代では「打撃を受けている中小企業や自営業者への経済的支援」が第3位までに入っています。

就労状況別でみると、契約社員・派遣社員では「雇用対策・労働環境の改善」が、自営業では「打撃を受けている中小企業や自営業者への経済的支援」、年金生活者では「町民の感染防止対策」「高齢者の生活支援」が他の職業と比べると高くなっています。

地区別でみると、第2位の足和田地区では「打撃を受けている中小企業や自営業者への経済的支援」が他の地区と比べて高くなっています。

		第1位	第2位	第3位
全体(n=364)		安定した医療体制確保 61.8%	町民の感染防止対策 34.3%	感染の状況や感染防止対策などの 情報発信 29.1%
性別	男性(n=166)	安定した医療体制確保 61.4%	町民の感染防止対策 36.1%	感染の状況や感染防止対策などの 情報発信 29.5%
	女性(n=194)	安定した医療体制確保 62.9%	町民の感染防止対策 33.0%	感染の状況や感染防止対策などの 情報発信 28.4%
年代別	10・20 歳代(n=34)	安定した医療体制確保 64.7%	打撃を受けている中小企業や自営業者への経済的支援 38.2%	町民の感染防止対策 29.4%
	30 歳代(n=47)	安定した医療体制確保 59.6%	子育て世代への経済的支援、保育所・幼稚園などの感染防止対策 48.9%	打撃を受けている中小企業や自営業者への経済的支援／町民の感染防止対策 25.5%
	40 歳代(n=47)	安定した医療体制確保 63.8%	小・中学生の学習支援、小・中学校の感染防止対策 40.4%	感染の状況や感染防止対策などの 情報発信 31.9%
	50 歳代(n=46)	安定した医療体制確保 65.2%	打撃を受けている中小企業や自営業者への経済的支援 32.6%	町民の感染防止対策 28.3%
	60 歳代(n=76)	安定した医療体制確保 65.8%	感染の状況や感染防止対策などの 情報発信 36.8%	町民の感染防止対策 32.9%
	70 歳代(n=69)	安定した医療体制確保 66.7%	町民の感染防止対策 40.6%	感染の状況や感染防止対策などの 情報発信 39.1%
	80 歳以上(n=41)	町民の感染防止対策 61.0%	安定した医療体制確保 43.9%	高齢者の生活支援 39.0%

6 新型コロナウイルス感染症について

		第1位	第2位	第3位
就労状況別	正社員(n=96)	安定した医療体制確保 62.5%	町民の感染防止対策 28.1%	子育て世代への経済的支援、保育所・幼稚園などの感染防止対策 27.1%
	契約社員・派遣社員(n=24)	安定した医療体制確保 66.7%	感染の状況や感染防止対策などの情報発信／雇用対策・労働環境の改善／町内商業施設、商店などの消費喚起	29.2%
	パート・アルバイト(学生を除く)(n=48)	安定した医療体制確保 66.7%	小・中学生の学習支援、小・中学校の感染防止対策 35.4%	感染の状況や感染防止対策などの情報発信／町民の感染防止対策 29.2%
	自営業(n=43)	安定した医療体制確保 60.5%	打撃を受けている中小企業や自営業者への経済的支援 58.1%	感染の状況や感染防止対策などの情報発信／町民の感染防止対策 34.9%
	年金生活者(n=50)	安定した医療体制確保 60.0%	町民の感染防止対策 52.0%	高齢者の生活支援 42.0%
	無職(主婦・夫、学生含む)(n=72)	安定した医療体制確保 62.5%	町民の感染防止対策 40.3%	感染の状況や感染防止対策などの情報発信 33.3%
	その他(n=15)	安定した医療体制確保 60.0%	感染の状況や感染防止対策などの情報発信 33.3%	高齢者の生活支援／町民の感染防止対策 26.7%
地区別	河口湖地区(n=282)	安定した医療体制確保 61.0%	町民の感染防止対策 35.5%	感染の状況や感染防止対策などの情報発信 28.0%
	勝山地区(n=41)	安定した医療体制確保 75.6%	感染の状況や感染防止対策などの情報発信 43.9%	町民の感染防止対策 39.0%
	足和田地区(n=24)	安定した医療体制確保 58.3%	打撃を受けている中小企業や自営業者への経済的支援 50.0%	高齢者の生活支援 33.3%
	上九一色地区(n=14)	安定した医療体制確保 57.1%	感染の状況や感染防止対策などの情報発信／高齢者の生活支援／打撃を受けている中小企業や自営業者への経済的支援／町内商業施設、商店などの消費喚起／町民の感染防止対策	21.4%

7 ICT（情報通信技術）の利用環境について

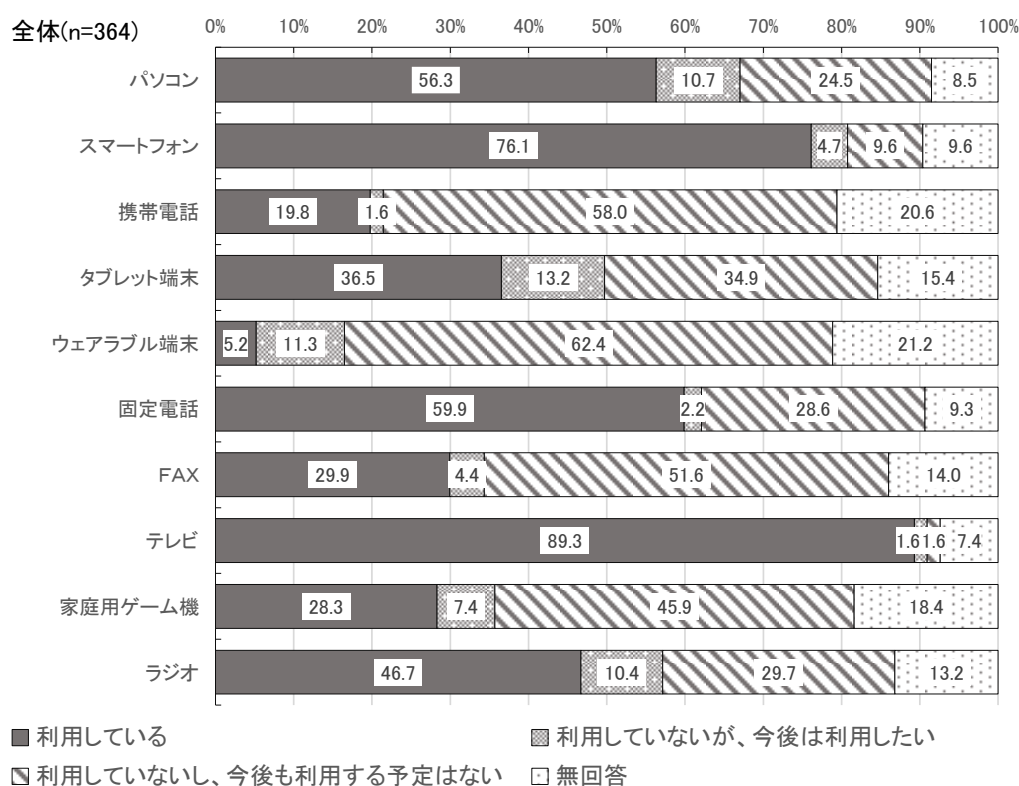
問 18

あなたが利用している情報通信機器の利用状況についておたずねします。
(①から⑪について、それぞれの項目ごとに1つつ〇印)

情報通信機器の利用状況については、現在利用している機器では「テレビ」が89.3%と最も高く、次いで、「スマートフォン」(76.1%)、「固定電話」(59.9%)などの順となっています。

また、利用していないが、今後は利用したい機器では「タブレット端末」が13.2%と最も高く、次いで、「ウェアラブル端末」(11.3%)、「パソコン」(10.7%)などの順となっています。

一方で、利用していないし、今後も利用する予定はない機器では「ウェアラブル端末」が62.4%と最も高く、次いで、「携帯電話」(58.0%)、「FAX」(51.6%)などの順となっています。

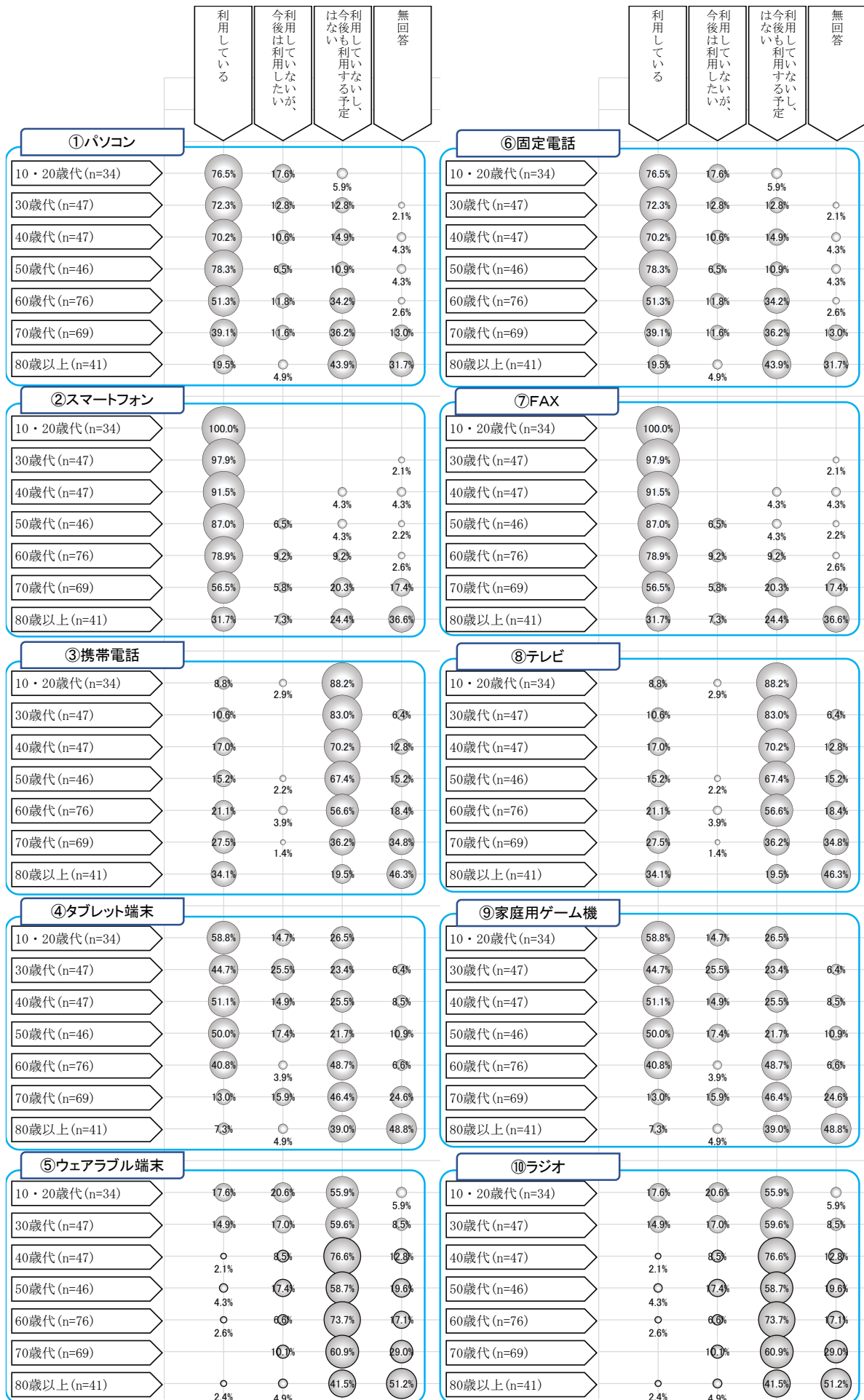


[その他]

スマートスピーカー／なし(3)／コピー機／災害情報／インターネット／固定回線／新聞

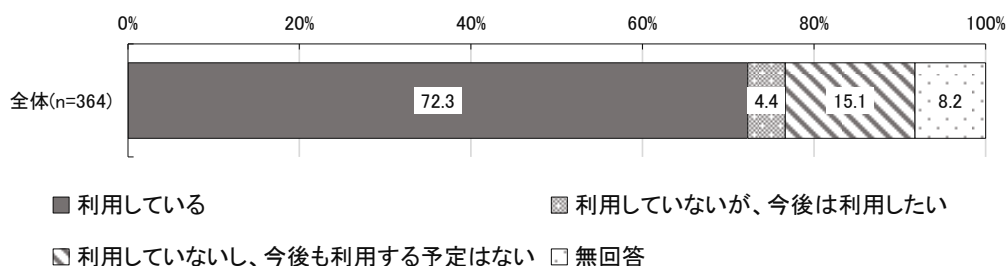
・属性の分析

情報通信機器の利用状況を年代別でみると、次のようになっています。



問 19 あなたのインターネットの利用状況についてお答えください。(1つに○印)

インターネットの利用状況については、「利用している」が 72.3%と最も高く、次いで、「利用していないし、今後も利用する予定はない」(15.1%)、「利用していないが、今後は利用したい」(4.4%)の順となっています。

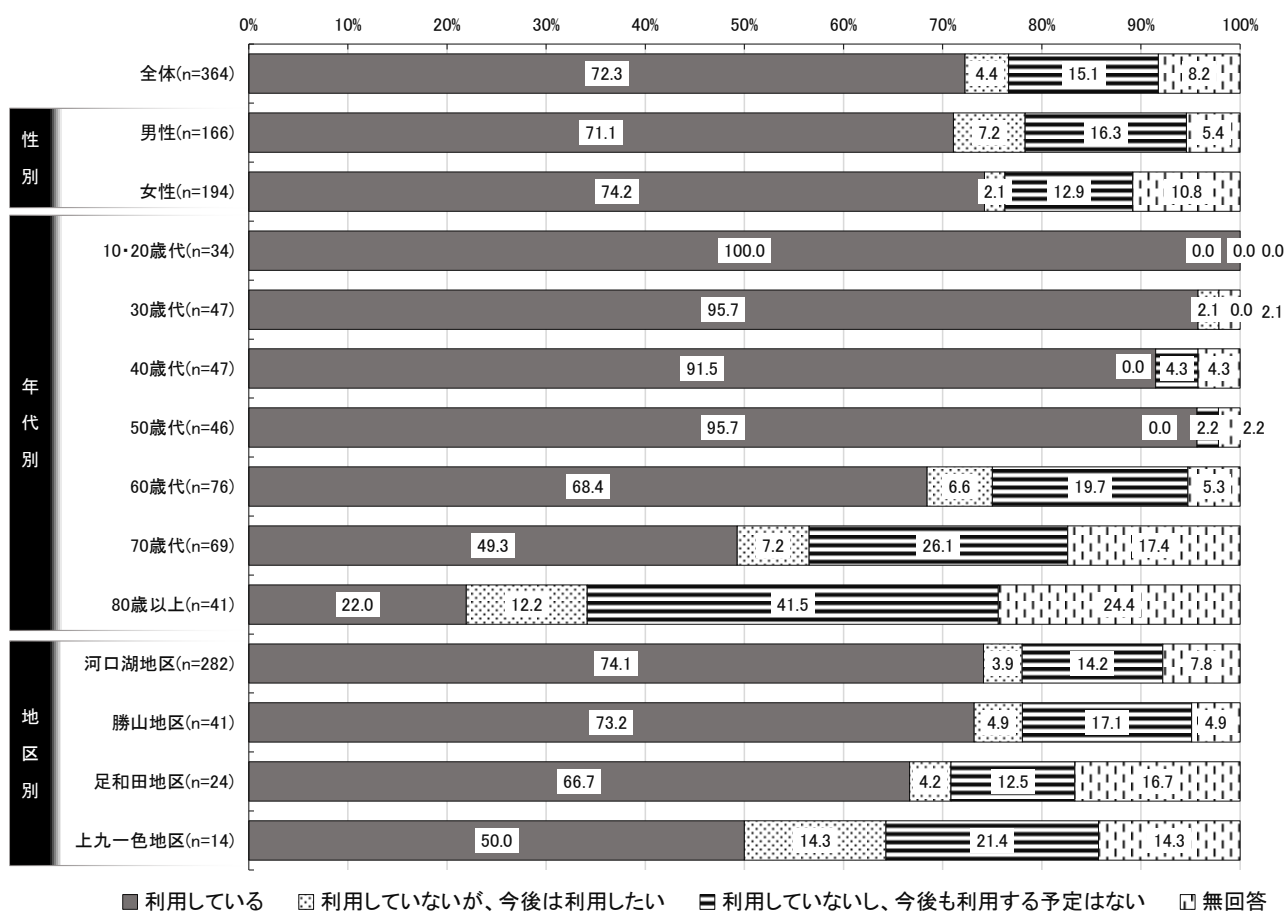


・属性の分析

性別での大きな違いはみられませんでした。

年代別でみると、「利用している」が年齢が高くなるとともに低くなり、「利用していないが、今後は利用したい」「利用していないし、今後も利用する予定はない」が高くなっています。

地区別でみると、上九一色地区では「利用している」が他の地区に比べて低くなっています。

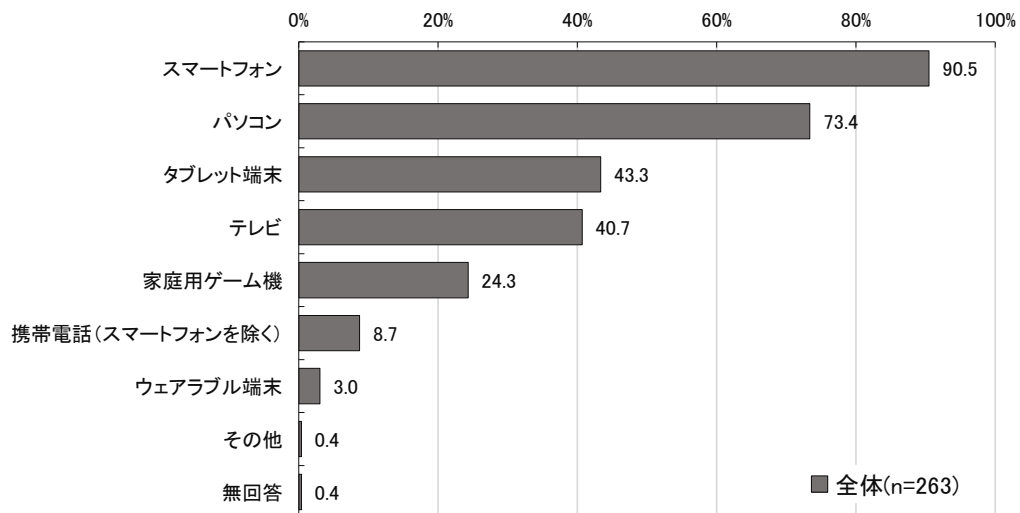


問19で「1.利用している」に○をつけた方におたずねします。

問 20

あなたが利用してる情報通信機器のうち、インターネットを利用している端末はどれですか。（○印はいくつでも）

インターネットを利用している端末については、「スマートフォン」が90.5%と最も高く、次いで、「パソコン」(73.4%)、「タブレット端末」(43.3%)、「テレビ」(40.7%)などの順となっています。



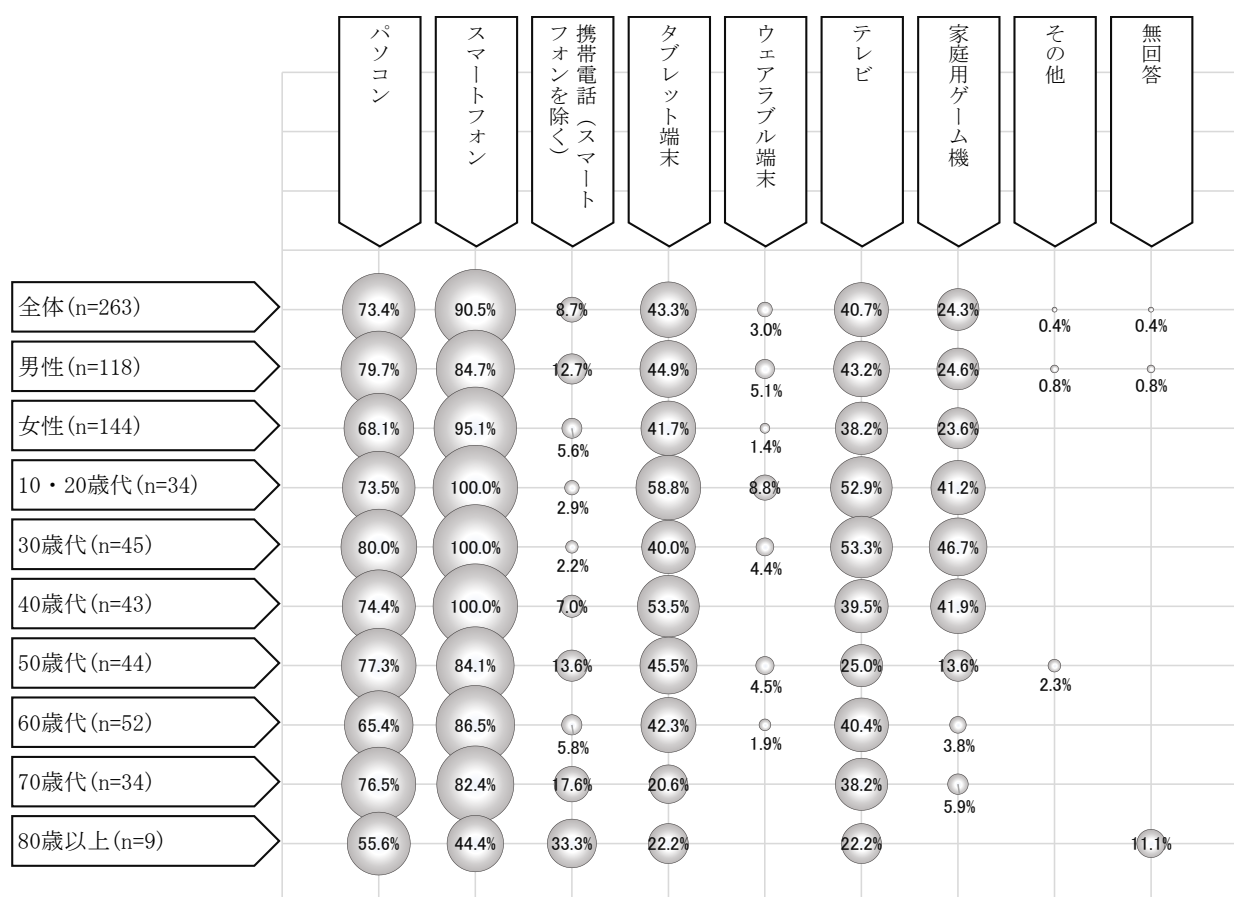
[その他]

迷惑電話対策機器(トビラフォン)

・属性の分析

性別でみると、「パソコン」は女性より男性が 11.6 ポイント高く、「スマートフォン」は女性が男性より 10.4 ポイント高くなっています。

年代別でみると、40 歳以下では「スマートフォン」が 100%となっており、10・20 歳代と 40 歳代では「タブレット端末」、10・20 歳代と 30 歳代では「テレビ」、10・20 歳代から 40 歳代では「家庭用ゲーム機」が他の年代に比べて高くなっています。また、80 歳以上では「パソコン」「スマートフォン」が他の年代に比べて低く、「携帯電話（スマートフォンを除く）」が他の年代に比べて高くなっています。

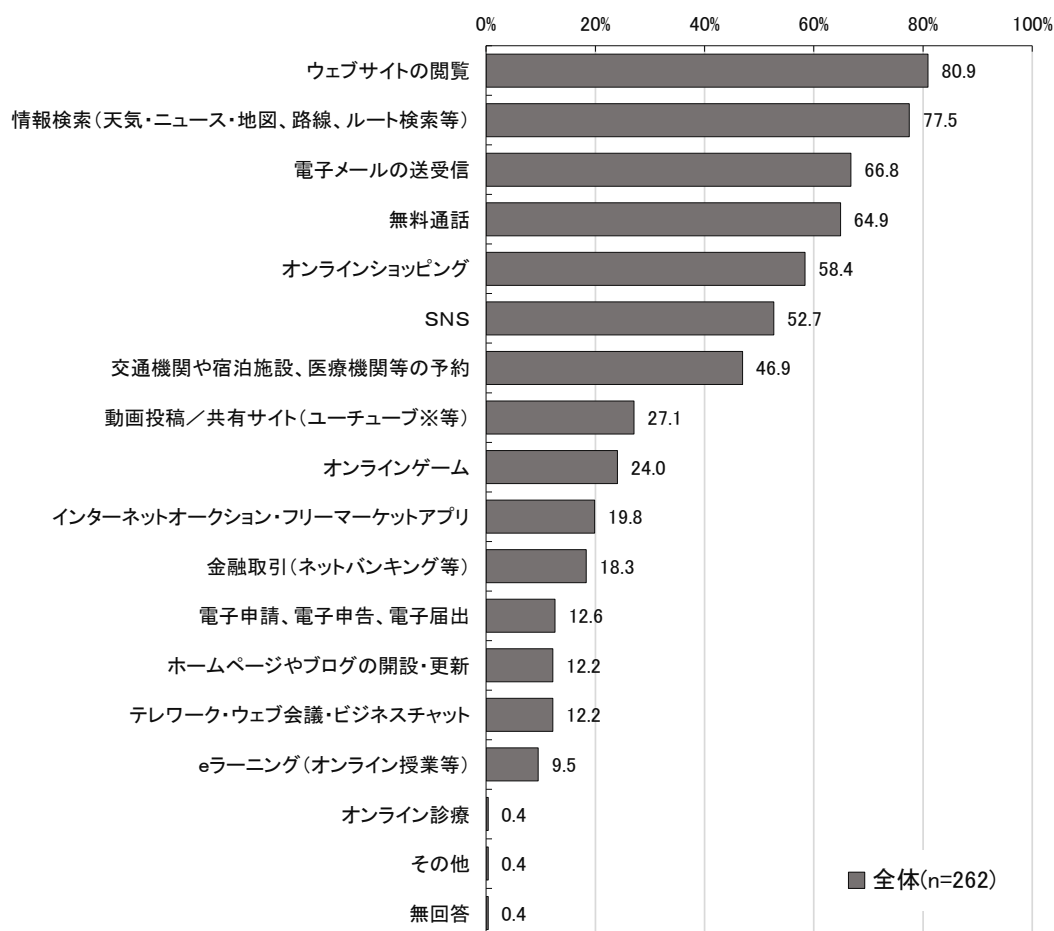


※0.0%は、グラフに表示されません。

問 20 で○をつけた方におたずねします。

問 21 インターネットの利用目的はなんですか。（○印はいくつでも）

インターネットの利用目的については、「ウェブサイトの閲覧」が 80.9%と最も高く、次いで、「情報検索（天気・ニュース・地図、路線、ルート検索等）」（77.5%）、「電子メールの送受信」（66.8%）、「無料通話」（64.9%）、「オンラインショッピング」（58.4%）、「SNS」（52.7%）、「交通機関や宿泊施設、医療機関等の予約」（46.9%）などの順となっています。



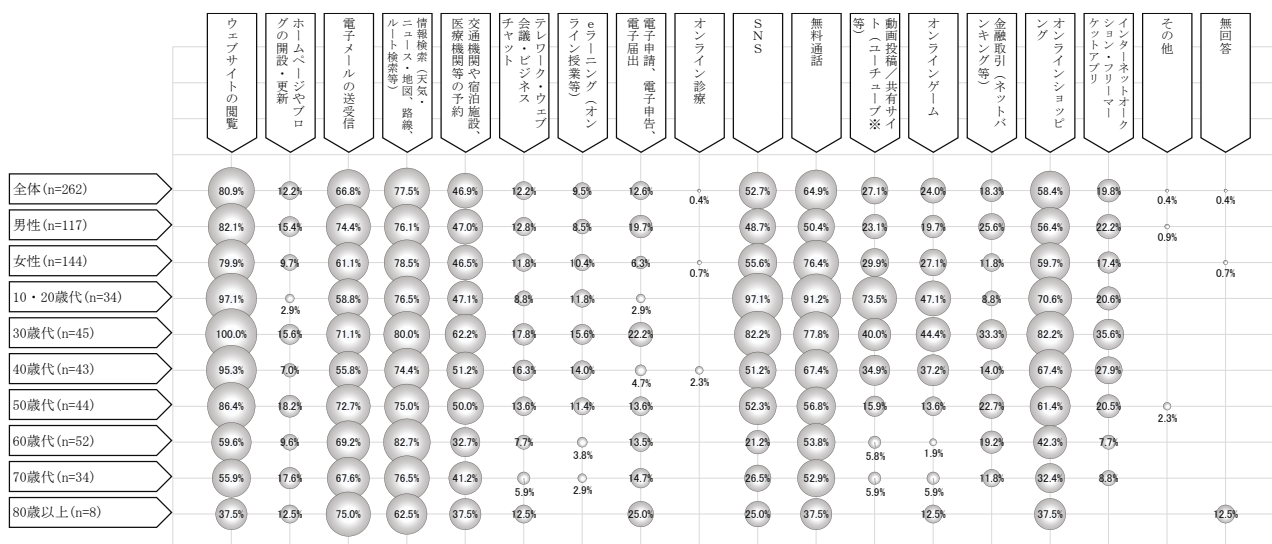
[その他]

迷惑電話対策

・属性の分析

性別でみると、男性は「電子メールの送受信」「電子申請、電子申告、電子届出」「金融取引（ネットバンキング等）」が女性より高く、「無料通話」が低くなっています。

年代別でみると、10・20 歳代では「SNS」（「ウェブサイトの閲覧」と同率）、60 歳代と 70 歳代では「情報検索（天気・ニュース・地図、路線、ルート検索等）」、80 歳以上では「電子メールの送受信」が最も高くなっています。

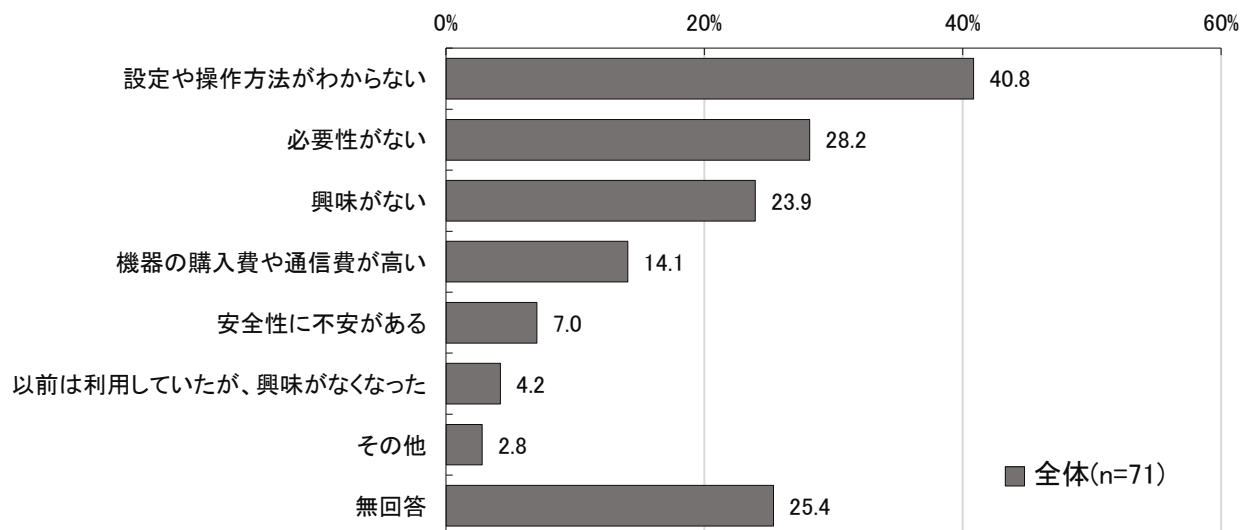


※0.0%は、グラフに表示されません。

問 21 で「10. SNS」「11. 無料通話」「12. 動画投稿／共有サイト」に○をつけた方におたずねします。

問 22 あなたが利用している SNS 等はどれですか。（○印はいくつでも）

利用している SNS 等については、「LINE」が 94.3% と最も高く、次いで、「ユーチューブ」（62.9%）、「インスタグラム」（42.4%）、「ツイッター」（31.0%）、「フェイスブック」（23.8%）の順となっています。



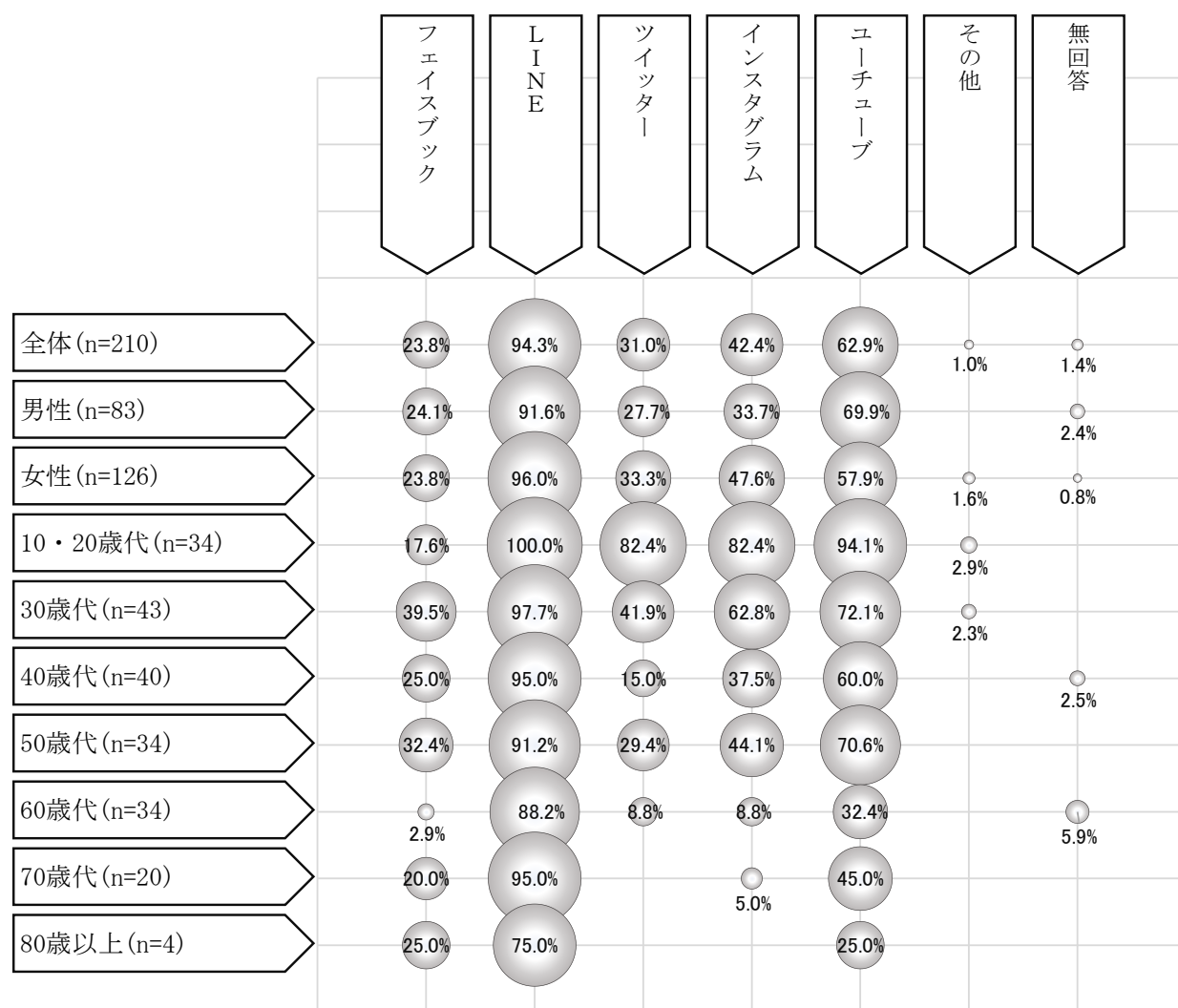
[その他]

SKYPE／TikTok

・属性の分析

性別でみると、性別でみると、男性は「ユーチューブ」が女性より12.0ポイント高くなっています。

年代別でみると、10・20歳代では「ツイッター」「インスタグラム」「ユーチューブ」が、30歳代では「フェイスブック」が他の年代に比べて高くなっています。全体的に年齢が高くなるとともに、SNS等の利用は低くなっていきます。

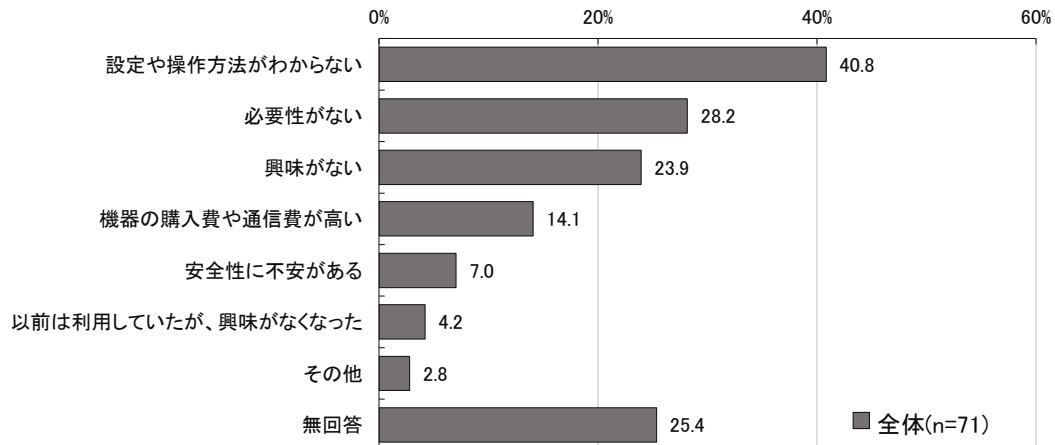


※0.0%は、グラフに表示されません。

問 19 で「2. 利用していないが、今後は利用したい」または「3. 利用していないし、今後も利用する予定はない」に○をつけた方におたずねします。

問 23 あなたがインターネットを利用しない理由はなんですか。（○印はいくつでも）

インターネットを利用しない理由については、「設定や操作方法がわからない」が 40.8%と最も高く、次いで、「必要性がない」(28.2%)、「興味がない」(23.9%)、「機器の購入費や通信費が高い」(14.1%)などの順となっています。



[その他]

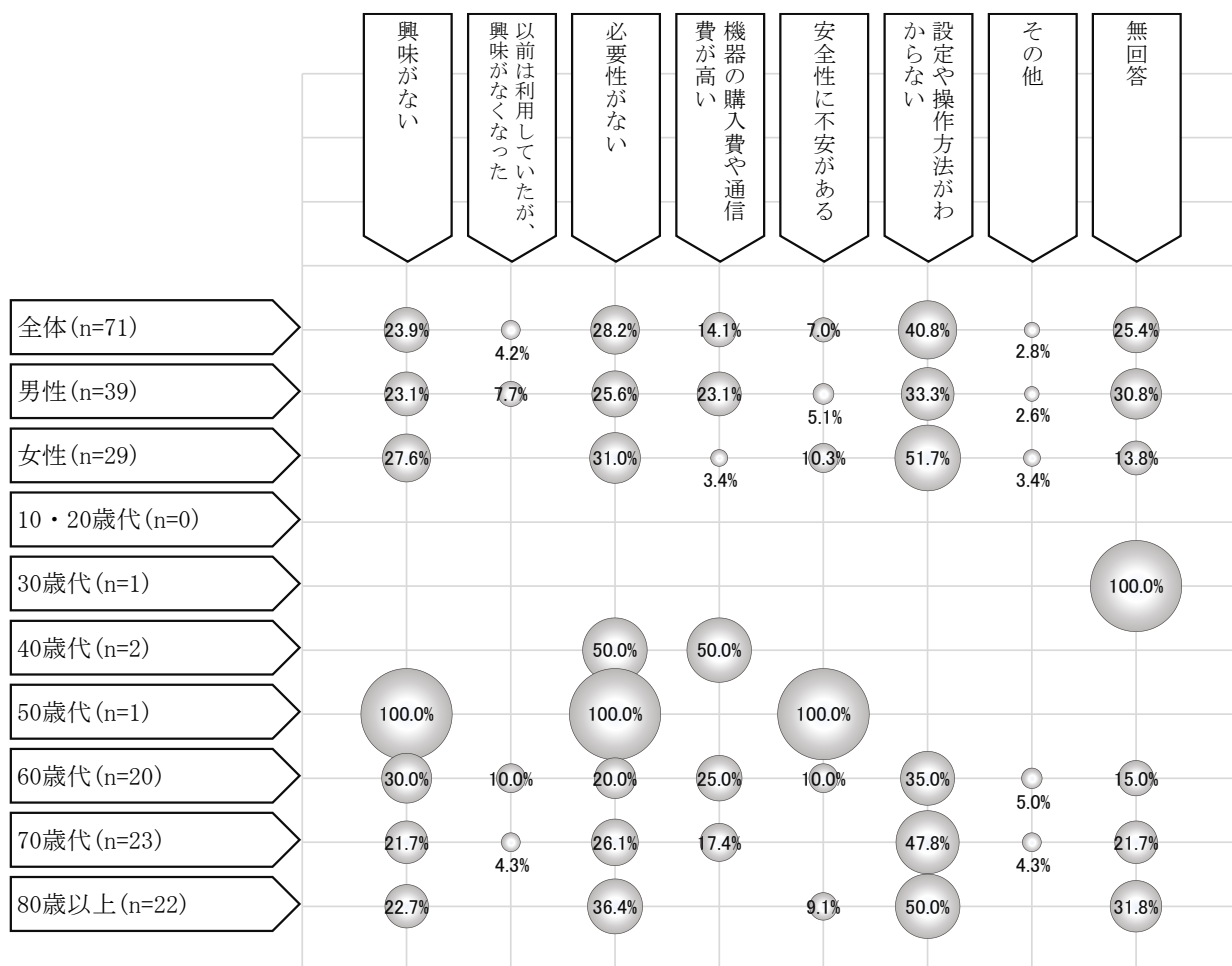
使った事がない／家族がしてくれるので

・属性の分析

性別でみると、「機器の購入費や通信費が高い」は女性より男性が 19.7 ポイント高く、「設定や操作方法がわからない」は女性が男性より 18.4 ポイント高くなっています。

性別でみると、男性のほうが「」の割合が女性より高く、女性のほうが「」の割合が男性より高くなっています。

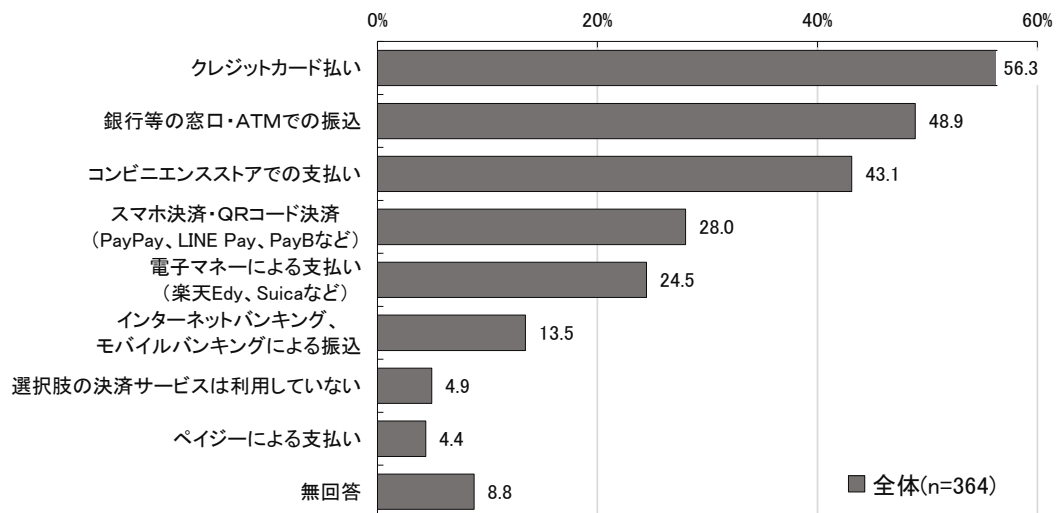
年代別でみると、60 歳代以上では「設定や操作方法がわからない」が最も高くなっています。



※0.0%は、グラフに表示されません。

問 24 あなたが現在利用している決済サービスはどれですか。（○印はいくつでも）

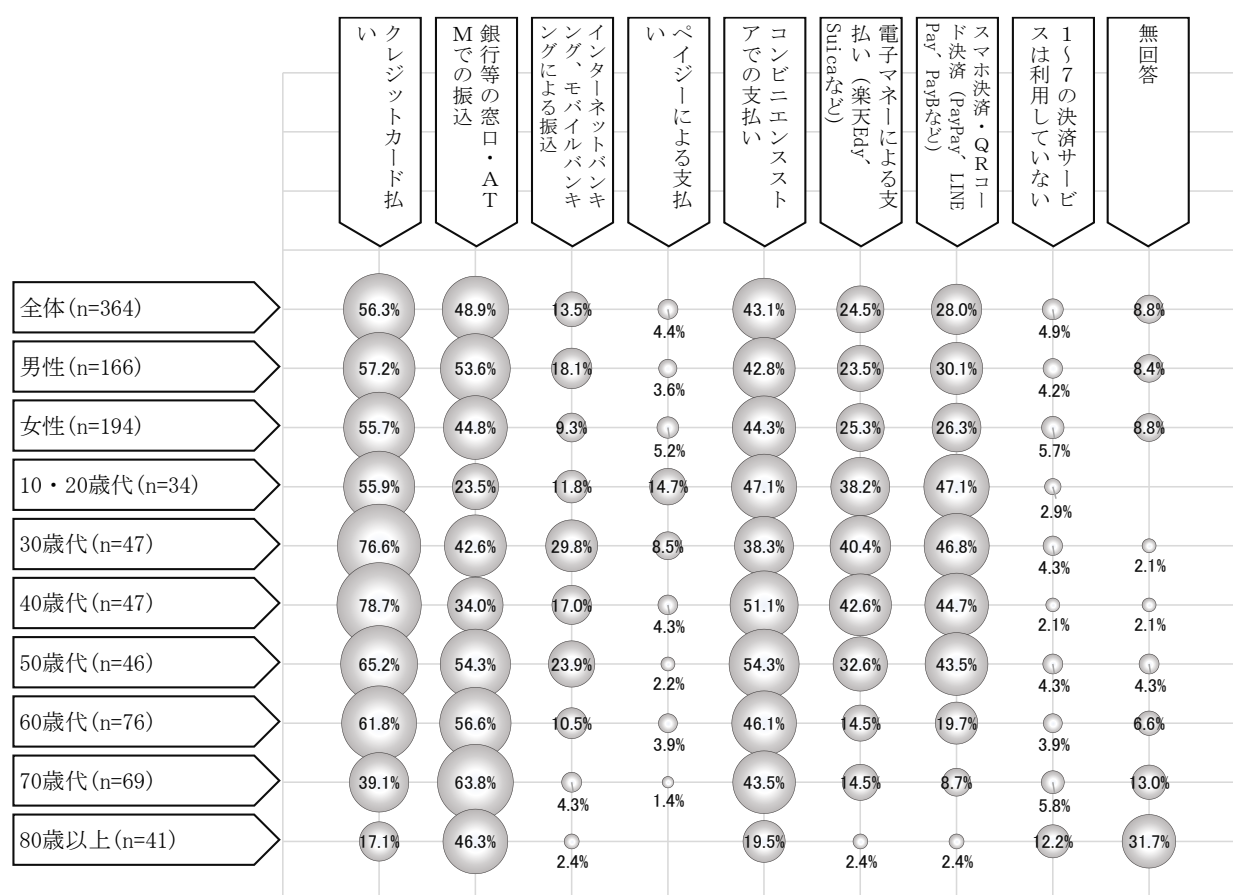
現在利用している決済サービスについては、「クレジットカード払い」が 56.3%と最も高く、次いで、「銀行等の窓口・ATMでの振込」(48.9%)、「コンビニエンスストアでの支払い」(43.1%)、「スマホ決済・QRコード決済 (PayPay、LINE Pay、PayB など)」(28.0%)、「電子マネーによる支払い (楽天Edy、Suica など)」(24.5%)などの順となっています。



・属性の分析

性別でみると、男性は「銀行等の窓口・ATMでの振込」「インターネットバンキング、モバイルバンキングによる振込」が女性より高くなっています。

年代別でみると、70 歳以上では「銀行等の窓口・ATMでの振込」が最も高くなっています。50 歳以下では「電子マネーによる支払い（楽天 Edy、Suica など）」「スマホ決済・QRコード決済（PayPay、LINE Pay、PayB など）」などの電子決済利用が高くなっています。

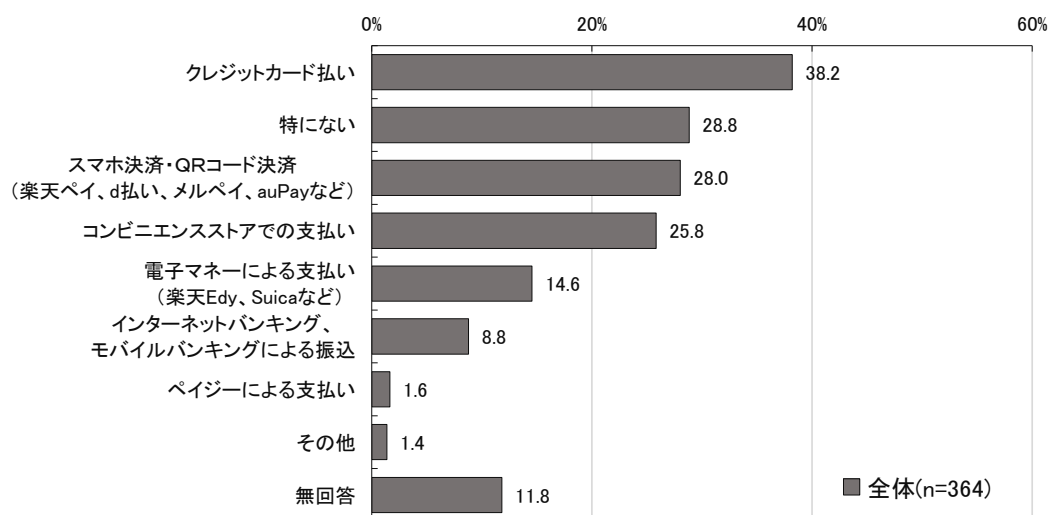


※0.0%は、グラフに表示されません。

問 25

次のうち、今後町税や手数料などの支払いで利用できるようにしてほしい決済サービスはどれですか。（○印はいくつでも）

町税などの支払いで利用できるようにしてほしい決済サービスについては、「クレジットカード払い」が 38.2%と最も高く、次いで、「特にない」(28.8%)、「スマホ決済・QRコード決済（楽天ペイ、d 払い、メルペイ、auPay など）」(28.0%)、「コンビニエンスストアでの支払い」(25.8%)、「電子マネーによる支払い（楽天 Edy、Suica など）」(14.6%)などの順となっています。



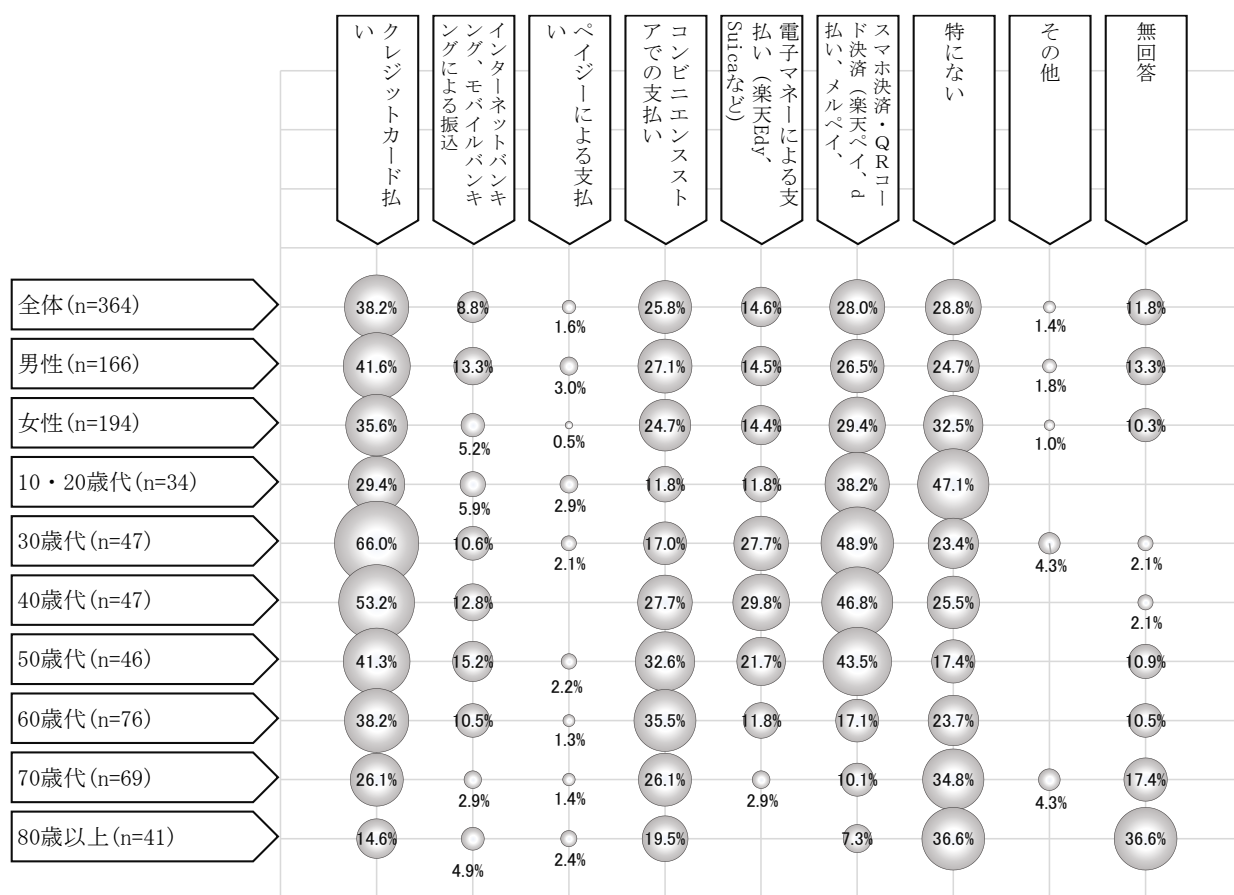
[その他]

銀行等(2)／現在の引き落とし／クイックペイ／導入に対する経費

・属性の分析

性別でみると、男性は「インターネットバンキング、モバイルバンキングによる振込」が女性より高くなっています。

年代別でみると、50 歳代では「スマホ決済・QRコード決済（楽天ペイ、d 払い、メルペイ、auPay など）」が最も高くなっています。

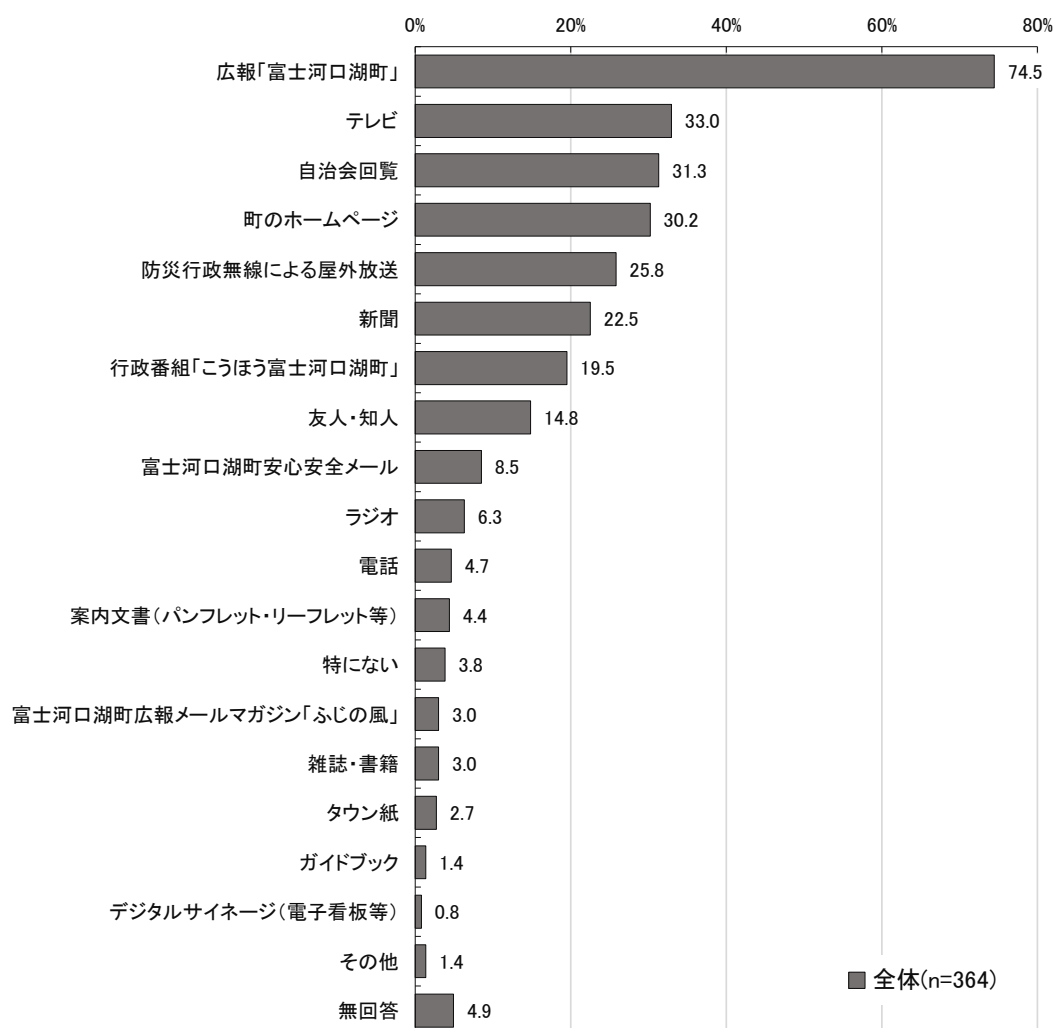


※0.0%は、グラフに表示されません。

8 町のデジタル化の推進について

問 26 現在の町の行政情報入手手段はどれですか。(〇印はいくつでも)

町の行政情報入手手段については、「広報「富士河口湖町」」が 74.5%と最も高く、次いで、「テレビ」(33.0%)、「自治会回覧」(31.3%)、「町のホームページ」(30.2%)、「防災行政無線による屋外放送」(25.8%)、「新聞」(22.5%)、「行政番組「こうほう富士河口湖町」」(19.5%)、「友人・知人」(14.8%)などの順となっています。



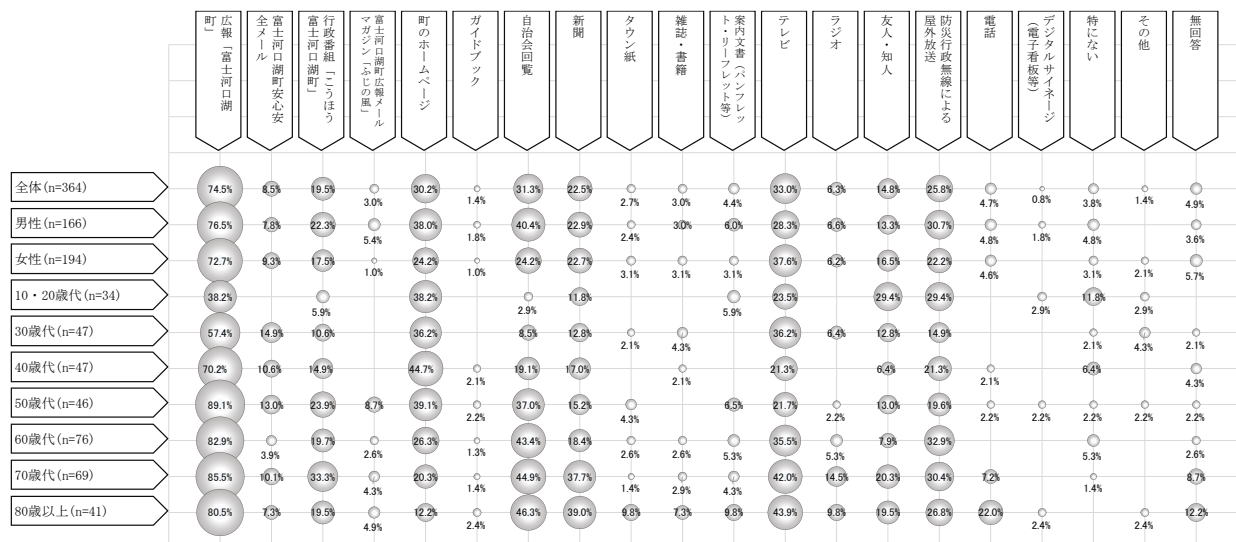
[その他]

子育てLINE／KTVケーブルテレビ河口湖／富士河口湖防災アプリ／アプリ／**防災無線はよく聞き取れません。一家に一台設置してください。**

・属性の分析

性別、男性は「町のホームページ」「自治会回覧」が女性より高くなっています。

年代別でみると、「町のホームページ」は、年齢が高くなるとともに低くなっていますが、「広報」「富士河口湖町」「自治会回覧」「新聞」は、年齢が高くなるとともに高くなっています。

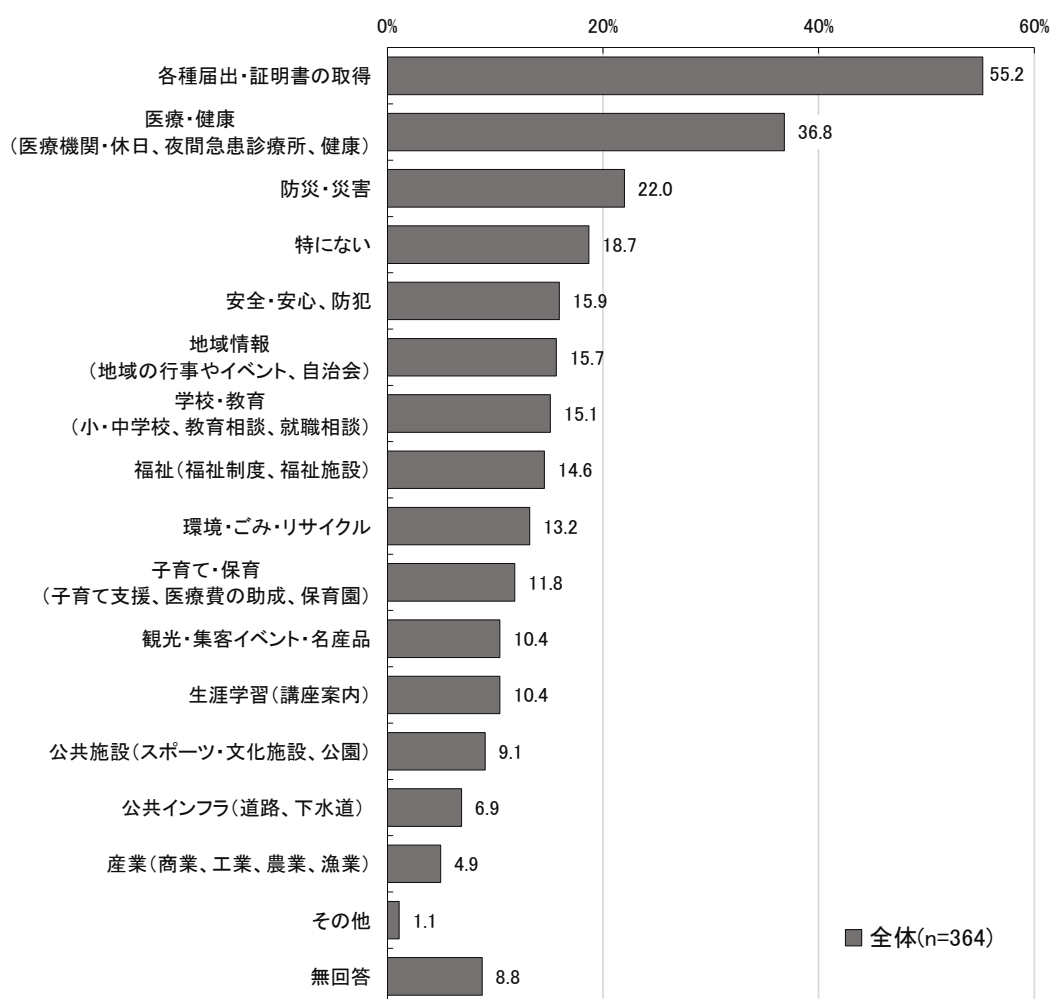


※0.0%は、グラフに表示されません。

問 27

あなたにとって、次の行政分野のうちデジタル化が重要なものはどれですか。
(○印はいくつでも)

行政分野のうちデジタル化が重要なものについては、「各種届出・証明書の取得」が 55.2%と最も高く、次いで、「医療・健康（医療機関・休日、夜間急患診療所、健康）」（36.8%）、「防災・災害」（22.0%）、「特にない」（18.7%）、「安全・安心、防犯」（15.9%）、「地域情報（地域の行事やイベント、自治会）」（15.7%）、「学校・教育（小・中学校、教育相談、就職相談）」（15.1%）、「福祉（福祉制度、福祉施設）」（14.6%）、「環境・ごみ・リサイクル」（13.2%）、「子育て・保育（子育て支援、医療費の助成、保育園）」（11.8%）などの順となっています。



[その他]

選挙投票／防災行政無線／わからない／特にない

・属性の分析

性別、世帯構成別での大きな違いはみられませんでした。

年代別でみると、80 歳代以上では「医療・健康（医療機関・休日、夜間急患診療所、健康）」が最も高くなっています。30 歳以下では、デジタル化が重要だと思われる項目が多くなっています。

でみると、親・子・孫（3世代）では「安全・安心、防犯」が他の世帯に比べて高くなっています。

職業別でみると、学生では「学校・教育（小・中学校、教育相談、就職相談）」が最も高くなっており、サービス業（公務を除く）では「安全・安心、防犯」が他の職業に比べて高くなっています。

居住年数別でみると、3年未満では「生涯学習（講座案内）」が他の居住年数に比べて高くなっています。

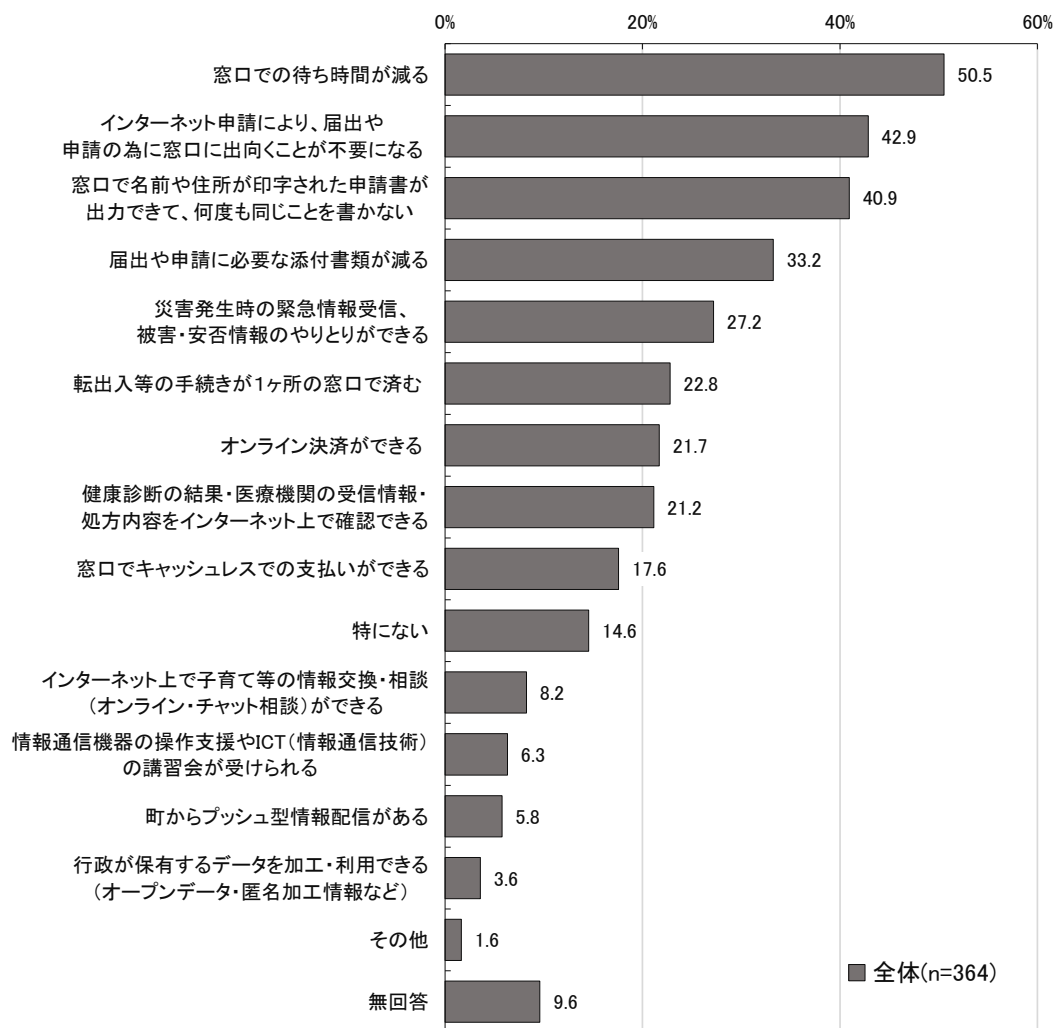
地区別でみると、勝山地区では「医療・健康（医療機関・休日、夜間急患診療所、健康）」、足和田地区では「福祉（福祉制度、福祉施設）」「学校・教育（小・中学校、教育相談、就職相談）」が他の地区に比べて高くなっています。

人		%	各種届出・証明書の取得	医療・健康 所、健康	福祉(福祉制度、福祉施設)	学校・教育(小・中学校、教育相談、就職相談)	子育て・保育(子育て支援、医療費の助成、保育園)	環境・ごみ・リサイクル	防災・災害	安全・安心、防犯	観光・集客イベント・名産品	産業(商業、工業、農業、漁業)	公共インフラ(道路、下水道)	公共施設(スポーツ・文化施設、公園)	地域情報(地域の行事やイベント、自治会)	生涯学習(講座案内)	特にな	その他	無回答
全体(n=364)			55.2	36.8	14.6	15.1	11.8	13.2	22.0	15.9	10.4	4.9	6.9	9.1	15.7	10.4	18.7	1.1	8.8
性別	男性(n=166)		56.0	35.5	18.1	16.3	13.3	10.2	23.5	16.3	11.4	7.8	10.2	13.9	18.1	9.0	19.9	1.8	7.2
	女性(n=194)		55.2	38.1	11.3	13.4	10.3	16.0	20.6	15.5	9.8	2.6	4.1	5.2	13.9	11.3	18.0	0.5	9.3
年代別	10・20 歳代(n=34)		64.7	41.2	14.7	35.3	26.5	5.9	17.6	11.8	20.6	8.8	2.9	23.5	14.7	8.8	11.8	0.0	0.0
	30 歳代(n=47)		74.5	53.2	25.5	34.0	44.7	14.9	31.9	19.1	14.9	8.5	10.6	14.9	14.9	14.9	10.6	2.1	2.1
	40 歳代(n=47)		68.1	34.0	12.8	21.3	14.9	19.1	14.9	14.9	8.5	4.3	8.5	12.8	14.9	6.4	12.8	2.1	6.4
	50 歳代(n=46)		60.9	32.6	10.9	8.7	4.3	8.7	28.3	23.9	13.0	6.5	8.7	6.5	15.2	10.9	17.4	2.2	4.3
	60 歳代(n=76)		59.2	32.9	7.9	5.3	0.0	10.5	21.1	6.6	11.8	3.9	3.9	3.9	19.7	10.5	19.7	0.0	3.9
	70 歳代(n=69)		36.2	33.3	15.9	8.7	5.8	14.5	21.7	13.0	2.9	1.4	7.2	2.9	10.1	8.7	29.0	0.0	14.5
	80 歳以上(n=41)		34.1	39.0	19.5	7.3	0.0	19.5	19.5	31.7	4.9	4.9	7.3	7.3	19.5	14.6	22.0	2.4	26.8
世帯構成別	一人暮らし(n=35)		48.6	22.9	11.4	2.9	0.0	8.6	22.9	17.1	8.6	2.9	8.6	8.6	14.3	2.9	25.7	0.0	17.1
	夫婦(子どもなし)(n=90)		51.1	34.4	13.3	6.7	5.6	13.3	16.7	10.0	8.9	3.3	6.7	6.7	18.9	10.0	26.7	1.1	7.8
	親と子(2世代)(n=165)		60.6	41.8	13.9	19.4	17.0	13.3	25.5	16.4	11.5	7.3	7.9	10.3	15.8	12.1	13.3	1.2	7.3
	親・子・孫(3世代)(n=52)		55.8	40.4	19.2	21.2	13.5	15.4	21.2	25.0	11.5	3.8	5.8	13.5	9.6	11.5	19.2	1.9	1.9
	その他(n=17)		52.9	29.4	23.5	23.5	17.6	11.8	23.5	17.6	11.8	0.0	0.0	0.0	23.5	11.8	17.6	0.0	11.8
職業別	農林業(専業)(n=4)		50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0
	製造業(n=44)		77.3	45.5	6.8	20.5	20.5	18.2	25.0	18.2	15.9	15.9	11.4	11.4	22.7	6.8	13.6	0.0	0.0
	建設業(n=14)		42.9	21.4	0.0	7.1	7.1	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	7.1	7.1	0.0	0.0	28.6	0.0	7.1
	商業(小売、卸売、飲食)(n=31)		64.5	38.7	12.9	9.7	16.1	6.5	16.1	12.9	19.4	12.9	3.2	12.9	12.9	9.7	19.4	0.0	3.2
	運輸・通信業(n=5)		80.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	サービス業(公務を除く)(n=60)		55.0	35.0	18.3	20.0	13.3	13.3	38.3	28.3	13.3	3.3	10.0	13.3	20.0	11.7	13.3	0.0	10.0
	公務員(公社を含む)(n=21)		81.0	28.6	9.5	14.3	9.5	4.8	28.6	9.5	4.8	0.0	0.0	19.0	9.5	9.5	9.5	4.8	4.8
	家事(n=34)		55.9	38.2	11.8	8.8	8.8	17.6	17.6	14.7	5.9	2.9	8.8	5.9	23.5	17.6	17.6	0.0	11.8
	学生(n=11)		36.4	45.5	9.1	54.5	18.2	9.1	18.2	18.2	36.4	9.1	0.0	9.1	9.1	18.2	9.1	0.0	0.0
	無職(n=89)		39.3	38.2	20.2	10.1	5.6	15.7	20.2	15.7	3.4	2.2	9.0	3.4	16.9	10.1	29.2	1.1	14.6
	その他(n=46)		58.7	39.1	21.7	19.6	17.4	10.9	15.2	10.9	10.9	0.0	2.2	8.7	6.5	13.0	17.4	4.3	2.2
居住年数別	3年未満(n=38)		63.2	42.1	21.1	23.7	28.9	21.1	31.6	21.1	21.1	7.9	10.5	21.1	23.7	21.1	18.4	0.0	5.3
	3年以上 10 年未満(n=51)		68.6	39.2	13.7	23.5	23.5	11.8	27.5	13.7	13.7	9.8	11.8	17.6	19.6	5.9	7.8	0.0	5.9
	10 年以上 20 年未満(n=53)		50.9	47.2	15.1	24.5	15.1	13.2	17.0	15.1	11.3	3.8	3.8	3.8	15.1	9.4	15.1	1.9	3.8
	20 年以上(n=218)		52.3	33.0	13.3	9.2	5.0	11.9	20.2	16.1	7.8	3.7	6.0	6.4	13.8	9.6	22.5	1.4	10.1
地区別	河口湖地区(n=282)		55.0	34.4	13.1	13.8	12.4	14.5	22.3	16.0	10.3	5.3	7.1	9.2	14.9	9.6	20.6	1.1	8.2
	勝山地区(n=41)		61.0	58.5	19.5	19.5	7.3	4.9	22.0	12.2	12.2	4.9	7.3	9.8	22.0	17.1	4.9	0.0	4.9
	足和田地区(n=24)		58.3	41.7	25.0	25.0	12.5	12.5	25.0	20.8	12.5	0.0	4.2	8.3	20.8	16.7	16.7	0.0	12.5
	上九一色地区(n=14)		50.0	21.4	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	21.4	7.1	7.1	7.1	7.1	7.1	0.0	21.4	7.1	14.3

問 28

あなたは、今後行政手続きや行政サービスがデジタル化されることで、サービスがどのように良くなることを期待しますか。(〇印はいくつでも)

行政手続きなどのデジタル化により期待するサービスについては、「窓口での待ち時間が減る」が50.5%と最も高く、次いで、「インターネット申請により、届出や申請の為に窓口に出向くことが不要になる」(42.9%)、「窓口で名前や住所が印字された申請書が出力できて、何度も同じことを書かない」(40.9%)、「届出や申請に必要な添付書類が減る」(33.2%)、「災害発生時の緊急情報受信、被害・安否情報のやりとりができる」(27.2%)などの順となっています。



[その他]

役場に行かなくて済む／町役場職員の削減／期待していない／デジタル化が進む事は、高齢者にとっては負担／行政サービスはアナログで良い。町民の顔を見る事。／やり方がわからない

・属性の分析

性別での大きな違いはみられませんでした。

年代別でみると、30 歳代と 50 歳代では「インターネット申請により、届出や申請の為に窓口に出向くことが不要になる」、70 歳以上では「窓口で名前や住所が印字された申請書が出力できて、何度も同じことを書かない」が最も高く(30 歳代と 70 歳以上は「窓口での待ち時間が減る」と同率)なっています。

世帯構成別でみると、一人暮らしでは「窓口で名前や住所が印字された申請書が出力できて、何度も同じことを書かない」が最も高く(「窓口での待ち時間が減る」と同率)になっており、親と子(2世代)では「インターネット申請により、届出や申請の為に窓口に出向くことが不要になる」が他の世帯に比べて高くなっています。

職業別でみると、サービス業(公務を除く)では「窓口で名前や住所が印字された申請書が出力できて、何度も同じことを書かない」、学生では「インターネット申請により、届出や申請の為に窓口に出向くことが不要になる」が最も高くなっています。

居住年数別でみると、3年以上 10 年未満では「インターネット申請により、届出や申請の為に窓口に出向くことが不要になる」が最も高くなっています。

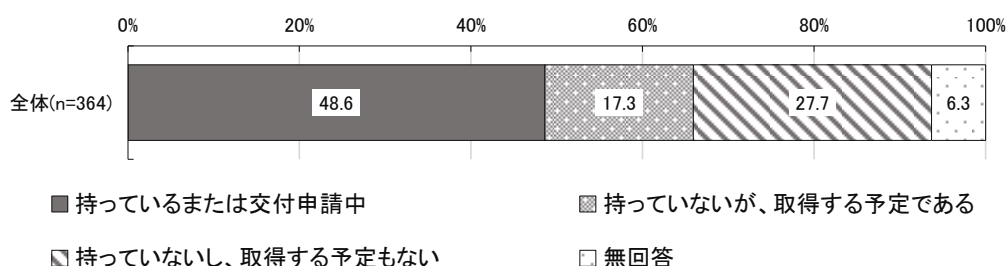
地区別でみると、足和田地区では「インターネット申請により、届出や申請の為に窓口に出向くことが不要になる」が最も高く、上九一色地区では「窓口で名前や住所が印字された申請書が出力できて、何度も同じことを書かない」が「窓口での待ち時間が減る」と同率で最も高くなっています。

人		%	人																
			窓口での待ち時間が減る	転出入等の手続きが1ヶ所の窓口で済む	窓口で名前や住所が印字された申請書が出力できて、何度も同じことを書かない	届出や申請に必要な添付書類が減る	インターネット申請により、届出や申請の為に窓口に向くことが不要になる	オンライン決済ができる	窓口でキャッシュレスでの支払いができる	災害発生時の緊急情報受信、被害・安否情報のやりとりができる	健康診断の結果・医療機関の受信情報・処方内容をインターネット上で確認できる	町からプッシュ型情報配信がある	行政が保有するデータを加工・利用できる(オープンデータ・匿名加工情報など)	情報通信機器の操作支援やICT(情報通信技術)の講習会が受けられる	窓口での待ち時間が減る	特にない	その他	無回答	
全体(n=364)			50.5	22.8	40.9	33.2	42.9	21.7	17.6	27.2	21.2	8.2	5.8	3.6	6.3	14.6	1.6	9.6	50.5
性別	男性(n=166)		47.6	19.9	40.4	36.1	41.0	25.9	19.3	28.9	20.5	6.6	6.6	5.4	8.4	16.3	2.4	8.4	47.6
	女性(n=194)		53.1	24.7	41.2	30.4	44.3	18.0	16.0	26.3	22.2	9.8	5.2	2.1	4.6	13.4	0.5	9.8	53.1
年代別	10・20 歳代(n=34)		76.5	38.2	35.3	38.2	70.6	32.4	14.7	20.6	32.4	14.7	14.7	2.9	5.9	5.9	0.0	0.0	76.5
	30 歳代(n=47)		59.6	38.3	51.1	48.9	59.6	40.4	29.8	34.0	14.9	21.3	4.3	4.3	4.3	6.4	2.1	2.1	59.6
	40 歳代(n=47)		59.6	23.4	53.2	38.3	53.2	34.0	19.1	12.8	19.1	12.8	4.3	4.3	4.3	12.8	2.1	2.1	59.6
	50 歳代(n=46)		54.3	19.6	41.3	37.0	58.7	34.8	32.6	43.5	26.1	10.9	10.9	6.5	8.7	13.0	0.0	4.3	54.3
	60 歳代(n=76)		47.4	18.4	42.1	25.0	38.2	7.9	11.8	22.4	18.4	2.6	1.3	2.6	1.3	14.5	2.6	9.2	47.4
	70 歳代(n=69)		33.3	10.1	33.3	26.1	18.8	8.7	8.7	30.4	17.4	1.4	4.3	2.9	8.7	21.7	2.9	17.4	33.3
	80 歳以上(n=41)		41.5	24.4	31.7	29.3	22.0	9.8	12.2	29.3	29.3	2.4	7.3	2.4	14.6	22.0	0.0	24.4	41.5
世帯構成別	一人暮らし(n=35)		45.7	22.9	45.7	25.7	40.0	14.3	17.1	34.3	17.1	8.6	8.6	2.9	5.7	5.7	0.0	20.0	45.7
	夫婦(子どもなし)(n=90)		46.7	18.9	40.0	33.3	34.4	16.7	15.6	30.0	24.4	2.2	5.6	3.3	7.8	21.1	2.2	7.8	46.7
	親と子(2世代)(n=165)		54.5	26.1	42.4	38.2	53.9	30.3	21.2	28.5	20.6	10.9	6.7	4.8	7.9	12.1	1.2	6.1	54.5
	親・子・孫(3世代)(n=52)		51.9	19.2	32.7	25.0	28.8	13.5	15.4	15.4	21.2	9.6	3.8	1.9	1.9	19.2	3.8	7.7	51.9
	その他(n=17)		47.1	29.4	52.9	35.3	41.2	11.8	5.9	29.4	23.5	11.8	0.0	0.0	0.0	11.8	0.0	17.6	47.1
職業別	農林業(専業)(n=4)		50.0	0.0	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	50.0
	製造業(n=44)		45.5	27.3	45.5	34.1	63.6	38.6	18.2	20.5	15.9	13.6	4.5	9.1	4.5	13.6	0.0	6.8	45.5
	建設業(n=14)		57.1	7.1	21.4	14.3	14.3	0.0	0.0	21.4	7.1	0.0	0.0	0.0	7.1	28.6	7.1	7.1	57.1
	商業(小売、卸売、飲食)(n=31)		45.2	32.3	45.2	35.5	54.8	29.0	22.6	29.0	19.4	6.5	9.7	3.2	3.2	29.0	0.0	6.5	45.2
	運輸・通信業(n=5)		100.0	20.0	80.0	60.0	60.0	60.0	40.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	サービス業(公務を除く)(n=60)		51.7	16.7	53.3	38.3	50.0	26.7	30.0	40.0	28.3	8.3	8.3	3.3	3.3	5.0	3.3	6.7	51.7
	公務員(公社を含む)(n=21)		66.7	38.1	33.3	33.3	66.7	42.9	33.3	38.1	33.3	23.8	4.8	4.8	14.3	4.8	0.0	4.8	66.7
	家事(n=34)		58.8	29.4	52.9	50.0	41.2	17.6	17.6	26.5	26.5	14.7	5.9	5.9	5.9	8.8	2.9	11.8	58.8
	学生(n=11)		63.6	18.2	27.3	27.3	72.7	36.4	9.1	36.4	27.3	18.2	27.3	9.1	18.2	9.1	0.0	0.0	63.6
	無職(n=89)		41.6	16.9	30.3	22.5	22.5	7.9	7.9	25.8	20.2	0.0	3.4	2.2	9.0	22.5	2.2	15.7	41.6
その他(n=46)		56.5	30.4	43.5	41.3	41.3	15.2	17.4	17.4	13.0	8.7	4.3	0.0	2.2	10.9	0.0	2.2	56.5	
居住年数別	3年未満(n=38)		63.2	42.1	57.9	52.6	52.6	31.6	21.1	28.9	28.9	23.7	10.5	7.9	13.2	7.9	0.0	2.6	63.2
	3年以上 10 年未満(n=51)		60.8	29.4	52.9	39.2	64.7	37.3	31.4	27.5	19.6	9.8	5.9	5.9	5.9	5.9	2.0	3.9	60.8
	10 年以上 20 年未満(n=53)		56.6	20.8	39.6	30.2	45.3	20.8	15.1	20.8	17.0	13.2	7.5	3.8	1.9	13.2	1.9	3.8	56.6
	20 年以上(n=218)		45.4	18.8	36.2	29.8	35.8	16.5	14.7	28.4	21.6	4.1	4.6	2.3	6.4	18.3	1.8	12.4	45.4
地区別	河口湖地区(n=282)		51.4	22.3	39.0	32.3	40.8	20.9	16.3	27.3	18.4	8.9	5.3	3.9	5.0	16.0	1.4	9.6	51.4
	勝山地区(n=41)		58.5	29.3	51.2	36.6	48.8	29.3	24.4	24.4	34.1	7.3	7.3	2.4	12.2	4.9	4.9	7.3	58.5
	足和田地区(n=24)		37.5	16.7	50.0	50.0	62.5	25.0	25.0	37.5	37.5	0.0	12.5	0.0	16.7	12.5	0.0	4.2	37.5
	上九一色地区(n=14)		42.9	28.6	42.9	21.4	35.7	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	0.0	7.1	0.0	21.4	0.0	14.3	42.9

問 29

あなたは、マイナンバーカードを持っていますか。または交付申請しましたか。
(1つに○印)

マイナンバーカードを取得(交付申請中)については、「持っているまたは交付申請中」が48.6%と最も高く、次いで、「持っていないし、取得する予定もない」(27.7%)、「持っていないが、取得する予定である」(17.3%)の順となっています。また、「持っているまたは交付申請中」(48.6%)と「持っていないが、取得する予定である」(17.3%)を合わせた『取得する』は65.9%と7割弱となっています。

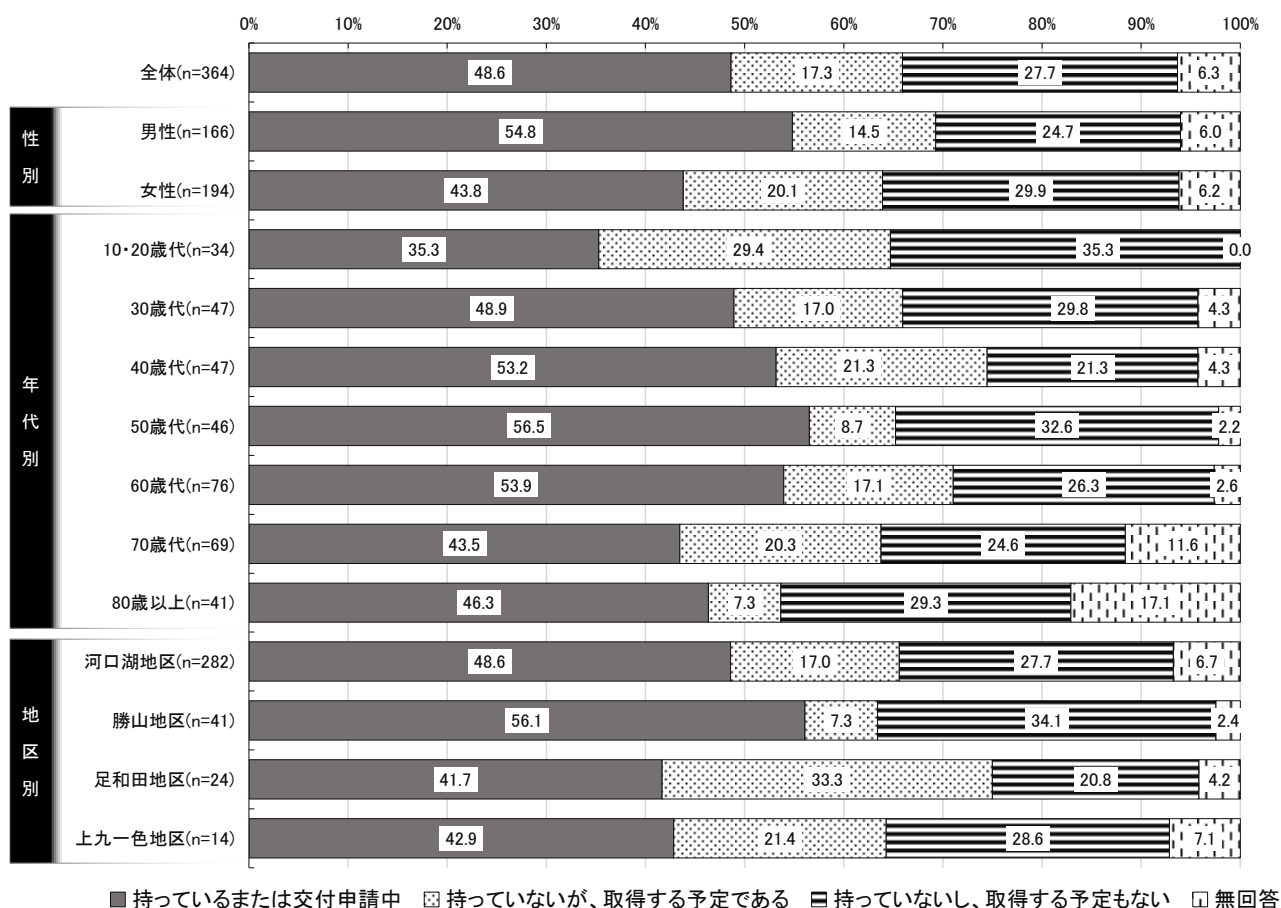


・属性の分析

性別でみると、男性のほうが「持っているまたは交付申請中」が女性より高くなっています。

年代別でみると、10・20 歳代では「持っているまたは交付申請中」と「持っていないし、取得する予定もない」が同率となっています。

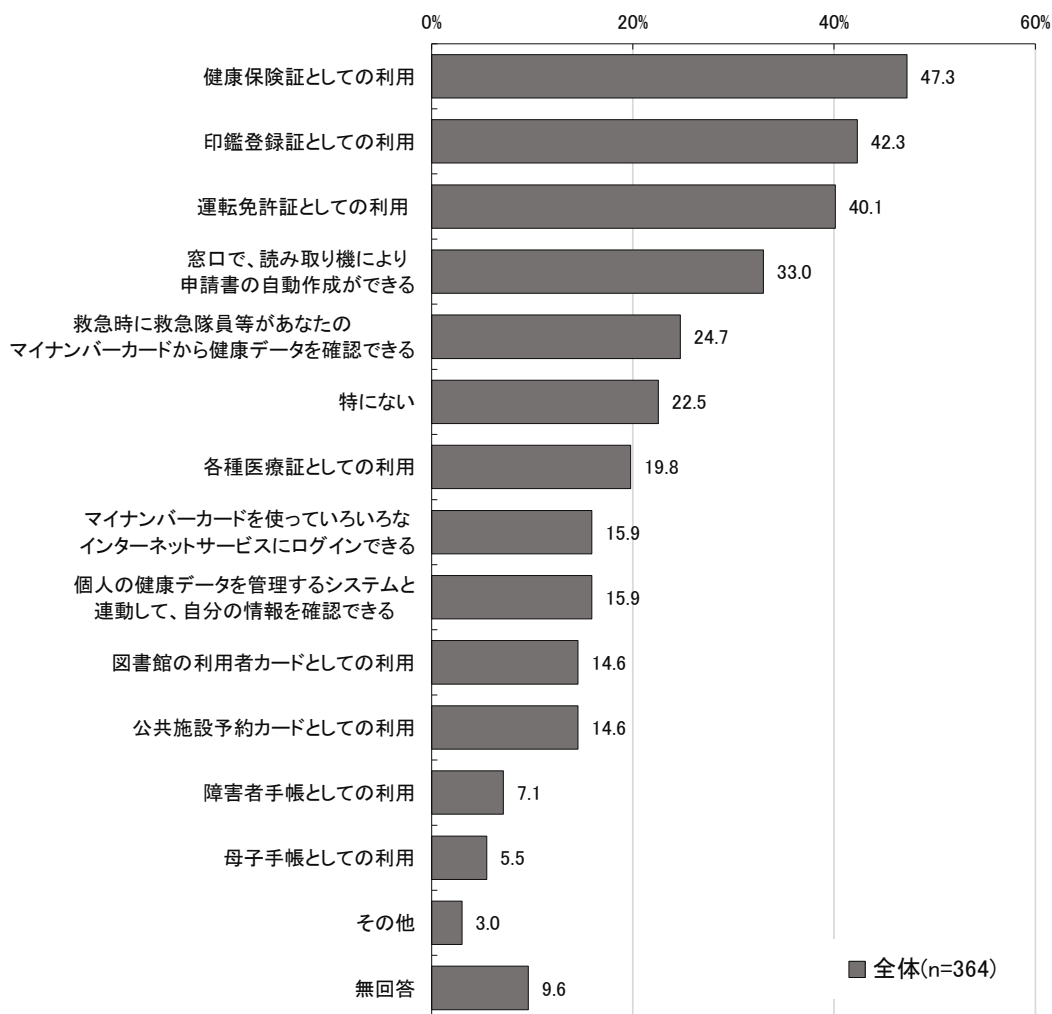
地区別でみると、勝山地区では「持っているまたは交付申請中」が他の地区に比べて高くなっています。



問 30

あなたは、マイナンバーカードで何ができることに期待しますか。
(○印はいくつでも)

マイナンバーカードへの期待については、「健康保険証としての利用」が 47.3%と最も高く、次いで、「印鑑登録証としての利用」(42.3%)、「運転免許証としての利用」(40.1%)、「窓口で、読み取り機により申請書の自動作成ができる」(33.0%)、「救急時に救急隊員等があなたのマイナンバーカードから健康データを確認できる」(24.7%)などの順となっています。



[その他]

選挙投票／全てができるならそれが良い／全部／わからない／期待していない／手続きがわかりやすい様に考えてください。／保険証があれば必要がないと思う／個人情報があからさまになる

・属性の分析

性別でみると、男性は「マイナンバーカードを使っていろいろなインターネットサービスにログインできる」と「母子手帳としての利用」以外の項目で女性より高くなっています。

年代別でみると、30 歳以下では「窓口で、読み取り機により申請書の自動作成ができる」、50 歳代では「印鑑登録証としての利用」が最も高くなっています。また、40 歳代では、「運転免許証としての利用」、50 歳代では「マイナンバーカードを使っていろいろなインターネットサービスにログインできる」と「公共施設予約カードとしての利用」が他の年代に比べて高くなっています。

世帯構成別でみると、「印鑑登録証としての利用」が一人暮らしでは最も高く、親・子・孫（3世代）では「健康保険証としての利用」と同率で最も高くなっています。また、一人暮らしでは「マイナンバーカードを使っていろいろなインターネットサービスにログインできる」と「個人の健康データを管理するシステムと連動して、自分の情報を確認できる」が他の世帯に比べて高くなっています。

職業別でみると、農林業（専業）では、「運転免許証としての利用」と「窓口で、読み取り機により申請書の自動作成ができる」が同率、商業（小売、卸売、飲食）では、「運転免許証としての利用」、運輸・通信業では「窓口で、読み取り機により申請書の自動作成ができる」、学生では、「マイナンバーカードを使っていろいろなインターネットサービスにログインできる」が最も高くなっています。

居住年数別でみると、3年未満では「運転免許証としての利用」、3年以上 10 年未満では「運転免許証としての利用」と「印鑑登録証としての利用」が「健康保険証としての利用」と同率で最も高くなっています。

地区別でみると、勝山地区と上九一色地区では「印鑑登録証としての利用」が最も高くなっており、勝山地区では「マイナンバーカードを使っていろいろなインターネットサービスにログインできる」と「障害者手帳としての利用」が、足和田地区では「運転免許証としての利用」と「図書館の利用者カードとしての利用」が他の地区と比べて高くなっています。

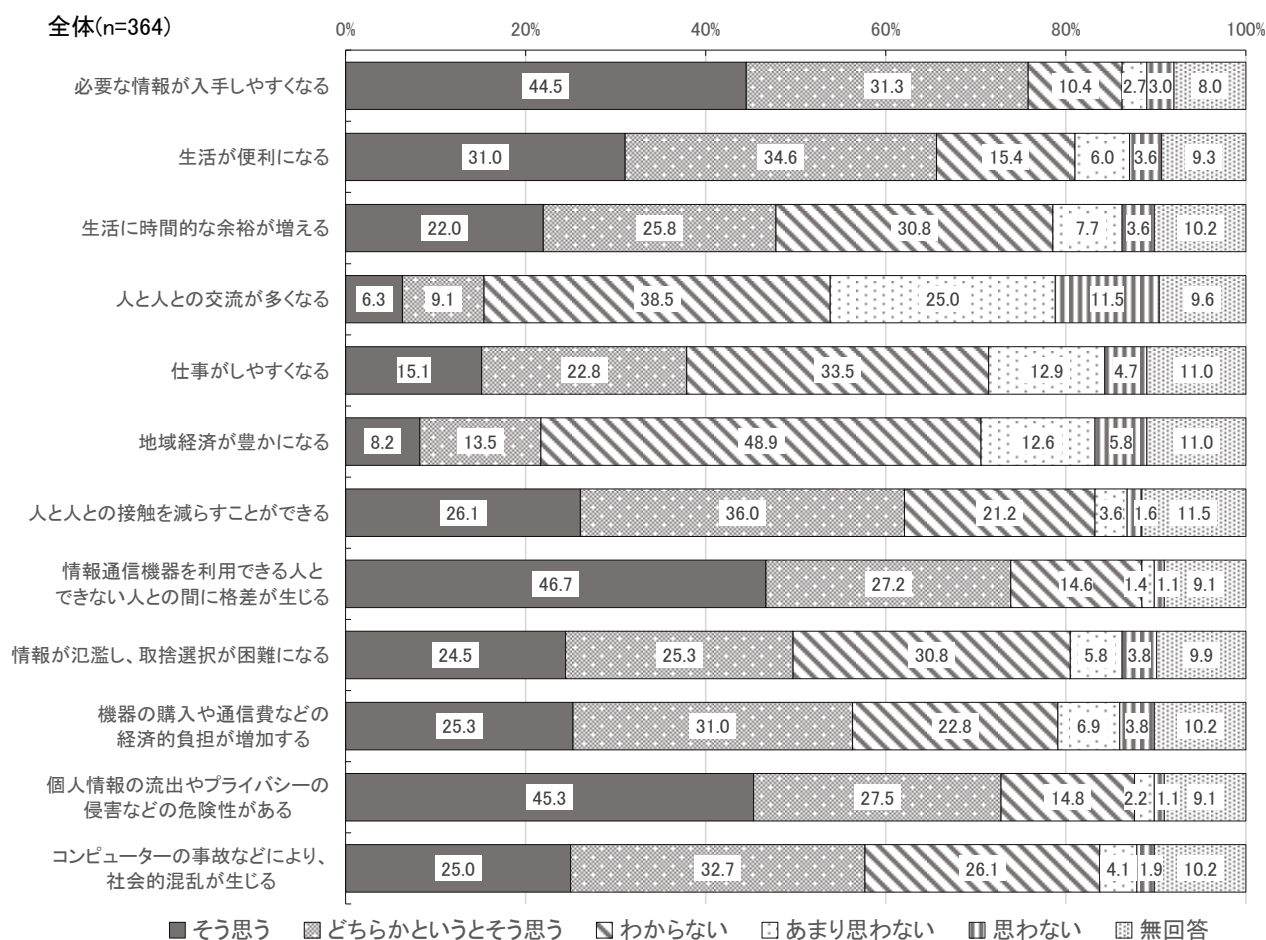
人		%	マイナンバーカードを使っていろいろなインターネットサービスにログインできる	運転免許証としての利用	健康保険証としての利用	印鑑登録証としての利用	図書館の利用者カードとしての利用	公共施設予約カードとしての利用	障害者手帳としての利用	各種医療証としての利用	母子手帳としての利用	個人の健康データを管理するシステムと連動して自分の情報を確認できる	窓口で、読み取り機により申請書の自動作成ができる	救急時に救急隊員等があなたのマイナンバーカードから健康データを確認できる	特にない	その他	無回答
全体(n=364)			15.9	40.1	47.3	42.3	14.6	14.6	7.1	19.8	5.5	15.9	33.0	24.7	22.5	3.0	9.6
性別	男性(n=166)		15.7	45.2	53.6	47.0	16.3	18.1	9.0	24.1	3.6	21.7	34.9	27.7	21.7	3.0	7.2
	女性(n=194)		16.5	36.6	42.3	38.7	13.4	11.9	5.7	16.5	7.2	11.3	32.0	22.2	22.7	3.1	11.3
年代別	10・20 歳代(n=34)		23.5	38.2	38.2	32.4	14.7	17.6	2.9	20.6	8.8	26.5	47.1	17.6	20.6	2.9	0.0
	30 歳代(n=47)		17.0	38.3	36.2	36.2	12.8	6.4	4.3	12.8	17.0	14.9	40.4	25.5	25.5	2.1	4.3
	40 歳代(n=47)		17.0	53.2	55.3	53.2	19.1	14.9	10.6	21.3	10.6	10.6	36.2	23.4	21.3	6.4	2.1
	50 歳代(n=46)		30.4	39.1	43.5	47.8	21.7	26.1	10.9	21.7	2.2	21.7	30.4	30.4	26.1	0.0	13.0
	60 歳代(n=76)		7.9	42.1	55.3	42.1	15.8	11.8	10.5	22.4	3.9	14.5	31.6	23.7	19.7	1.3	6.6
	70 歳代(n=69)		11.6	39.1	55.1	46.4	10.1	15.9	4.3	20.3	0.0	10.1	30.4	26.1	20.3	5.8	13.0
	80 歳以上(n=41)		14.6	29.3	39.0	36.6	7.3	9.8	4.9	19.5	0.0	22.0	19.5	26.8	24.4	2.4	26.8
世帯構成別	一人暮らし(n=35)		25.7	34.3	40.0	45.7	14.3	20.0	0.0	20.0	2.9	28.6	34.3	20.0	11.4	0.0	25.7
	夫婦(子どもなし)(n=90)		12.2	41.1	57.8	44.4	14.4	14.4	8.9	23.3	4.4	14.4	37.8	31.1	17.8	4.4	7.8
	親と子(2世代)(n=165)		17.6	40.0	43.6	39.4	16.4	15.8	9.1	21.2	7.3	17.0	33.9	26.1	27.9	2.4	6.1
	親・子・孫(3世代)(n=52)		15.4	44.2	46.2	46.2	11.5	11.5	5.8	5.8	3.8	11.5	19.2	19.2	23.1	5.8	9.6
	その他(n=17)		5.9	47.1	58.8	52.9	11.8	5.9	0.0	35.3	5.9	5.9	47.1	11.8	11.8	0.0	5.9
職業別	農林業(専業)(n=4)		25.0	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0
	製造業(n=44)		22.7	50.0	63.6	59.1	20.5	20.5	6.8	20.5	4.5	18.2	40.9	27.3	22.7	0.0	4.5
	建設業(n=14)		7.1	42.9	57.1	50.0	21.4	21.4	7.1	21.4	7.1	7.1	21.4	28.6	21.4	0.0	14.3
	商業(小売、卸売、飲食)(n=31)		12.9	45.2	41.9	41.9	22.6	12.9	6.5	9.7	12.9	12.9	38.7	25.8	32.3	0.0	6.5
	運輸・通信業(n=5)		20.0	60.0	20.0	40.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	80.0	40.0	0.0	0.0	0.0
	サービス業(公務を除く)(n=60)		13.3	33.3	36.7	38.3	11.7	10.0	5.0	21.7	1.7	20.0	36.7	30.0	23.3	6.7	8.3
	公務員(公社を含む)(n=21)		23.8	38.1	52.4	47.6	14.3	33.3	4.8	38.1	9.5	28.6	33.3	19.0	14.3	4.8	4.8
	家事(n=34)		14.7	38.2	52.9	47.1	17.6	17.6	14.7	23.5	17.6	17.6	47.1	41.2	5.9	5.9	8.8
	学生(n=11)		45.5	27.3	18.2	9.1	18.2	18.2	9.1	18.2	9.1	27.3	27.3	18.2	27.3	0.0	0.0
	無職(n=89)		11.2	40.4	49.4	39.3	10.1	13.5	7.9	21.3	0.0	12.4	22.5	18.0	28.1	2.2	16.9
	その他(n=46)		17.4	41.3	52.2	43.5	13.0	6.5	6.5	15.2	6.5	10.9	28.3	19.6	21.7	2.2	4.3
居住年数別	3年未満(n=38)		21.1	47.4	47.4	42.1	15.8	15.8	7.9	23.7	13.2	18.4	42.1	23.7	18.4	2.6	2.6
	3年以上 10 年未満(n=51)		17.6	51.0	51.0	51.0	17.6	13.7	3.9	21.6	7.8	21.6	39.2	27.5	15.7	5.9	3.9
	10 年以上 20 年未満(n=53)		24.5	24.5	39.6	35.8	15.1	15.1	11.3	17.0	11.3	13.2	34.0	20.8	28.3	3.8	5.7
	20 年以上(n=218)		12.4	40.4	48.6	42.2	13.8	14.7	6.9	19.7	2.3	15.1	30.3	25.7	23.4	2.3	12.4
地区別	河口湖地区(n=282)		14.2	40.8	47.9	42.2	14.5	14.9	6.7	20.2	5.0	15.2	33.0	23.4	22.3	3.2	9.6
	勝山地区(n=41)		26.8	34.1	48.8	41.5	9.8	14.6	17.1	22.0	12.2	19.5	34.1	31.7	19.5	2.4	4.9
	足和田地区(n=24)		16.7	50.0	50.0	54.2	29.2	12.5	0.0	20.8	0.0	16.7	37.5	33.3	29.2	4.2	8.3
	上九一色地区(n=14)		21.4	28.6	28.6	35.7	7.1	14.3	0.0	7.1	7.1	21.4	28.6	21.4	21.4	0.0	21.4

問 31

あなたは、デジタル化が進展することによって生じる影響について、どのようにお考えですか。（それぞれの項目ごとに1つずつ○印）

デジタル化進展による影響については、「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた『そう思う』では「必要な情報が入手しやすくなる」が 75.8%と最も高く、次いで、「情報通信機器を利用できる人とできない人との間に格差が生じる」(73.9%)、「個人情報の流出やプライバシーの侵害などの危険性がある」(72.8%)などの順となっています。

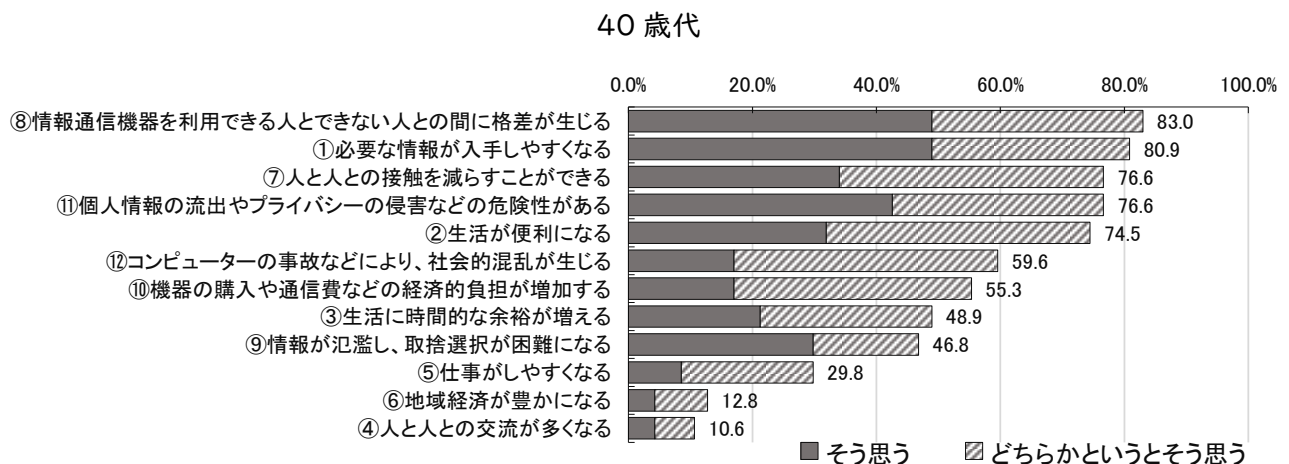
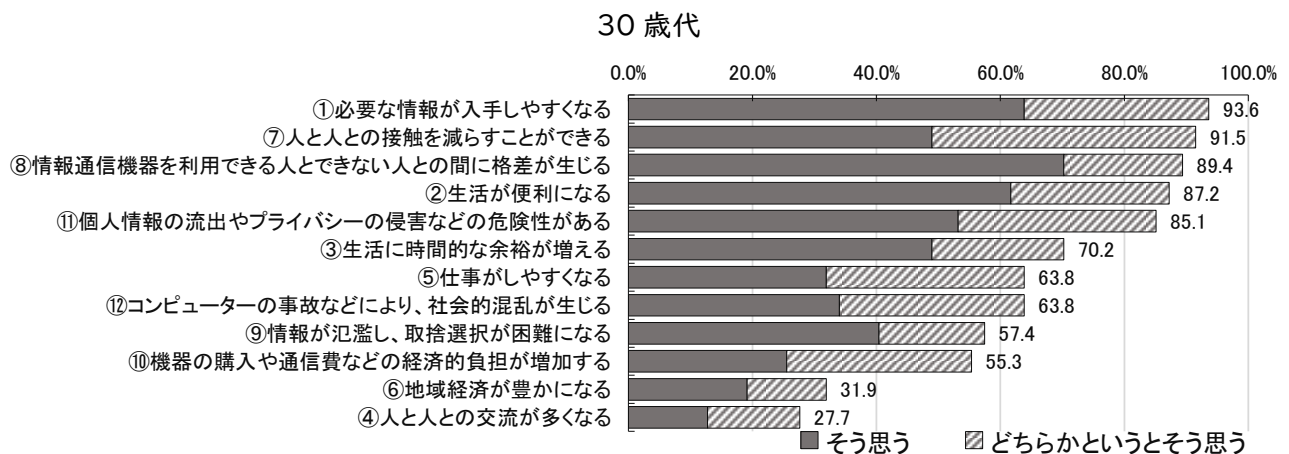
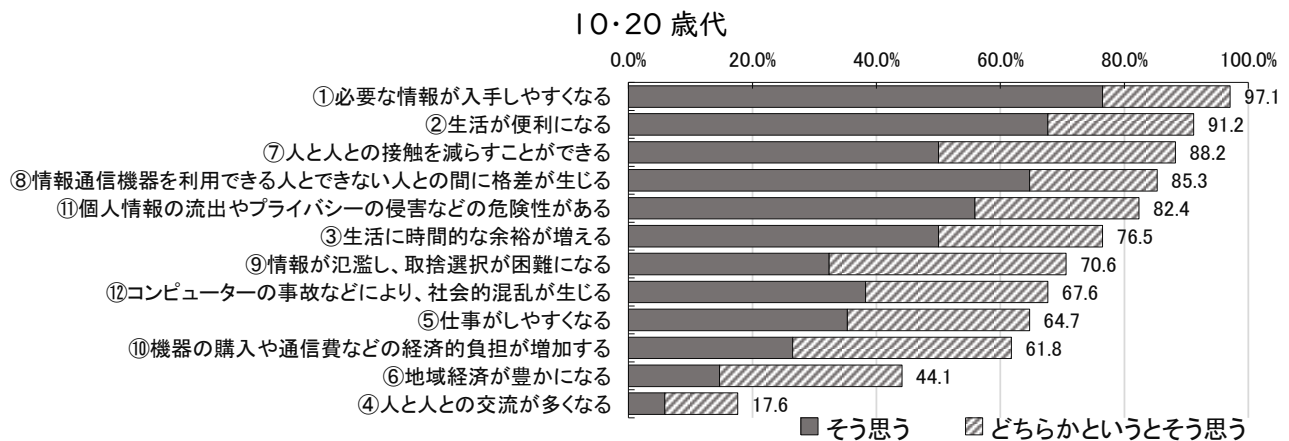
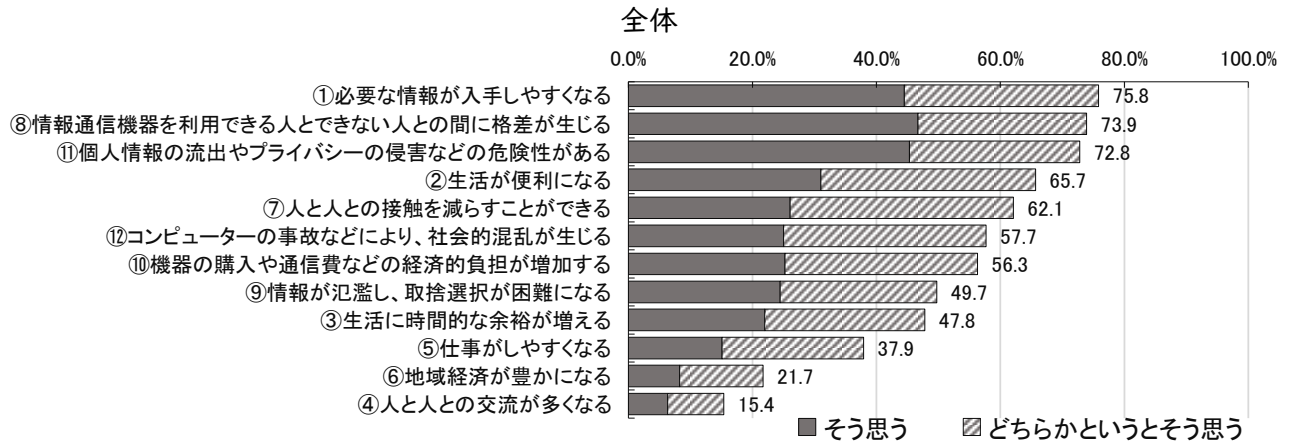
一方、「思わない」と「あまり思わない」を合わせた『思わない』では「人と人との交流が多くなる」が 36.5%と最も高く、次いで、「地域経済が豊かになる」(18.4%)、「仕事がいやすくなる」(17.6%)などの順となっています。



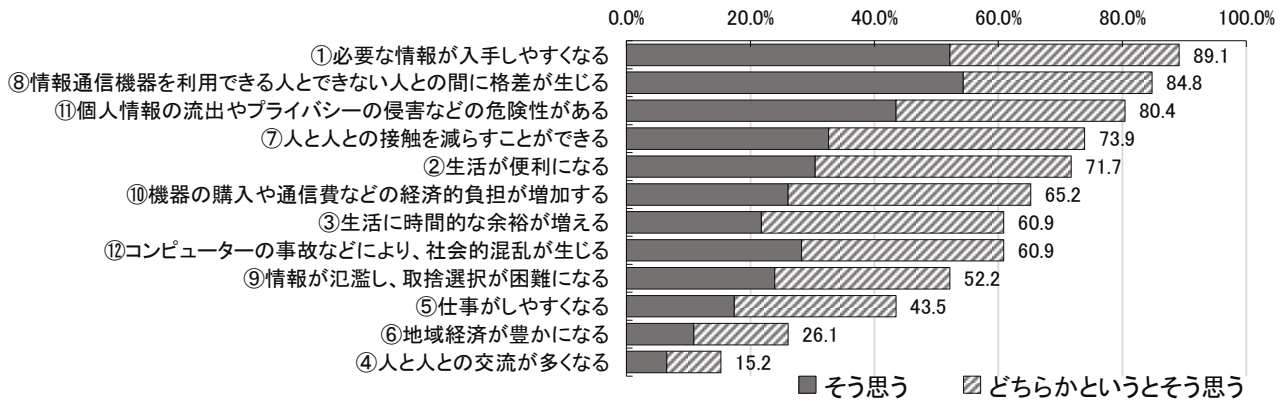
[その他]

人との会話の機会が減少する／老人には？めんどろ／デジタル化は確かに便利だと思いますが、高齢者にはなかなか使いこなすことができません。利用する場合、その都度教えて頂けると有難いです。／運動不足による健康被害が増加する／何事も進展する事によって良い事もあれば悪い事もある。SNSがその典型。／覚えきれない／デジタル化が私にはまだよく理解できません／なし(2)

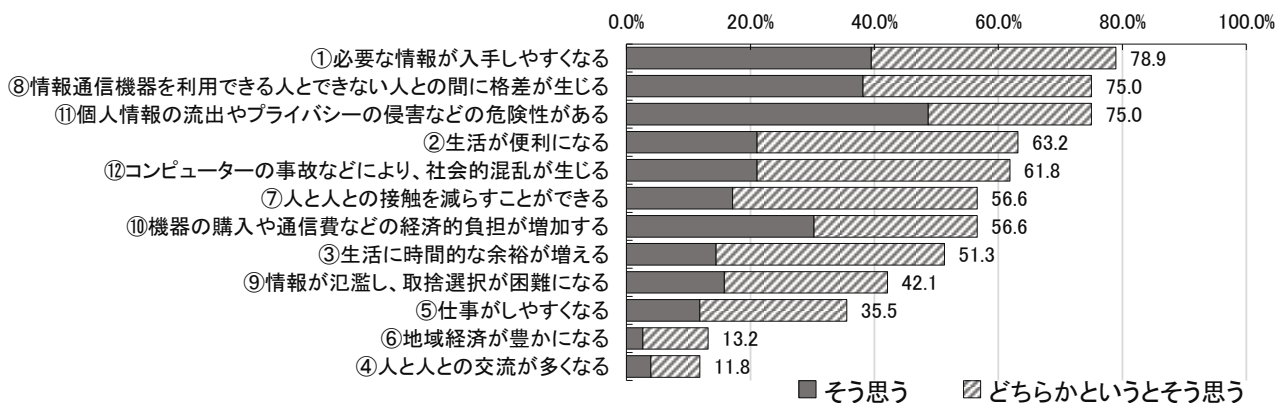
・属性の分析 年代別でみると、デジタル化によって生じる影響は、次のようになっています。



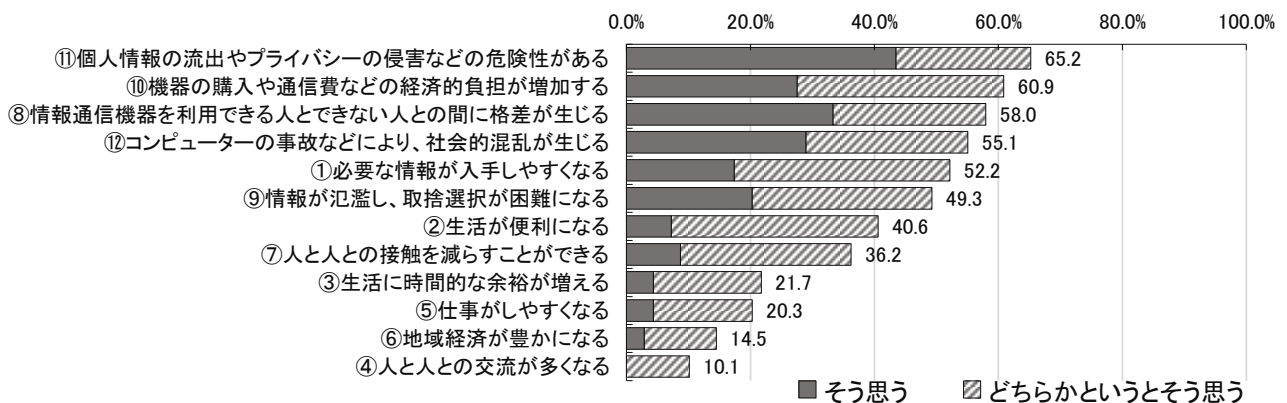
50 歳代



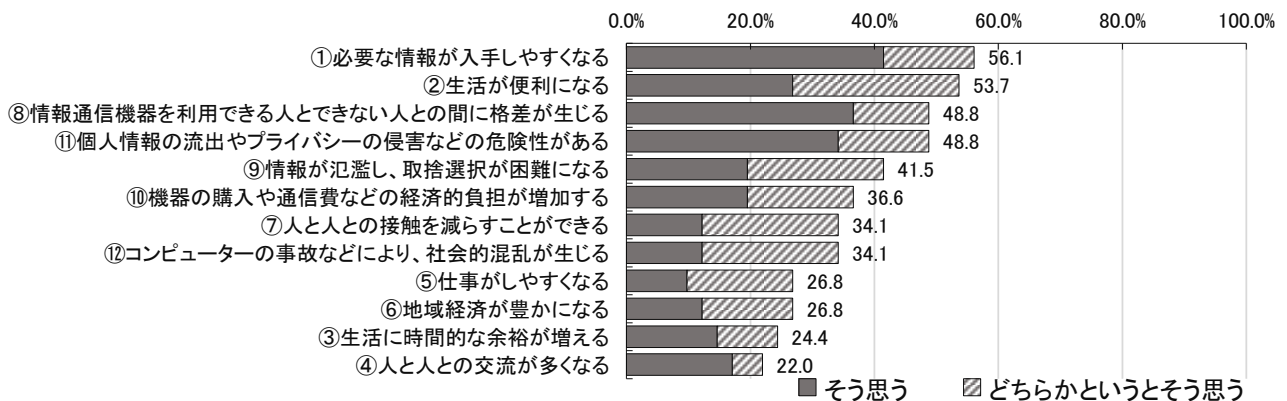
60 歳代



70 歳代



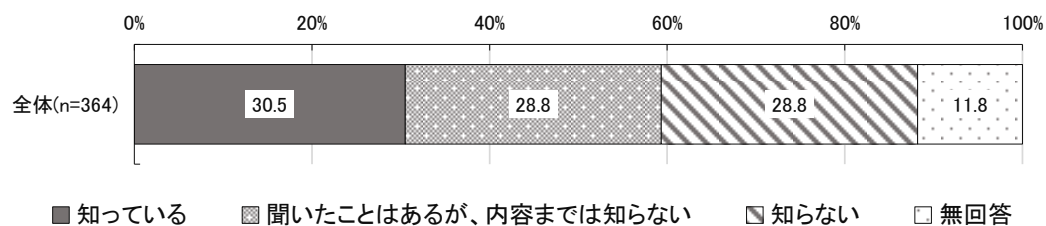
80 歳以上



9 SDGsについて

問 32 あなたは、SDGsをご存じですか。(1つに○印)

SDGsについては、「知っている」が30.5%と最も高く、次いで、「聞いたことはあるが、内容までは知らない」と「知らない」が同率で28.8%となっています。



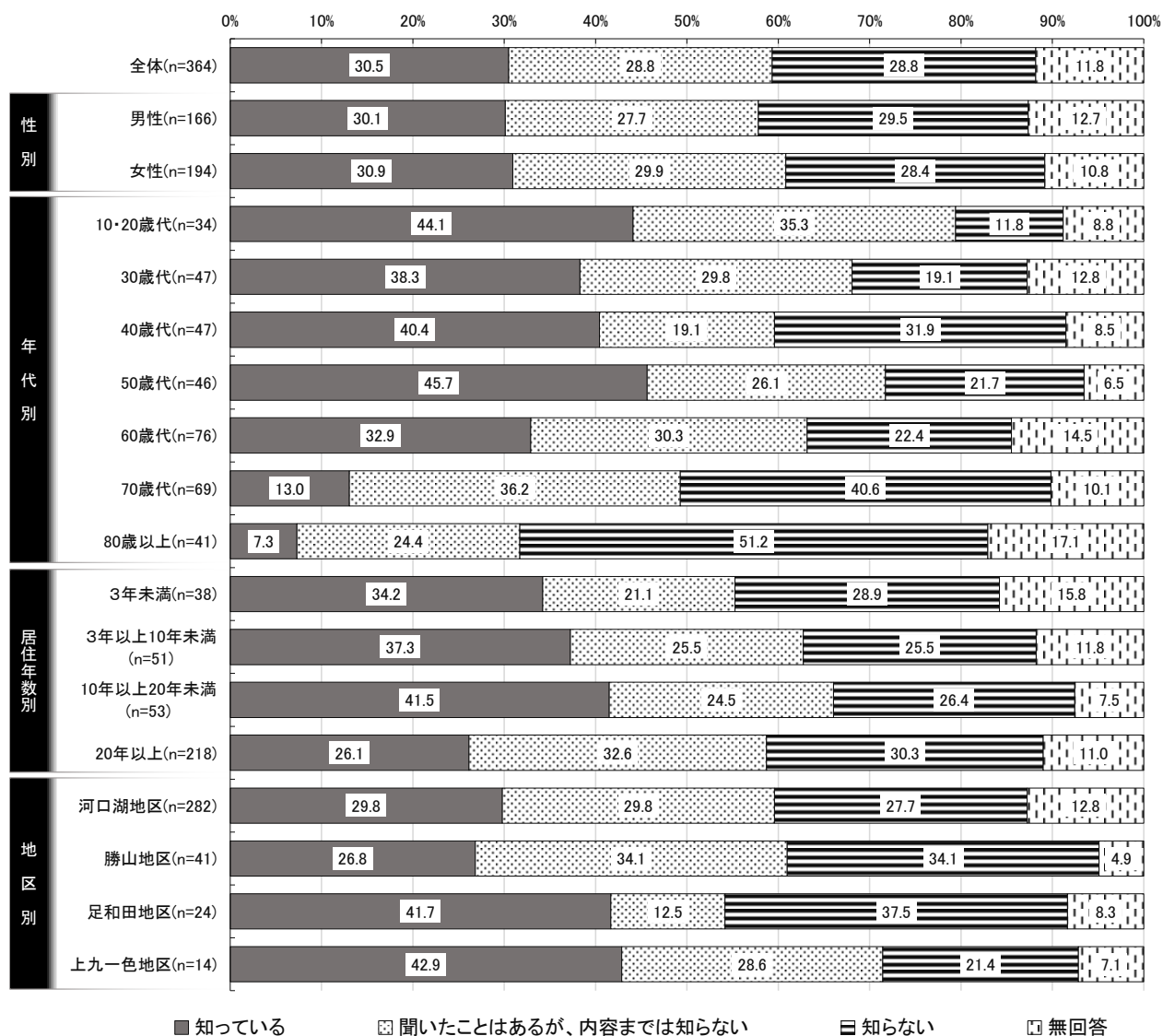
・属性の分析

性別による大きな違いはみられませんでした。

年代別でみると、50 歳以下では「知っている」が4割前後、70 歳以上では「知らない」が4割以上となっています。

居住年数別でみると、20 年以上では「知っている」が他の居住年数に比べて低くなっています。

地区別でみると、足和田地区と上九一色地区では「知っている」他の地区より高くなっています。



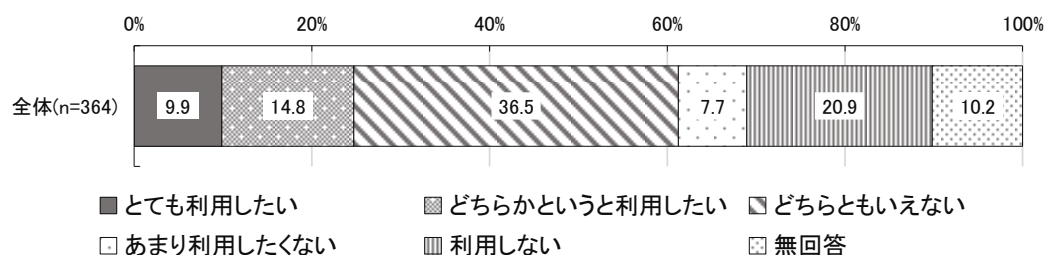
10 まちの公共交通について

問 33

町がデマンド交通（定時・定路線ではなく事前に電話予約をし、乗り合わせて家から目的地へ行く交通）を導入したら利用したいと思いますか。（1つに○印）

デマンド交通の利用については、「とても利用したい」（9.9%）と「どちらかという利用したい」（14.8%）を合わせた『利用したい』は 24.7%となっています。

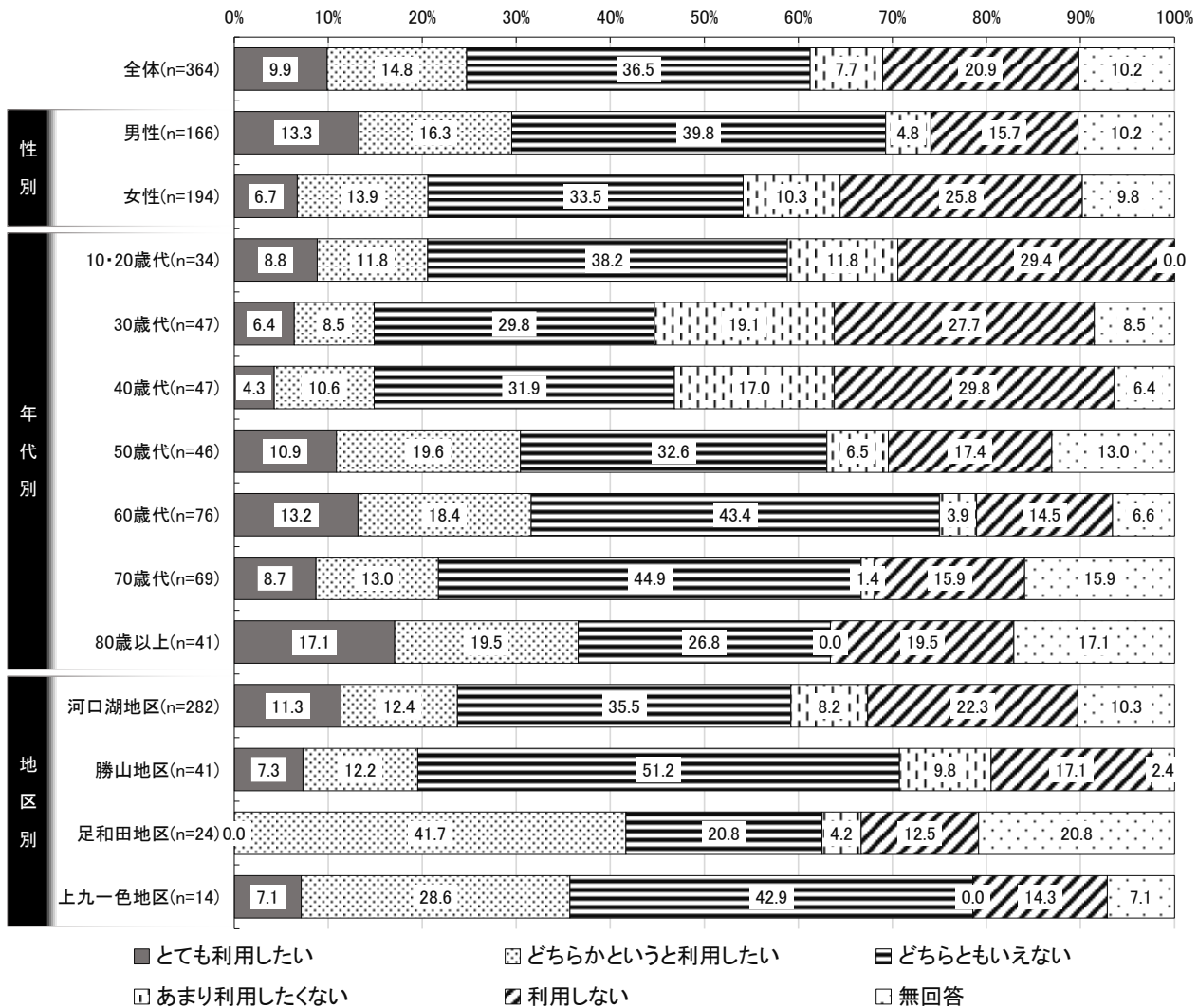
一方、「あまり利用したくない」（7.7%）と「利用しない」（20.9%）を合わせた『利用しない』は 28.6%となっています。



・属性の分析

性別でみると、『利用したい』は、女性より男性が高く、『利用しない』は女性が男性より高くなっています。

年代別でみると、『利用したい』では80歳以上が最も高く、30歳代と40歳代が低くなっており、40歳以下では『利用しない』がおよそ3割となっています。



問 33 で「1.とても利用したい」または「2.どちらかという利用したい」に○をつけた（デマンド交通を利用したい）方におたずねします。

問 34 あなたは、デマンド交通を利用する場合、目的地はどこですか。
(行き先となる施設名をご記入ください)

デマンド交通を利用する場合の目的地については、148件ありました。その中で＜商業施設・買い物＞にすることが49件と最も多く、次いで＜病院＞にすること(45件)、＜駅＞にすること(21件)、＜町役場＞にすること(6件)、＜学校＞にすること(4件)、＜その他＞(17件)となっています。

今後の利用について、6件ありました。

■目的地については、以下のものがありました。

＜商業施設・買い物＞にすること	49 件
買い物(9)、スーパー(7)、オギノ(6)、フォレストモール(3)、BELL(2)、イオンモール(2)、スーパーマーケット(2)、ベル(2)、食料品店、買い物(スーパー、薬局)、大型スーパー、買い物施設、食品購入(日用品)店、買物、総合商業施設、薬局、スーパー等、お店、スーパーなどの商業施設、商店、ベルなどの店、薬店、河口湖周辺のスーパー等、商業施設	
＜病院＞にすること	45 件
病院(29)、日赤病院(3)、日赤(2)、市立病院、病院(健診等、車の運転を控えるべき場合)、富士吉田市立病院、赤十字病院、病院(日赤)、病院(日赤病院)、病院タクシー、富士吉田市立病院、最寄りの病院、山梨日赤病院、山梨赤十字病院	
＜駅＞にすること	21 件
河口湖駅(11)、駅(7)、東京(新宿駅)や新幹線駅(新富士など)、富士山駅、甲府駅	
＜町役場＞にすること	6 件
役場(3)、町役場(3)	
＜学校＞にすること	4 件
船津小学校、子供の学校、各学校(小中高)、吉田高校	
＜その他＞	17 件
病院、ショッピングセンター、(交通機関がない所)、船津、食事(アルコール)、ハイランドバスターミナル、町外、飲食店、その他、介護施設、図書館、会社、中央公民館、外出、町民体育館、各観光施設、富士吉田、観光地等、健康プラザ	

今後の利用

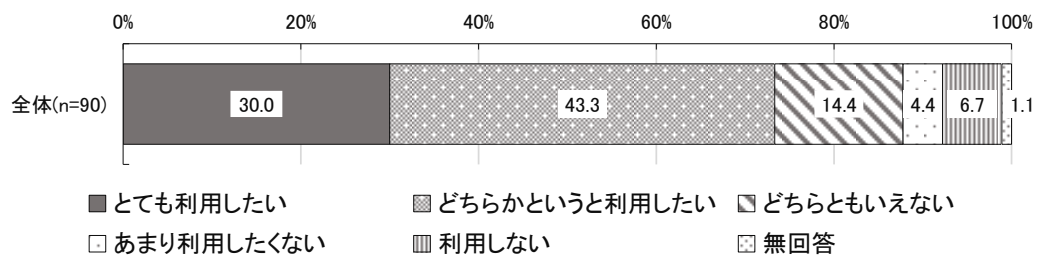
- ・将来的に免許返納した後はスーパーに行く時に利用したいと思います。
- ・病院、スーパー(老後に利用したい)
- ・病院(今は必要ないが、いずれは)
- ・今は運転してどこへでも行く事ができますが、運転ができなくなった場合、病院、買い物、美容院等に利用したいと思います。
- ・今のところはわかりませんが、いずれ車の運転ができなくなった時、病院などに行く場合
- ・今は利用しなくて済むが、将来もっと年齢を重ね、家族にも頼めなくなった場合、病院や買い物等にこのデマンド交通の導入は高齢者にとっては良い手段だと思う。

問 33 で「1.とても利用したい」または「2.どちらかという利用したい」に○をつけた（デマンド交通を利用したい）方におたずねします。

問 35 あなたは、デマンド交通を片道300円で導入した場合、利用しますか。
(1つに○印)

デマンド交通を片道300円で導入した場合の利用については、「とても利用したい」(30.0%)と「どちらかという利用したい」(43.3%)を合わせた『利用したい』は73.3%となっています。

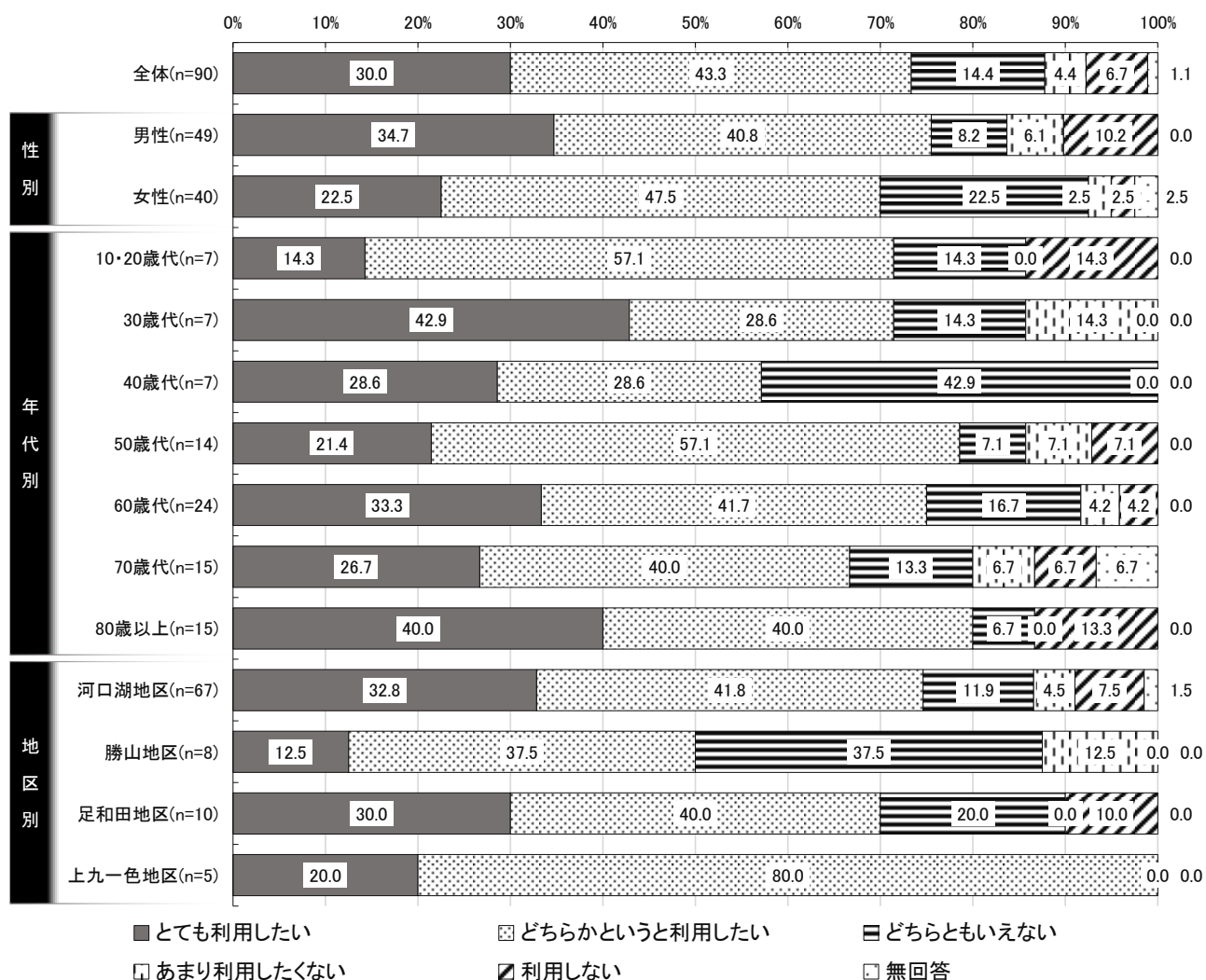
一方、「あまり利用したくない」(4.4%)と「利用しない」(6.7%)を合わせた『利用しない』は11.1%となっています。



・属性の分析

性別でみると、『利用したい』、『利用しない』ともに男性のほうが女性より高くなっています。

年代別でみると、『利用したい』が40歳代では57.2%、70歳代では66.7%ですが、他の年代では7割以上となっています。



自由意見

◎問 36 現在、もしくは将来に向けて町政に望むことや、まちづくりに関するご意見・ご提案等がありましたら、ご自由にご記入ください。

現在もしくは将来に向けて町の行政に望むことやまちづくりについてのご希望やご意見等は、146件ありました。その中で＜道路・交通・公園＞にすることが24件と最も多く、次いで＜行政＞にすること(22件)、＜環境・景観＞にすること(13件)、＜まちづくり＞にすること(10件)、＜子育て支援＞にすることと＜店舗・施設＞にすることと＜新型コロナウイルス感染症＞にすること(同数で8件)、＜観光＞にすること(7件)、＜高齢者支援＞にすることと＜防災・防犯＞にすること(同数で5件)、その他(36件)などとなっています。

複数のご意見は、分割記載・集約などしています。

＜道路・交通・公園＞にすること	24 件
道路整備をして欲しい。／幹線道路への接続の際、渋滞が多いので、右折レーンの整備をお願いします。／富士ヶ嶺地区は、子供が高等学校へ通うようになると、毎朝夕の送迎が必要になるのですが、仕事の事もありなかなかどうするか考えどころです。何か良い交通手段があるとうれしいです。(親ではなく子供が自分で登下校できる様な)／山中湖を訪れるつど、湖を取り囲むように作られた自転車専用の道路がうらやましく思う。ランニングも走りやすく健康面でも良い方向に向かうのではないかと感じる。／道路などのインフラ整備を図って欲しい。古く狭い道路が多く、生活が不便です。／河口湖ミュージアム館前の歩道に草が生い茂り歩きづらい。観光客の方が来ても、がっかりすると思います。／雨が降ると道路に穴が開き、運転しづらくなるので、整備して欲しい。／冬は雪かきが大変です。狭い道路も雪かきをお願いしたいです。雪かき機の購入の補助金をお願いしたいです。／河口湖駅から河口湖郵便局、保育園、ショッピングセンターを経由するようなバス路線があると助かります。船津地区だと河口湖駅まで徒歩20～30分程度かかり、雨天の時はタクシーを使う必要があり、不便です。また、東恋路交差点の改良を望みます。(観光シーズンの渋滞、信号機を時差式にして解消するなど)／以前住んでいた所で、デマンドタクシーがあり、車が無い人(高齢者や高校生)などが利用しており便利でした。ぜひ導入してください。／まちがデマンド交通をなるべく早く導入して欲しい。／自動車免許の返納後、デマンド交通を利用したいと思います。／船津は特にまちが広いことから、小学校や中学校までの距離が遠くなる事や、通学の安全面も踏まえてスクールバスなどがあると嬉しい。／歩いて行ける距離に公園を作って欲しい。／子供が歩いて行けるような公園が増えると良いと思う。／フォレストモール周辺の住宅の中に、小さくても良いので公園を作って欲しい。等	
＜行政＞にすること	22 件
官民問わず、デジタルトランスフォーメーションの導入は避けられないものとなっております。より良い暮らしのための行政を望みます。／町の HP で、町民の関心事が載っていない。／町役場でのオンライン業務を増やすことを強く進めてください。高齢療養費の支払いに3カ月強かかるのは問題です。全国に先駆けて当町で是非とも実施してください。マイナンバーカードを活用すれば、すぐにできるはずです。／町内アナウンスが聞こえにくい。／弱い立場の人に目を向ける行政を。子供や高齢者(一人暮らし)など。／町役場へお願い。苦情等の情報が入ったら、直ちに対応して頂きたい。「すぐやる課」の設立を願う。／町民のために頑張ってもらいたい。／町民の方々から様々な声が飛び交っていると思いますが、より良いまちづくりのために負けずに頑張ってください。／商品券ありがとうございました。取扱店、もう少し見やすいと助かります。／選挙が近いが、女性議員の候補者が一人しかいない事はとても発見的とは思えない。コロナ禍とは言え、富士吉田市に比べ町政は停滞しているように見えます。何かもっと目に見える形でアクションを起こして欲しい。／また特に議会においては、若者の建設的な意見を取り上げ、熟年者はそれをさらに援助できる様な人材を望みます。等	

＜環境・景観＞に関すること	13 件
観光に力を入れるのは良いことだと思いますが、もう少し住民が住みやすい環境になって欲しいです。／ゴミの出し場所、遠い狭い所に出す件数が多い。ゴミ出しに気を遣う。／どこのまちよりも、プラスチックごみ等を進んで集め、環境を守るまちを作って欲しいです。／今後は町民として、ゴミ問題や環境問題にもっと力を入れて取り組みたい。／河口湖が汚れているので、保護に力を入れて頂きたい。／リサイクルボックスを設置して欲しい。／世界遺産に恥じない景観、電柱、のぼり旗等々、湖岸の整理、富士山をいかに美しく見せるのか？／自然が豊かで素晴らしいので、未来の子供達にも残して欲しい。／年々、シカ、イノシシ、サルが増え、被害が多く、安心して農業ができない状況である。河口湖全体に広がっている定期的な駆除を計画的にお願いします。大石地区は特に被害が多く深刻です。／ちびっこ広場は自然豊かでとても良いが、スズメバチがよく飛んでいるので、緑化しすぎてしまうのも、子供が遊ぶ場所としては危険な部分もあるのではと感じた。 等	
＜まちづくり＞に関すること	10 件
観光だけでなく、住んでいる人に優しいまちになる事を希望します／子供達や高齢者が暮らしやすいまちづくりを望みます。素晴らしい自然環境を守りながら、観光、農業などが発展していく事を願っているのですが。／安心して住み続ける事の出来る環境作りに努力して頂ける事を望みます。それが可能になる事により、若者（特に子供達）の住民の増加があり、活気あふれる地域になっていくのではないかと？／マックスバリュの南を町にして欲しい。小立方面だけしていませんので、町が潤うと思います。／将来、富士河口湖町が日本一住み良いまちづくりをして、活気のある、そして人口が増える様にして頂きたいと思います。／積極的でクリーンな行政活動。魅力的なまちづくり。／介護保険料や住民税が高すぎる。算定根拠もわからずに高齢者の負担が多すぎると感じ、将来に不安を感じる（年寄りいじめ）。そのくせ、花火打ち上げ等、観光の本質を取り違えたまちのアピールが多いのでは、との疑問も払拭できない。「住みやすいまち」その誇りを忘れないで欲しい。 等	
＜子育て支援＞に関すること	8 件
富士吉田では、ファミサポを利用した際に半額補助が出るのに対し、河口湖町では補助が出ない。仕事や緊急時に使用したいが（特に仕事の時、子供の長期休み）、働いても働いた分ファミサポにお金がかかり、意味がない。／未満児が入れる施設を増やして欲しい。／子育てしたいと思えるまちにして欲しい。観光客中心すぎると思う。／子育てと会社勤めが安心してできる環境があるといいなと思います。／子供がまだ幼いので、河口湖独自のオムツ手当等は大変助かっている。ただ、3歳未満の子供を預けられる保育所が少ないので、増やして欲しい。またその場合の保育料も無償にするか、料金を下げてもらえたら家庭の負担も減り、有難い。保育所の増設と保育料の無償化等を希望する。／子育て支援、ひとり親世帯への支援が不十分な気がします。／子育て世代への援助（保育園の確保など）。／孫の育児を見ていて、子育て支援は昔と比べて充実しており、スタッフも素晴らしいと実感した。	
＜店舗・施設＞に関すること	8 件
不便な所には、移動スーパー等が来てくれると有難い。／映画館など大人も子供も楽しめる施設が町内に欲しい。／有料老人ホームの建設。小立地区に郵便局の新設（フォレストモールの中でも可）／商業施設（スーパー、ドラックストア）などが船津地区に集中しています。自然豊かだったので、河口地区に移住してきましたが、河口地区、大石地区には 1 つもありません。将来、年を取った時に生活していけるかととても心配です。車の免許、自動車がないと動くことができません。河口地区の周辺にスーパーやドラックストアが欲しいです。／現在、コロナウイルス感染拡大防止のため、生涯学習館に使用が限られているが、受験勉強のためにも、可能であれば利用できる様にして欲しい。 等	

<新型コロナウイルス感染症>に関すること	8 件
コロナ禍で生活が大変な町民がいます。町民の声を聴く機会などがあると良いと思います。／コロナ対策において、富士吉田市と比べて支援が少なすぎる(金融等)。／コロナ対策も重要ですが、地域の住民交流のあり方も考えるべきだと思う。／コロナ禍で生活が苦しい。何とかして欲しい。／コロナ禍で外出ができないので、地元の良さをみつきたいが、「整備すれば素晴らしい」という事ばかりが目につく。湖畔の遊歩道の整備などもしっかりやってくれると良いと思う。中途半端なので残念だ。／くらし応援商品券セットが非常に有難いです。／新型コロナウイルスワクチン接種の推進のクーポン券、地域券を考えてください。 等	
<観光>に関すること	7 件
県外から観光に来る人のマナー。コロナがまだ終息していないので、対策をしてもらいたい。地元の人安心して買い物や飲食店を利用できるように。／民泊などが増え、うるさい。夜なのにうるさい。ゴミが気になる。花火など怖い(火事が心配)。／最近、町内に管理人のいない宿泊施設ができているが、管理人がいない事を良しとして、迷惑行為(夜間遅い時間に来てバーベキューを始めたり、花火をしたり、大騒ぎ)する若者が多く困っている。そういう宿泊施設は、営業不可、又は、建設不可にして欲しい。平穏な生活が壊されます。／近年、貸別荘などの宿泊施設が増えてきているが、住宅に隣接した形で作られている事が多く、騒音トラブルや観光客のマナーについても取り組んで欲しい。／観光地としての町政と町民の意識の共有、意識改革、町政の徹底、交通安全活動に取り組み「山梨ルール」で走る自動車を減らす。／観光業者等に偏った優遇を停止。 等	
<高齢者支援>に関すること	5 件
町内には高齢者(特に一人暮らし)で話し相手もなく、毎日寂しい思いで生活している老人がいます。孤独の高齢者が気軽に安心して集い、歓談して楽しい日々を過ごせるような集会所を設置して頂けたらうれしく思います。／高齢者への援助。老後の心配をなくしたい。／医療費が 70 歳以上 2 割なので、介護保険で利用できる様に希望します。 等	
<防災・防犯>に関すること	5 件
老人だけの地帯なので、富士山の噴火の時が一番心配です。足が悪ければ逃げる事もできません。／住民参加の防災。複合災害や悪天候に対して。／河口湖北岸、西岸は南岸に比べ人口が少ないこともあるだろうが、街灯が少なく暗く感じる。安心して夜道を歩ける環境になるとうれしい。／街灯はまちが主体として整備。防犯カメラの整備。／市町村合併をしてから、それまであった防災無線施設が使われなくなってしまった。強風、大雨が降っている時に、電柱のスピーカーからは全く聞こえない。自然災害が多発している昨今、防災情報が届かないなんてあり得ない。各戸に防災を知らせるすべを早急に整えるべきだと思う。	
<その他>	36 件
まちが変わる事はない。いつまでも変わらないで、このままで終わり、アンケートをしても変わらないと思う。変わるならとっくに変わっていると思います。役場もお役目ご苦労様で、期待はしていません。アンケートを破いて捨てようと思った。／町全体に少し活気があると良いです。コロナ禍で仕方ない事ではありますが、家にこもりがちなので、ストレスもたまりやすいです。ZOOM でのイベントなどがあれば参加してみたいです。／盆踊り(盆踊りを知らない子供達にしない)。体育祭に変わるスポーツ文化防災イベント。／地域の祭りに多く足を運びますが、将来的にも続けて欲しいです。／雇用対策を強化して欲しい。高齢者の働く場がない(パートやアルバイト)／工業団地を作れないか？若者が働く工場が欲しい。／隣の富士吉田市の「ふるさと納税」対策はとても良い結果を出していると思います。富士河口湖町の職員も知恵を絞って税収を増やして欲しいと思います。／企業誘致、リモートワークによる移住者の受け入れを積極的に行う。／環境に優しい企業誘致を積極的にお願います。／水道水がおいしくなくなりました。改善して欲しいです。／夜間の医療体制をもっと整えて欲しい。／区画整理等で新しい住宅地ができ、転入してきた人達の自治会加入がわかりづらい。また、自治会や住んでいる地域によって、古い体制が残っている。それが地域や学校行事参加にも影響が出る時がある。／英語表記を増やしたり、英語音声を流したりして欲しい。 等	

アンケート調査票

町民意識調査アンケート

【富士河口湖町第2次総合計画後期基本計画策定に向けて】

町民の皆様には、日頃から町政にご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本町では、「富士河口湖町第2次総合計画前期基本計画」の計画期間が令和4年度をもって終了することを受けて、令和5年度から令和9年度を計画期間とした「富士河口湖町第2次総合計画後期基本計画」の計画づくりを進めています。

そこで、今後のまちづくりを進めるにあたり、町民の皆様のご意見をお聴きし、調査結果を新たな計画に活かしていきたいと考えています。

お仕事や家事などでご多忙のところ、大変お手数をおかけいたしますが、アンケートにご協力くださいますようお願い申し上げます。

※町では、このアンケート調査の対象者を、富士河口湖町にお住まいの18歳以上の町民1,000人（無作為抽出）を対象に選ばせていただきました。記入された内容は、この調査のために集計すること以外に利用されることはありませんので、調査の目的、趣旨をご理解の上、ご意見をお聴かせください。

令和3年9月

富士河口湖町長 渡辺喜久男

【記入にあたってのお願い】

1. 調査対象として選ばれたご本人がお答えください。
2. ご記入は、えんぴつ、シャープペン、ボールペンなどで結構ですが、確認できるよう濃く記入してください。
3. ○印は、番号を囲むように濃くつけてください。（例 . ①）
4. お答えは、設問ごとに（1つに○印）、（3つまで○印）等それぞれ指定されていますので、お間違えのないようお願いします。
5. 今回の調査設問の用語解説が最後にありますので、ご参考にしてください。

【返送方法】

ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて10月4日(月)までに最寄りの郵便ポストへ投函していただくか、町役場2階政策企画課へ直接お渡しください。（切手はいりません。）

【お問い合わせ先】

富士河口湖町役場 政策企画課 政策調整係

電 話 : 0555-72-1129

E-mail : seisaku@town.fujikawaguchiko.lg.jp

あなたご自身のことについて

問1 あなたご自身のことについて、それぞれの項目ごとにあてはまる番号を選んでください。

(1つに○印)

(1) あなたの性別	1. 男性	2. 女性	3. 答えたくない
(2) あなたの年齢	歳 ※令和3年9月1日現在の年齢をご記入してください。		
(3) あなたの世帯構成	1. 一人暮らし 2. 夫婦(子どもなし) 3. 親と子(2世代)	4. 親・子・孫(3世代) 5. その他	
(4) あなたの職業 (※主たるもの)	1. 農林業(専業) 2. 製造業 3. 建設業 4. 商業(小売、卸売、飲食) 5. 運輸・通信業 6. サービス業(公務を除く)	7. 公務員(公社を含む) 8. 家事 9. 学生 10. 無職 11. その他	
(5) あなたの就労状況	1. 正社員 2. 契約社員・派遣社員 3. パート・アルバイト (学生を除く)	4. 自営業 5. 年金生活者 6. 無職(主婦・夫、学生含む) 7. その他	
(6) あなたの就学先・勤務先	1. 町内 2. 甲府市 3. 富士吉田市	4. その他県内 5. 県外 6. 就学・勤務していない	
(7) あなたの居住年数 (※通算年数)	1. 3年未満 2. 3年以上 10年未満 3. 10年以上 20年未満 4. 20年以上		
(8) あなたの居住地区	1. 船津 2. 小立 3. 大石 4. 河口 5. 浅川 6. 勝山	7. 長浜 8. 西湖 9. 大嵐 10. 精進 11. 本栖 12. 富士ヶ嶺	13. その他 (住所:)

現在の町に対する、あなたの思い（考え）について

問2 あなたは、富士河口湖町に対して「自分のまち」としての愛着をどの程度感じていますか。

（1つに○印）

1. とても愛着を感じている
2. どちらかというと愛着を感じている
3. どちらともいえない
4. あまり愛着を感じていない
5. 愛着を感じていない

問3 あなたは、これからも富士河口湖町に住みたいと思いますか。（1つに○印）

1. 住みたい
2. どちらかというに住みたい
3. どちらともいえない
4. どちらかというに住みたくない
5. 住みたくない（できれば町外へ引越ししたい）

問4 あなたは、富士河口湖町のどのようなところに魅力を感じていますか。（3つまで○印）

- | | |
|---|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 自然環境が豊かである 2. ごみ処理施設や上下水道などの生活環境
施設が整っている 3. 道路・交通の便が良い 4. 情報通信網が整っている 5. 消防・防災・防犯体制が整っている 6. 文化・スポーツ環境が整っている 7. 子育て・教育環境が整っている 8. 福祉環境が整っている | <ol style="list-style-type: none"> 9. 保健・医療環境が整っている 10. 買い物の便が良い 11. 働く場が整っている 12. 活力ある地場産業がある 13. 人情味や地域の連帯感がある 14. 行政サービスが充実している 15. 特に魅力を感じない 16. その他 |
|---|--|

具体的に：

まちづくりの満足度・重要度について

問5 富士河口湖町の現在の状況（満足度）と今後のまちづくりにおける重要度についておたずねします。

（（1）と（2）について、それぞれの項目ごとに1つずつ○印）

評価 項目	(1) 満足度						(2) 重要度				
	富士河口湖町の今の状況についてどう思いますか。						今後のまちづくりにおける重要度についてどう思いますか。				
	満足	まあ満足	どちらともいえない	やや不満	不満		重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
*記入例 ②道路が便利である	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
1 利便性											
①鉄道・バスなど公共交通機関が利用しやすい	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
②道路が便利である	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
③食品や日用品の買い物がしやすい	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
④衣料品や電化製品などの買い物がしやすい	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
⑤働く場が確保されている	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
⑥情報基盤（インターネット環境など）が充実している	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
2 快適性											
①自然環境（大気・水環境、動物・植物など）の豊かさと保全	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
②田園風景など景観が良い	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
③住宅や宅地に恵まれている	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
④身近なところに子どもの遊び場や居場所がある	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
⑤ゆったりと過ごせる公園などがある	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
⑥水道の整備が進んでいる	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
⑦下水道（合併処理浄化槽など）の整備が進んでいる	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
⑧ごみの分別収集や資源回収が進められている	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5

評価 項目	(1) 満足度						(2) 重要度				
	富士河口湖町の今の状況についてどう思いますか。						今後のまちづくりにおける重要度についてどう思いますか。				
	満足	まあ満足	どちらともいえない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない	
⑨騒音・振動・悪臭・大気汚染等の公害問題が少ない	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
⑩住宅地、商業地、工業地、農地、緑地等が適切に配置されている	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
3 安全性											
①歩道の整備など、交通事故防止対策が充実している	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
②消防・救急体制が整っている	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
③防災対策が整っている	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
④街路灯など、防犯の面で安心である	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
⑤消費者への振り込め詐欺など悪徳商法に対する相談体制が整っている	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
4 産業・観光											
①農林水産・畜産業（担い手の育成、農地の整備など）の振興	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
②商業（商業地域の形成や商業者への支援）の振興	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
③工業（既存企業の育成・支援）の振興や企業誘致	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
④観光資源の発掘やPR	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
5 保健・福祉											
①健康診断や保健指導の体制が充実している	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
②病気やけがなどで困ったときに、すぐ受診でき安心である	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
③障がい者のための施設・福祉サービスが充実している	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
④高齢者のための施設・福祉サービスが充実している	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
⑤障がい者が生きがいを持てる機会が充実している	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
⑥高齢者が生きがいを持てる機会が充実している	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5

項目	評 価	(1) 満足度						(2) 重要度				
		富士河口湖町の今の状況についてどう思いますか。						今後のまちづくりにおける重要度についてどう思いますか。				
		満足	まあ満足	どちらともいえない	やや不満	不満		重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
6 子育て支援												
①子どもにとって安全・安心なまちづくりをしている		1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
②保育料・教育費などの負担軽減がされている		1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
③町民が子どもの心を育む地域づくりをしている		1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
④保育園、学童保育など、保育体制が充実している		1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
⑤男性も子育てに参加できる環境づくりができています		1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
⑥子どもが楽しく過ごせるまちづくりをしている		1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
⑦子ども同士、親同士のネットワークづくりが充実している		1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
⑧子育て相談・情報提供が充実している		1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
⑨ひとり親家庭への福祉サービスが充実している		1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
⑩子どもの人権・権利を守る意識の啓発活動が充実している		1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
7 教育・文化												
①小・中学校の学習活動が充実している		1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
②小・中学校の施設・設備が充実している		1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
③誰もが学べる生涯学習の機会が充実している		1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
④スポーツ・レクリエーション施設が整っている		1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
⑤芸術・文化活動の場や文化施設が整っている		1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
⑥娯楽やレジャーの環境が整っている		1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
⑦学校や地域の講座等で食育が充実している		1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
⑧男女共同参画や人権尊重の地域づくりができています		1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5

項目 評価	(1) 満足度						(2) 重要度					
	富士河口湖町の今の状況についてどう思いますか。						今後のまちづくりにおける重要度についてどう思いますか。					
	満足	まあ満足	どちらともいえない	やや不満	不満		重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない	
⑨就学相談・教育相談等が充実している	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5	
8 地域生活												
①近隣の人たちと仲の良い生活ができている	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5	
②公民館活動や区・組の活動などが活発である	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5	
③地域活動への住民参加の機会がたくさんある	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5	
④ボランティア活動が活発である	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5	
⑤祭りやイベントが充実している	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5	
⑥国際交流が盛んである	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5	
9 行財政												
①町からのお知らせや町政の情報等、必要とする情報を入手することができる	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5	
②町民が意見や要望をいえる機会がある	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5	
③役場職員の窓口や現場での対応は適切にできている	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5	
④行財政（組織や事務事業などの見直し、健全な財政）運営	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5	
⑤国民健康保険、介護保険制度等の運営が適切にされている	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5	
⑥町では、近隣市町村と連携し、行政運営ができている	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5	

コミュニティについて

問6 あなたが、お住まいの地域で特にお困りのことはどれですか。(2つまで○印)

1. 日常の買い物が不便
2. 交通が不便
3. 病院が遠く、救急医療等が不安
4. 生活道路網が未整備であったり、道路が狭い
5. 騒音や悪臭、振動、公害に不安
6. 災害時の避難など、防災対策に不安
7. 集会場や公民館など、気軽に集う拠点がない
8. 近所に頼れる人がいない
9. 生活支援や健康、介護のことなど相談先がわからない
10. 町内で働きたいが条件にあう仕事・職場がない
11. 娯楽や外食等を楽しむ場所がない
12. その他

具体的に:

問7 あなたは、祭り、清掃・美化活動、サークル活動、まちづくり活動など、地域が中心となった活動には、どのように参加したいと思いますか。(○印はいくつでも)

1. 企画・運営者として積極的に参加したい
2. 熱心な人の企画・運営の手伝いとして参加したい
3. 企画・運営してくれる人がいれば参加したい
4. 時間に余裕があれば参加したい
5. あまり参加したいと思わない
6. まったく参加したいと思わない
7. わからない

問8 あなたは、この1年間に、どのような地域活動や学習・教養活動に参加していますか。(○印はいくつでも)

- | | |
|----------------|-------------------------|
| 1. 町内会・自治会活動 | 10. 自己研鑽活動 |
| 2. 婦人会活動 | 11. 青少年を非行から守る活動 |
| 3. 子ども会活動 | 12. 環境を保護する活動 |
| 4. 老人会活動 | 13. 民生・児童委員等地域の福祉に携わる活動 |
| 5. ボランティア活動 | 14. 参加していない |
| 6. まちづくり活動 | 15. その他 |
| 7. 文化・スポーツ活動 | 具体的に: |
| 8. 消防団活動 | |
| 9. 保健・健康に関する活動 | |

問9 あなたは、地域活動や学習・教養活動に参加する上で、支障になることがありますか。

(○印はいくつでも)

- | | |
|--------------------|--|
| 1. 仕事をもっているので時間がない | 7. どのような活動があるのか情報が少ない |
| 2. 家事・育児に忙しくて時間がない | 8. 子どもを見ってくれる人や施設がない |
| 3. 家族の支援・理解がない | 9. 身近なところに活動の場が見つからない |
| 4. 介護で時間がない | 10. 興味のもてる活動が見つからない |
| 5. 健康や体力に自信がない | 11. その他 |
| 6. 人間関係がわずらわしい | <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;"> 具体的に： </div> |

問10 あなたは、自治会などご自分の地域コミュニティにどのようなことを期待しますか。

(2つまで○印)

- | | |
|-----------------------|--|
| 1. 緊急事態が起きたときの対応 | 6. 一人暮らし高齢者などの見守り活動 |
| 2. 防災・防犯などの日常協力体制 | 7. お祭りなど住民間の交流の場の確保 |
| 3. 景観保護などの環境づくり | 8. 日常的なコミュニケーションの場の確保 |
| 4. リサイクル活動や環境保全の活動 | 9. その他 |
| 5. 子どもや高齢者のお世話などの助け合い | <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;"> 具体的に： </div> |

問11 人口・世帯数の減少や高齢化の進行が予想されますが、今後の自治会のあり方についてどのようなお考えですか。(1つに○印)

- | |
|--|
| 1. 少ない人数や世帯でも、これまで通りの活動を継続する |
| 2. 他の自治会と合併するなどして、組織を再編し機能の補強を図る |
| 3. 行事等を減らし、活動を縮小する |
| 4. 自治会とは別の形(有償ボランティアや民間事業者の利用)で、地域課題の解決を図る |
| 5. その他 |
| <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;"> 具体的に： </div> |

ボランティア活動・地域活動について

問 12 自分の本来の仕事とは別に、地域や社会のために時間や労力・技術などを無償で提供する奉仕活動をボランティア活動といいます。あなたの今後のボランティア活動への意向をおたずねします。
(1つに○印)

- | | |
|------------------------|----------------------------|
| 1. 現在参加しており、今後も続けたい | 3. 現在参加しているが、今後はやめたい |
| 2. 現在参加していないが、今後は参加したい | 4. 現在参加しておらず、今後も参加するつもりはない |



問12で「1. 現在参加しており、今後も続けたい」または「2. 現在参加していないが、今後は参加したい」に○をつけた方におたずねします。

問 13 あなたは、今後(今後とも)どのような活動に参加したいと思いますか。(2つまで○印)

1. 自治会などの地域活動
2. 農協や漁協、商工会議所などの活動
3. 老人クラブや婦人会などの活動
4. 一人暮らし高齢者への声掛けや子どもの見守り活動
5. 自然保護や環境保全、リサイクル等に関する活動
6. まちの美化・清掃・緑化(花)の活動
7. 子どもたちの健全育成に関する活動
8. 教育・文化・スポーツの指導・運営に関する活動
9. 観光に関する活動(案内、名所・名物の説明など)
10. 高齢者や障がい者の手助けなど福祉に関する活動
11. 保健・医療に関する活動
12. 募金や寄付、バザー等に関する活動
13. 地域づくりやまちおこしに関する活動
14. 防犯や災害援助、交通安全に関する活動
15. 国際交流、国際協力に関する活動
16. その他

【具体的に:

新型コロナウイルス感染症について

問 14 あなたが、「困っていること・心配と感じていること」はどれですか。(3つまで○印)

- | | |
|----------------------------|-----------------|
| 1. 外出制限による交流機会などの減少 | 8. 体調不良・健康状態の悪化 |
| 2. スポーツや文化活動の機会の減少 | 9. 学習機会の確保・学力低下 |
| 3. 収入の減少(失業や経営不振などによる) | 10. 子育ての負担増 |
| 4. 支出の増加 | 11. 介護の負担増 |
| 5. 働き方の変化による負担 | 12. 働き口がない |
| 6. 感染の状況や感染防止対策などの情報が得られない | 13. 特にない |
| 7. 医療が思うように受けられない | 14. その他 |

[具体的に:]

問 15 問1 (3) 世帯構成の質問で、「3. 親と子(2 世代)」または「4. 親・子・孫(3 世代)」に○をつけた方にお伺いします。同居のお子さんが「困っている・心配と感じている」と思われることはどれですか。(3つまで○印)

- | | |
|----------------------------|-----------------|
| 1. 外出制限による交流機会などの減少 | 8. 体調不良・健康状態の悪化 |
| 2. スポーツや文化活動の機会の減少 | 9. 学習機会の確保・学力低下 |
| 3. 収入の減少(失業や経営不振などによる) | 10. 子育ての負担増 |
| 4. 支出の増加 | 11. 介護の負担増 |
| 5. 働き方の変化による負担 | 12. 働き口がない |
| 6. 感染の状況や感染防止対策などの情報が得られない | 13. わからない |
| 7. 医療が思うように受けられない | 14. その他 |

[具体的に:]

問 16 問1 (3) 世帯構成の質問で、「3. 親と子(2 世代)」または「4. 親・子・孫(3 世代)」に○をつけた方にお伺いします。同居の親御さんが「困っている・心配と感じている」と思われることはどれですか。(3つまで○印)

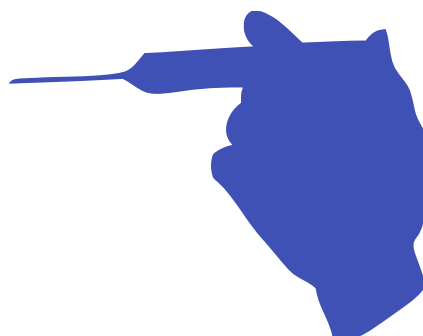
- | | |
|----------------------------|-----------------|
| 1. 外出制限による交流機会などの減少 | 8. 体調不良・健康状態の悪化 |
| 2. スポーツや文化活動の機会の減少 | 9. 学習機会の確保・学力低下 |
| 3. 収入の減少(失業や経営不振などによる) | 10. 子育ての負担増 |
| 4. 支出の増加 | 11. 介護の負担増 |
| 5. 働き方の変化による負担 | 12. 働き口がない |
| 6. 感染の状況や感染防止対策などの情報が得られない | 13. わからない |
| 7. 医療が思うように受けられない | 14. その他 |

[具体的に:]

問 17 町では、飲食店など中小企業や自営業者への経済的支援、子育て世代や妊婦を対象とした経済的支援などに取り組んでいるところですが、今後も新型コロナウイルス感染症の影響が続いた場合に、重点的に実施してほしいと考える施策はどれですか。(3つまで○印)

- 1. 安定した医療体制確保
- 2. 町民の感染防止対策
- 3. 感染の状況や感染防止対策などの情報発信
- 4. 打撃を受けている中小企業や自営業者への経済的支援
- 5. 小・中学生の学習支援、小・中学校の感染防止対策
- 6. 子育て世代への経済的支援、保育所・幼稚園などの感染防止対策
- 7. 町内商業施設、商店などの消費喚起
- 8. 大学生など若者世代への支援
- 9. 高齢者の生活支援
- 10. 雇用対策・労働環境の改善
- 11. テレワークなど新しい働き方への対応
- 12. スポーツや文化活動への支援
- 13. 東京圏からの移住者の受入体制の確保
- 14. 町民活動・地域活動への支援
- 15. その他

【 具体的に： 】

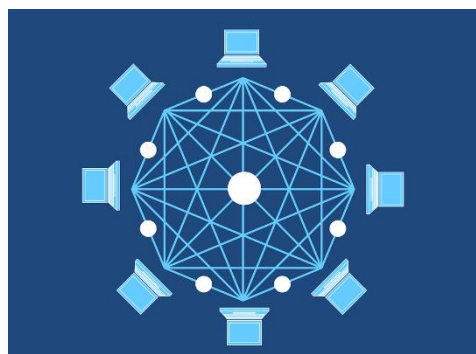


I C T（情報通信技術）の利用環境について

問 18 あなたが利用している情報通信機器の利用状況についておたずねします。

(①から⑪について、それぞれの項目ごとに1つつ〇印)

項 目	利用している	利用していないが、 今後は利用したい	利用していないし、 今後も利用する 予定はない
*記入例 ①パソコン	1	2	3
①パソコン	1	2	3
②スマートフォン	1	2	3
③携帯電話 (スマートフォンを除く)	1	2	3
④タブレット端末※	1	2	3
⑤ウェアラブル端末※	1	2	3
⑥固定電話	1	2	3
⑦FAX	1	2	3
⑧テレビ	1	2	3
⑨家庭用ゲーム機	1	2	3
⑩ラジオ	1	2	3
⑪その他 【具体的に: 】	1	2	3



■あなたのインターネット利用状況（パソコン・スマートフォン・タブレット端末・携帯電話等を利用したウェブサイトの閲覧や電子メールの送受信、ゲーム機でインターネットを利用したオンラインゲーム、チャットやビデオストリーミングなど）について、おたずねします。

問 19 あなたのインターネットの利用状況についてお答えください。（1つに○印）

1. 利用している	2. 利用していないが、今後は利用したい 3. 利用していないし、今後も利用する予定はない
-----------	--

問19で「1. 利用している」に○をつけた方におたずねします。

問 23

問 20 あなたが利用してる情報通信機器のうち、インターネットを利用している端末はどれですか。（○印はいくつでも）

1. パソコン	6. テレビ
2. スマートフォン	7. 家庭用ゲーム機
3. 携帯電話（スマートフォンを除く）	8. その他
4. タブレット端末	具体的に：
5. ウェアラブル端末	

問20で○をつけた方におたずねします。

問 21 インターネットの利用目的はなんですか。（○印はいくつでも）

1. ウェブサイトの閲覧	10. SNS※
2. ホームページやブログの開設・更新	11. 無料通話※
3. 電子メールの送受信	12. 動画投稿／共有サイト（ユーチューブ※等）
4. 情報検索（天気・ニュース・地図、路線、ルート検索等）	13. オンラインゲーム
5. 交通機関や宿泊施設、医療機関等の予約	14. 金融取引（ネットバンキング等）
6. テレワーク・ウェブ会議・ビジネスチャット	15. オンラインショッピング
7. eラーニング※（オンライン授業等）	16. インターネットオークション・フリーマーケットアプリ
8. 電子申請、電子申告、電子届出	17. その他
9. オンライン診療	具体的に：

問21で「10. SNS」「11. 無料通話」「12. 動画投稿／共有サイト」に○をつけた方におたずねします。



問21で「10. SNS」「11. 無料通話」「12. 動画投稿／共有サイト」に○をつけた方におたずねします。

問 22 あなたが利用しているSNS等はどれですか。(○印はいくつでも)

- 1. フェイスブック※
- 2. LINE※
- 3. ツイッター※
- 4. インスタグラム※

- 5. ユーチューブ
- 6. その他

〔具体的に:〕



問19で「2. 利用していないが、今後は利用したい」または「3. 利用していないし、今後も利用する予定はない」に○をつけた方におたずねします。

問 23 あなたがインターネットを利用しない理由はなんですか。(○印はいくつでも)

- 1. 興味がない
- 2. 以前は利用していたが、興味がなくなった
- 3. 必要性がない
- 4. 機器の購入費や通信費が高い

- 5. 安全性に不安がある
- 6. 設定や操作方法がわからない
- 7. その他

〔具体的に:〕



■キャッシュレス決済サービス（クレジットカードや電子マネー、口座振替を利用して、現金を使わず支払い・受け取りを行う決済方法）は、国が示す「新たな生活様式」で推奨されており、富士河口湖町でも新たな決済サービスとしての実施を検討しています。

■あなたが現在利用している決済サービスと、今後町税や手数料などの支払いで利用したい決済サービスについておたずねします。

問 24 あなたが現在利用している決済サービスはどれですか。(○印はいくつでも)

1. クレジットカード払い	6. 電子マネー※による支払い (楽天Edy、Suicaなど)
2. 銀行等の窓口・ATMでの振込	7. スマホ決済・QRコード決済※ (PayPay、LINE Pay、PayBなど)
3. インターネットバンキング、モバイルバンキングによる振込	8. 1～7の決済サービスは利用していない
4. ペイジー※による支払い	
5. コンビニエンスストアでの支払い	

問 25 次のうち、今後町税や手数料などの支払いで利用できるようにしてほしい決済サービスはどれですか。(○印はいくつでも)

1. クレジットカード払い	6. スマホ決済・QRコード決済 (楽天ペイ、d払い、メルペイ、auPayなど)
2. インターネットバンキング、モバイルバンキングによる振込	7. 特になし
3. ペイジーによる支払い	8. その他 [具体的に:]
4. コンビニエンスストアでの支払い	
5. 電子マネーによる支払い (楽天Edy、Suicaなど)	

町のデジタル化の推進について

■あなたが現在の富士河口湖町の行政情報の入手手段と、今後はどのような手段で入手したいかについておたずねします。

問 26 現在の町の行政情報入手手段はどれですか。(○印はいくつでも)

1. 広報「富士河口湖町」	10. 雑誌・書籍
2. 富士河口湖町安心安全メール	11. 案内文書（パンフレット・リーフレット等）
3. 行政番組「こうほう富士河口湖町」	12. テレビ
4. 富士河口湖町広報メールマガジン	13. ラジオ
「ふじの風」	14. 友人・知人
5. 町のホームページ	15. 防災行政無線による屋外放送
6. ガイドブック	16. 電話
7. 自治会回覧	17. デジタルサイネージ（電子看板等）※
8. 新聞	18. 特になし
9. タウン紙	19. その他
	〔具体的に：〕

問 27 あなたにとって、次の行政分野のうちデジタル化が重要なものはどれですか。

(○印はいくつでも)

1. 各種届出・証明書の取得	9. 観光・集客イベント・名産品
2. 医療・健康（医療機関・休日、夜間急患診療所、健康）	10. 産業（商業、工業、農業、漁業）
3. 福祉（福祉制度、福祉施設）	11. 公共インフラ（道路、下水道）
4. 学校・教育（小・中学校、教育相談、就職相談）	12. 公共施設（スポーツ・文化施設、公園）
5. 子育て・保育（子育て支援、医療費の助成、保育園）	13. 地域情報（地域の行事やイベント、自治会）
6. 環境・ごみ・リサイクル	14. 生涯学習（講座案内）
7. 防災・災害	15. 特になし
8. 安全・安心、防犯	16. その他 （具体的に： ）

問 28 あなたは、今後行政手続きや行政サービスがデジタル化されることで、サービスがどのように良くなることを期待しますか。(○印はいくつでも)

- | | |
|---|---|
| 1. 窓口での待ち時間が減る | 9. 健康診断の結果・医療機関の受信情報・
処方内容をインターネット上で確認できる |
| 2. 転出入等の手続きが1ヶ所の窓口で済む | 10. インターネット上で子育て等の情報交換・
相談(オンライン・チャット相談)ができる |
| 3. 窓口で名前や住所が印字された申請書
が出力できて、何度も同じことを書かない | 11. 町からプッシュ型情報配信*がある |
| 4. 届出や申請に必要な添付書類が減る | 12. 行政が保有するデータを加工・利用できる
(オープンデータ・匿名加工情報など) |
| 5. インターネット申請により、届出や申請の為
に窓口に出向くことが不要になる | 13. 情報通信機器の操作支援や ICT(情報
通信技術)の講習会が受けられる |
| 6. オンライン決済ができる | 14. 特にない |
| 7. 窓口でキャッシュレスでの支払いができる | 15. その他
[具体的に:] |
| 8. 災害発生時の緊急情報受信、被害・安否
情報のやりとりができる | |

■今後のデジタル社会のパスポートとして、マイナンバーカード*の活用がうたわれています。マイナンバーカードの取得や、マイナンバーカードに期待することについて、おたずねします。

問 29 あなたは、マイナンバーカードを持っていますか。または交付申請しましたか。(1つに○印)

- | |
|----------------------|
| 1. 持っているまたは交付申請中 |
| 2. 持っていないが、取得する予定である |
| 3. 持っていないし、取得する予定もない |

問 30 あなたは、マイナンバーカードで何ができることに期待しますか。(○印はいくつでも)

- | | |
|--|--|
| 1. マイナンバーカードを使っていろいろなイン
ターネットサービスにログインできる | 10. 個人の健康データを管理するシステムと
連動して、自分の情報を確認できる |
| 2. 運転免許証としての利用 | 11. 窓口で、読み取り機により申請書の自動
作成ができる |
| 3. 健康保険証としての利用 | 12. 救急時に救急隊員等があなたのマイナン
バーカードから健康データを確認できる |
| 4. 印鑑登録証としての利用 | 13. 特にない |
| 5. 図書館の利用者カードとしての利用 | 14. その他
[具体的に:] |
| 6. 公共施設予約カードとしての利用 | |
| 7. 障害者手帳としての利用 | |
| 8. 各種医療証としての利用 | |
| 9. 母子手帳としての利用 | |

問 31 あなたは、デジタル化が進展することによって生じる影響について、どのようにお考えですか。(それぞれの項目ごとに1つつ〇印)

項 目	評 価	そう思う	どちらかというと思う	わからない	あまり思わない	思わない
*記入例 ①必要な情報が入手しやすくなる		1	2	3	4	5
①必要な情報が入手しやすくなる		1	2	3	4	5
②生活が便利になる		1	2	3	4	5
③生活に時間的な余裕が増える		1	2	3	4	5
④人と人との交流が多くなる		1	2	3	4	5
⑤仕事がしやすくなる		1	2	3	4	5
⑥地域経済が豊かになる		1	2	3	4	5
⑦人と人との接触を減らすことができる		1	2	3	4	5
⑧情報通信機器を利用できる人とできない人との間に格差が生じる		1	2	3	4	5
⑨情報が氾濫し、取捨選択が困難になる		1	2	3	4	5
⑩機器の購入や通信費などの経済的負担が増加する		1	2	3	4	5
⑪個人情報の流出やプライバシーの侵害などの危険性がある		1	2	3	4	5
⑫コンピューターの事故などにより、社会的混乱が生じる		1	2	3	4	5
⑬その他 [具体的に:]		1	2	3	4	5

SDGsについて

■SDGsとは、Sustainable Development Goals の略で、持続可能な開発目標として2001年に策定されたミレニアム開発目標(MDGs)の後継として、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない(leave no one behind)」ことを誓っています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



問 32 あなたは、SDGsをご存じですか。(1つに○印)

1. 知っている
2. 聞いたことはあるが、内容までは知らない
3. 知らない

【SDGs17のゴール】

1. 貧困をなくそう	あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる。
2. 飢餓をゼロ	飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する。
3. すべての人に健康と福祉を	あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。
4. 質の高い教育をみんなに	すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する。
5. ジェンダー平等を実現しよう	ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う。
6. 安全な水とトイレを世界中に	すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する。
7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに	すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する。
8. 働きがいも経済成長も	包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する。
9. 産業と技術革新の基盤をつくろう	強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーション。
10. 人や国の不平等をなくそう	国内及び各国間の不平等を是正する。
11. 住み続けられるまちづくりを	包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する。
12. つくる責任 つかう責任	持続可能な生産消費形態を確保する。
13. 気候変動に具体的な対策を	気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる。
14. 海の豊かさを守ろう	持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する。
15. 陸の豊かさを守ろう	陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する。
16. 平和と公正をすべての人に	持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する。
17. パートナリシップで目標を達成しよう	持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する。

まちの公共交通について

問 33 町がデマンド交通（定時・定路線ではなく事前に電話予約をし、乗り合わせて家から目的地へ行く交通）を導入したら利用したいと思いますか。（1つに○印）

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1. とても利用したい | 3. どちらともいえない |
| 2. どちらかという利用したい | 4. あまり利用したくない |
| | 5. 利用しない |

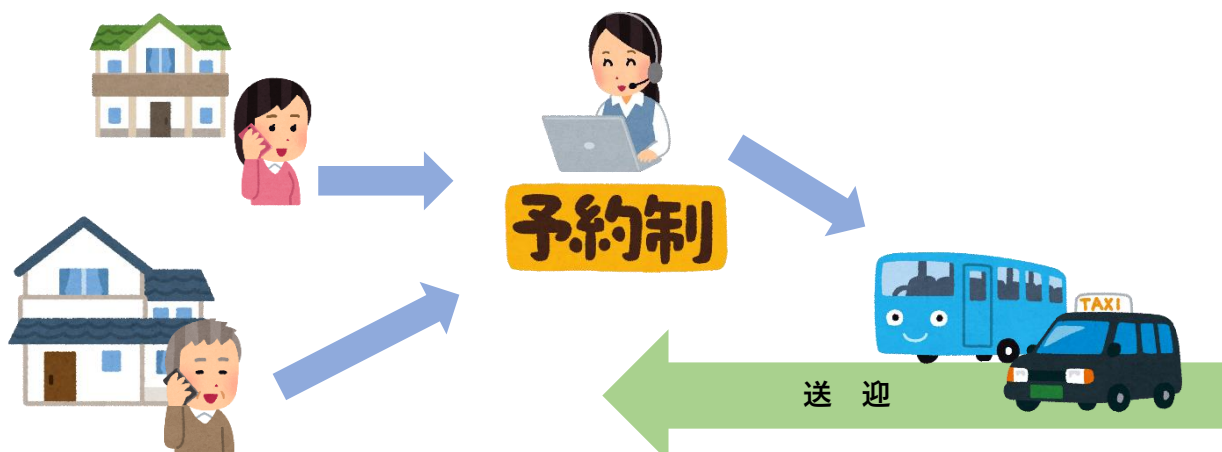
問33で「1. とても利用したい」または「2. どちらかという利用したい」に○をつけた（デマンド交通を利用したい）方におたずねします。

問 34 あなたは、デマンド交通を利用する場合、目的地はどこですか。
（行き先となる施設名をご記入ください）

問33で「1. とても利用したい」または「2. どちらかといえば利用したい」に○をつけた（デマンド交通を利用したい）方におたずねします。

問 35 あなたは、デマンド交通を片道300円で導入した場合、利用しますか。（1つに○印）

- | |
|-----------------|
| 1. とても利用したい |
| 2. どちらかという利用したい |
| 3. どちらともいえない |
| 4. あまり利用したくない |
| 5. 利用しない |



問 36 現在、もしくは将来に向けて町政に望むことや、まちづくりに関するご意見・ご提案等がありましたら、
ご自由にご記入ください。

貴重なご意見をお聞かせいただきありがとうございました。

以上でアンケートは終了です。

恐縮ですが、ご記入漏れがないかお確かめの上、

同封の返信用封筒に入れ、この調査票をご送付ください。

切手は貼らずに、そのまま郵便ポストにご投函ください。

10月4日(月)までに、ご投函をお願いします。

用語解説

■ アンケート調査で使用している主な用語の説明となります。(50 音順)

用 語	解 説
Instagram	写真や動画の共有に特化したソーシャルネットワーキングサービス (SNS) の一つのこと。
e ラーニング (イーランニング)	インターネット等の電磁的手段を利用した学習形態のこと。広義での通信教育の一つ。必要な学習内容だけを受講できることや、教師と生徒がリアルタイムでやりとりできること、動画・音声を利用した学習教材の利用が容易であること等が特長。
ウェアラブル端末	「身につけることができる」ということ。ウェアラブルコンピュータは、服、カバン、腕時計のように身につけて利用するコンピュータ端末のこと。
SNS (エスエヌエス)	Social Networking Service (Site) の略。インターネット上で友人を紹介しあって、個人間の交流を支援するサービス (サイト) のこと。
スマホ決済・QRコード決済	利用者が自分のスマートフォンのカメラ機能や店の決済端末でQRコードを読み取ることで支払いができる決済方法のこと。 「QRコード」はデンソーウェーブが 1994 年に開発したマトリックス型2次元コードの規格で登録商標である。
タブレット端末	コンピュータ製品の分類の一つで、板状の筐体の片面が触れて操作できる液晶画面 (タッチパネル) になっており、ほとんどの操作を画面に指を触れて行うタイプの製品のことで。
ツイッター (T w i t t e r)	今していること、感じたこと、他の利用者へのメッセージなどを「つぶやき」のような形式で短い文章にして投稿するスタイルのブログサービスのことで。
デジタルサイネージ	「電子看板」のこと。屋外・店頭・交通機関などの公共空間で、ネットワークに接続されたディスプレイなどの電子的な表示機器を使って情報を発信するシステムの総称。設置場所や時間帯によって変わるターゲットに向けて適切にコンテンツを配信可能であるため、次世代の広告媒体として注目を集めている。
電子マネー	インターネット上の電子商取引等で利用される、貨幣価値を電子化したものの総称のこと。
フェイスブック (F a c e b o o k)	世界最大のソーシャルネットワーキングサービス (SNS) のこと。所属集団や関心・属性の共通する利用者同士が電子掲示板 (BBS) や写真共有などで交流する「グループ」、事業者などがFacebook内に自分のWebサイトを持つ「Facebookページ」、行事や催しなどを登録して他の利用者を勧誘する「イベント」、ニュースフィードに広告を流すことができる「Facebook広告」、オンラインゲームを遊べる「ゲーム」(インスタントゲーム及びGameroom) など、様々な機能・サービスが提供されている。
プッシュ型情報配信	通信ネットワーク上で、利用者の操作するクライアントとデータや機能を提供するサーバが分離している場合に、サーバ側から能動的に情報を送信する通信方式をプッシュ型 (プッシュ通知/プッシュ配信) のこと。
ペイジー (P a y - e a s y)	Pay-easyのロゴマークが付いた納付書や請求書が対応しており、ATMなどの読み取り機にかざすか、書面に記された番号を案内に従って入力するだけで、現金や自分の口座からの引き落としにより支払いを行える決済サービスのことで。
マイナンバーカード	個人番号カードのこと。希望者に対し、本人の申請により交付を受けることができ、個人番号を証明する書類や本人確認の際の公的な身分証明書として利用できる。また様々な行政サービスを受けることができるようになるICカードである。
無料通話	スマートフォンなどにアプリケーションを入れて、インターネット回線を使用して通話するサービスのことで。
ユーチューブ (Y o u T u b e)	Google社の運営する世界最大の動画共有サービスのことで。利用者が手元の動画データを投稿すると、Webブラウザなどで再生できる形式に変換し、他の利用者が閲覧できるようにWebサイト上で公開される。
L I N E	スマートフォンなどで短い文字メッセージの交換や音声通話、ビデオ通話などができるアプリケーション及びサービスのことで。

町民意識調査アンケート結果報告書

令和4年3月

富士河口湖町 政策企画課

〒401-0392 山梨県南都留郡富士河口湖町船津 1700 番地

電話 0555-72-1129 FAX 0555-72-0969
